

資料 2

平成25年度のプロジェクトの実施状況

- 1.H25年度の実施プロジェクトの実施状況とりまとめ
- 2.H25年度の実施プロジェクト（個別調査結果）
- 3.H25年度の実施プロジェクトの実施概要

平成25年11月11日

尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会 事務局

1.H25 年度の実施プロジェクトの実施状況とりまとめ

平成 25 年度に実施されたプロジェクトについては、さくらおろちを活性化する会のメンバーに対するアンケート調査、及びヒアリング調査等により把握しました。

(1) H25 年度に実施したプロジェクトの状況

その結果、先行プロジェクトとして位置づけられた 37 件のうち、平成 25 年度に 30 件のプロジェクトが実施されています（実施率：81%）。

	H25 年度に実施	H25 年度に未実施	合計
水源地域を結び、開く	4	2	6
流域圏の恵みの源を守り、育む	6	2	8
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	20	3	23
合計	30	7	37

(2) 当初、取組項目として位置づけられていない取組の実施状況

当初、先行プロジェクトの取組項目として位置づけられていませんでしたが、追加で実施された取組が 7 件ありました。

プロジェクト	1 年目に取り組むべき事項	実施状況	実施主体	実施場所
(10)-3 ダム湖周辺の植栽（サクラ、ツツジ）	①サクラやモミジの計画に沿った植樹	平田地区河岸への桜の植樹	平田地区(平田を育てる会)	小学校周辺河岸
(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クレスト放流等）	④尾原ダムが有する資源・特徴の発掘・発信	「Dam サミット in 尾原ダム」の開催	国土交通省	尾原ダム
		インフラツーリズムの試験的実施	国土交通省	尾原ダム
(19)-1 古民家の活用	①観光拠点の一つとして「要害山交流拠点施設 みざわの館」の活用	名月鑑賞会	とんぼの会	みざわの館
(23)-3 イベントの企画・立案	①尾原ダムを念頭にいたいたイベントの企画・立案	第 1 回ウォーキング大会の実施	雲南省ウォーキング協会	さくらおろち湖周辺
		第 1 回さくらおろち湖マラソン大会の実施（予定）	さくらおろち湖マラソン大会実行委員会	さくらおろち湖周辺
	④トライアスロン大会の企画	トライアスロン練習会の開催	雲南省	さくらおろち湖周辺

1) 追加実施した取組の概要

取組内容	平田地区河岸への桜の植樹
取組状況	H25 年度に実施《追加実施》
実施主体	平田地区（平田を育てる会）
実施日	-
詳細情報	小学校周辺河岸に桜を植樹

取組内容	「Dam サミット in 尾原ダム」の開催
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	国土交通省
実施日	平成 25 年 10 月 13 日
詳細情報	参加者数：100 人 講演：宮島咲氏（ダムマニア&ダムライター）



宮島氏による講演



パネルディスカッション

「Dam サミット in 尾原ダム」の開催状況

尾原ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所
尾原ダム管理支所
TEL 0854-48-0780
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasan/>
第24号（10月18日版）尾原ダムイメージキャラクター「ささのくん」



「Dam サミット in 尾原ダム」等を開催!!

平成25年10月13日（日）に秋晴れの空のもと「2013尾原ダム・さくらおろち湖祭り」に併せて尾原ダム管理支所では、ダムを生かした地域活性化を考える「Dam サミット in 尾原ダム」「ダム堤体見学会」等を開催しました。「Dam サミット in 尾原ダム」には約100人の参加があり、宮島 咲氏（ダムマニア&ダムライター）の基調講演でダム自体を活用した観光振興の手法を学びました。パネルディスカッションでは、雲南地域で活動されているパネラーの方々から、集客や魅力アップについて斬新なアイデアなどの発言等を頂き、予定時間を過ぎる程の活発な熱い意見が交わされました。これからは尾原ダム水源地域ビジョン推進に生かしていきたいと思います。
また、普段は入れないダム堤体見学会やパネル展示などでは、延べ約400人の参加を頂き、今年も見学者の皆様から好評を頂きました!! 来年もお待ちしております。



～担当者からひとこと～
上記写真は、「Dam サミット in 尾原ダム」の様子です。今年も多くの方の参加があり、大変盛りやかな催となりました。ご参加頂いた皆様ありがとうございました!!
来年は尾原ダム・さくらおろち湖祭り10周年となります!! どんな内容になるか今から楽しみですね♪
(Y. H.)

尾原ダム便り（第 23 号、9 月 24 日版）

取組内容	「インフラツーリズム」の試験的実施
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	国土交通省
実施日	平成 25 年 10 月～
詳細情報	H25.9.11 旅行会社の現地視察を実施 H25.9.18 okutabi メンバーが尾原ダムを視察



旅行会社による現地視察



okutabi メンバーによる尾原ダムの視察

取組内容	名月鑑賞会
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	とんぼの会
実施日	平成 25 年 9 月 20 日
詳細情報	-

とき：9月20日
午後6時30分

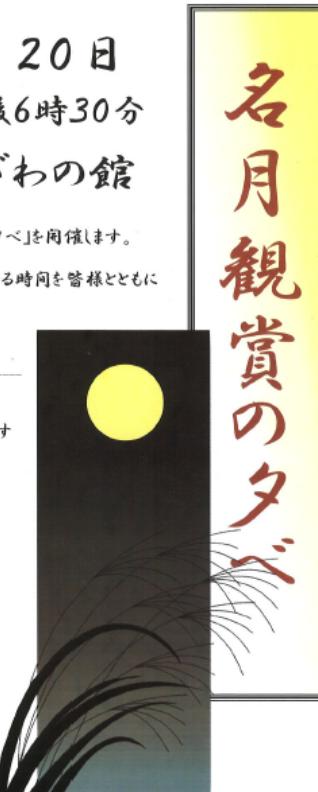
ところ：みざわの館

「とんぼの会」では「名月観賞の夕べ」を開催します。
名月をながめながら、ゆっくりと過せる時間を皆様とともに
過ごせることを楽しみにしています。

メニュー：
下記チケットを前売り販売します

- お月見お抹茶セット 250 円
当日価格 300 円
- お月見ごはんセット 350 円
当日価格 400 円
- ビール (430d カップ) 450 円
当日価格 500 円
- お酒 (1 合) 250 円
当日価格 300 円
- おつまみ 100 円

※当日も販売しますが、
品切れ次第終了予定



主催:とんぼの会
連絡先:みざわの館 (奥出雲町河内 36 番地)
電話& FAX 54-1060

名月鑑賞会の募集チラシ

取組内容	第1回ウォーキング大会の実施
取組状況	H25年度に実施
実施主体	雲南市ウォーキング協会
実施日	平成25年3月31日
詳細情報	参加者数：180人

取組内容	トライアスロン練習会の開催
取組状況	H25年度に実施
実施主体	島根県トライアスロン協会、雲南市
実施日	平成25年7月
詳細情報	参加者：28名

取組内容	第1回さくらおろち湖マラソン大会の実施
取組状況	H25年度に実施《予定》
実施主体	さくらおろち湖マラソン大会実行委員会
実施日	平成25年11月17日
詳細情報	-



さくらおろち湖ウォーク

イベントの募集チラシ



トライアスロン大会の参加者募集チラシ

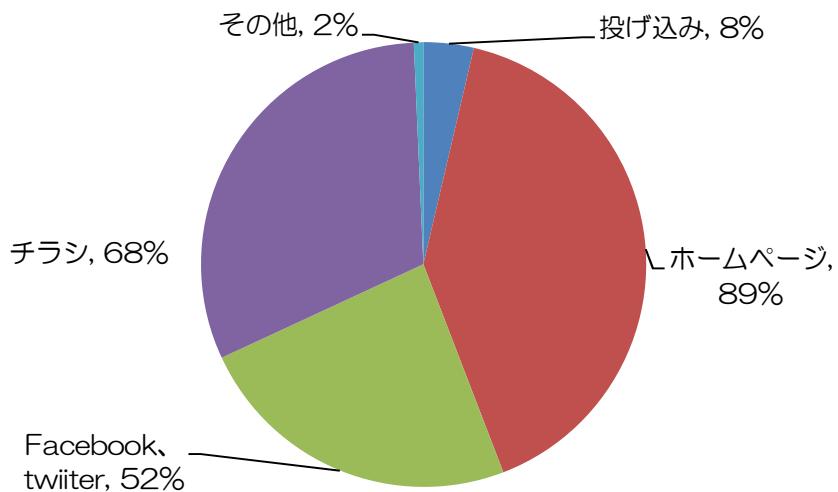
(3) 広報の実施方法

実施された90件の取組のうち、広報を実施した取組は63件（70%）でした。

広報を実施した取組で活用された広報媒体は、ホームページが最も多く（56件、89%）、次いでチラシが43件（68%）、Facebook、twiiterが33件（52%）でした。

	広報を実施	広報を未実施	合計
件数	63	27	90
割合	70%	30%	100%

	投げ込み	ホームページ	Facebook、twiiter	チラシ	その他	合計
件数	5	56	33	43	1	63
割合	8%	89%	52%	68%	2%	100%



【課題等】

- ・極力、広報を行うように努める。
- ・引き続き、行政と関係機関が連携して、投げ込み等を行う。
- ・今後は、新聞、TV等に取り上げられた結果を整理する。

(4) プロジェクトの推進による効果・水源地域の満足度の状況

1) プロジェクトの推進による効果

平成25年度に実施した65件の取組のうち、効果があった取組（「効果あり」と「やや効果あり」の合計）は、65件であり、実施した全ての取組に効果がありました。

大分類	H25年度に実施			H25年度に未実施	合計
	効果あり	やや効果あり	効果なし		
水源地域を結び、開く	6	3	0	6	15
流域圏の恵みの源を守り、育む	9	5	0	11	25
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	40	2	0	8	50
小計	55	10	0	25	90
合計	65			25	90

■「効果あり」とされた主な取組

• (9)-1 環境学習会の開催

取組内容	「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による「ホタル観察会」の実施
取組状況	H25年度に実施
実施主体	原田自治会
実施日	平成25年6月
詳細情報	対象：地域住民

• (13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クレスト放流等）

取組内容	クレスト放流の実施
取組状況	H25年度に実施《予定》
実施主体	国土交通省
実施日	平成26年3月1日
詳細情報	-



尾原ダム便り（第12号、3月6日版）

取組内容	各種イベントに併せた見学会の実施
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	国土交通省
実施日	～平成 26 年 3 月
詳細情報	-



ダム施設見学ツアーの実施状況（平成 24 年度）

尾原ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所
尾原ダム管理支所
TEL 0854-48-0780
<http://www.cgr.mlit.go.jp/zumokasei/>
第 21 号（8 月 27 日版）

「うんなん元気っ子わくわく教室」の子供達がダム見学に来訪!!

平成25年8月20日(火)にさくらおろち湖周辺で自然を体験しながら尾原ダムを学ぶ「うんなん元気っ子わくわく教室」～おらっこ★尾原ダムアドベンチャーワールド』(主催:宍道市文化体育施設利用放課後子ども教室)の企画で集まった子供達29名がダム見学に来てくださいました。(宍道市地区の小学校1年生～6年生 男子19名、女子10名の参加者です。)

初めて尾原ダムに来たという子供達が半数でしたが、「ダムの大きさ」「ダムの目的」「ダムのひみつ」などの説明を真剣に聞いてくれました。尾原ダムの特徴でもある『日本初の連続サイボウ式選択取水設備』の模型を使っての説明には子供達は興味津々で、終わってからも実際に動かしてみて勉強していました。また、「ダムカード」をもらい喜んでいました。

ダム見学の後は、さくらおろち湖での「カヌー・ヨット乗船体験」、夜には尾原地域支援センターでバーベキューを楽しみ宿泊、翌日の21日には「馬と触れ合えるホースセラピー体験」をしたそうです。夏休みのいい思い出作りになったことでしょう!!

尾原ダムでの見学の様子です。選択取水設備の模型での説明を真剣に聞いています♪

日本初の連続サイボウ式選択取水設備の模型です。水を流したり、止めたたりする手を実際に見たり操作したりする事が出来ます。

～担当者からひとこと～
今回参加してくれた子供達はみんなとても礼儀正しく元気いっぱいでした♪1泊2日の中身の濃い体験を満喫して夏休みの締めくくりになったと思います。
平成26年10月13日(日)の『尾原ダムさくらおろち湖祭り』にも是非、ご参加お待ちしております♪ (Y-H)

尾原ダム便り（第 21 号、8 月 27 日版）

• (14)-1 サイクリングコースの活用・PR

取組内容	自転車競技施設の運営・維持管理
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	島根県
実施日	～平成 25 年 10 月
詳細情報	-



尾原ダムで実施されている自転車競技

• (15)-1 湖面の利用促進

取組内容	ボート競技施設の運営・維持管理
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	島根県
実施日	～平成 26 年 3 月
詳細情報	-



さくらおろち湖でのボート競技

取組内容	第1回トレイルランニング大会の開催
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	雲南市、奥出雲町、とんぼの会、NPO さくらおろち
実施日	平成 25 年 6 月 2 日
詳細情報	コース：ロングコース 20km (参加料 4,560 円) ショートコース 10km (参加料 2,500 円)



トレイルランニング大会の実施状況

取組内容	トライアスロン練習会の開催
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	島根県トライアスロン協会、雲南市
実施日	平成 25 年 7 月
詳細情報	参加者数：28 名

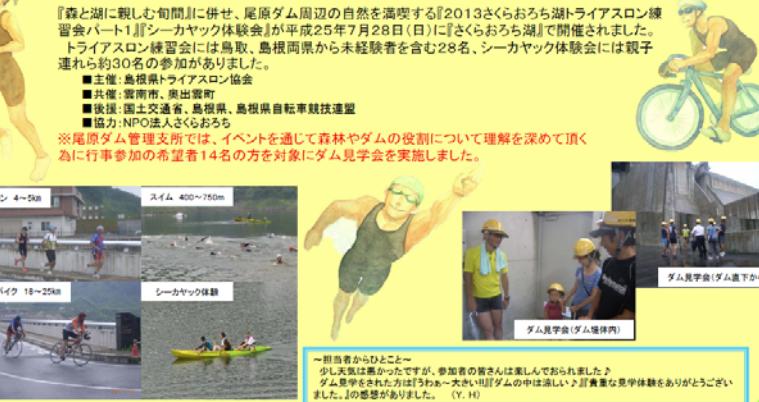
尾原ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所
尾原ダム管理支所
TEL 0854-48-0780
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>



第18号（7月31日版） 尾原ダムキャラクター「さかのおくん」

「森と湖に親しむ旬間」に併せ各種行事を開催!!



～担当者からひとこと～
少し天気は悪かったですですが、参加者の皆さんは楽しんでおられました♪
ダム見学会された方はうれしかったみたいで、大きい川がダムの中では嬉しい♪計画重な見学体験ありがとうございました。Y.H.

尾原ダム便り（第 18 号、7 月 31 日版）



トライアスロン大会の練習風景

2) 水源地域の満足度

平成 25 年度に実施した 65 件の取組のうち、満足度が高い取組（「大変満足」と「満足」の合計）は、22 件（34%）でした。

大分類	H25 年度に実施				H25 年度に未実施	合計
	大変満足	満足	普通	不満		
水源地域を結び、開く	0	2	7	0	6	15
流域圏の恵みの源を守り、育む	3	6	5	0	11	25
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	1	10	31	0	8	50
小計	4	18	43	0	25	90
合計	65					

■ 「大変満足」をされた取組

- ・(6)-1 森林の整備・管理 ④さくらおろち湖内の竹林等の管理

取組内容	森の観察会・農業体験（小学生向け）の実施
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	NPO 法人さくらおろち
実施日	平成 25 年 10 月 25 日
詳細情報	-

- ・(8)-1 生息環境の保全（動物、植物） ①三沢川の清掃活動

取組内容	草刈りなどの周辺整備
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	原田自治会、とんぼの会
実施日	年に数回実施
詳細情報	三沢川（原田地区の河川だけでなく土手も含めた広域）～トウトウの滝周辺一帯の草刈を実施

- ・(8)-1 生息環境の保全（動物、植物） ②カワニナの放流活動の実施

取組内容	カワニナ放流は構想で止まり、未実施
取組状況	H25 年度に実施なし
実施主体	原田自治会、三沢小学校
実施日	-
詳細情報	原田自治会と三沢小学校でかつて検討
取組内容	ホタル祭りの実施
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	原田自治会
実施日	平成 25 年 6 月 22 日（平成 23 年より 6 月頃に実施）
詳細情報	三沢川の川辺（原田地区）で開催
取組内容	消灯の取り組み（街灯へのタイマー設置、川沿い家屋の消灯協力）
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	原田自治会
実施日	4 月中旬～7 月初旬（街灯は 19:30～23:00 まで Off）
詳細情報	『「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」によるホタル復活プロジェクト』の一環として実施

- ・(14)-1 サイクリングコースの活用・PR（サイクリングイベント、認定コース、ショートコース）

⑤MTB や BMX 大会の実施

取組内容	島根県自転車競技連盟主催の大会
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	島根県自転車競技連盟
実施日	平成 25 年度 4,5,7,10 月
詳細情報	県自転車競技選手権、高校総体県大会、国体予選、シクロクロスなどを実施

(5) 各プロジェクトの推進にあたっての課題と対応

1) 各プロジェクト個別

平成 25 年度に実施できなかった 7 件のプロジェクトの課題と今後の対応を下記に示します。

プロジェクト名	課題	対応
(1)-1 人材の発掘・活用	新規プロジェクトであり実施主体が未定であった、また水源地域ビジョンの策定から時間がなく、検討期間が短いため推進できなかった。	平成 26 年度は、「技術や知識、知恵を持った人の発掘」の一環として「既存資料の整理」を行う。
(1)-3 教育機関（大学等）との連携	水源地域ビジョン策定から時間がなく、検討期間が短いため推進できなかった。	教育機関と連携可能な内容を検討する。
(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり）	新規プロジェクトであり実施主体が未定であった、また水源地域ビジョンの策定から時間がなく、検討期間が短いため推進できなかった。	平成 26 年度は、さくらおろちを活性化する会で意見交換をしながら、「ビューポイント・写真撮影スポットの発掘」を行う。
(10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除	新規プロジェクトであり実施主体が未定であった、また水源地域ビジョンの策定から時間がなく、検討期間が短いため推進できなかった。	平成 26 年度は、さくらおろちを活性化する会で意見交換をしながら、「クズ等の駆除や有効活用策の検討」を行う。
(13)-2 日本一プロジェクト	新規プロジェクトであり実施主体が未定であった、また水源地域ビジョンの策定から時間がなく、検討期間が短いため推進できなかった。	平成 26 年度は、さくらおろちを活性化する会で意見交換をしながら、「日本一プロジェクトの企画」を行う。
(15)-3 釣り利用（PR・大会・施設設備）	入漁権を設定するために、生息状況を把握しているため、具体的な活動につながらなかった。	平成 26 年度も引き続き対象魚種の生息状況を見守る。
(16)-3 下布施ホースセラピー施設の利用促進	「下布施ホースセラピー施設」が未完成であるため、施設の利用促進ができなかった。	平成 26 年 4 月に「下布施ホースセラピー施設」が完成するため、平成 26 年度は、「施設の活用」や「農地と連携した体験プログラムの企画」を検討する。

2) 全体

アンケート調査でプロジェクトを推進する際の課題と今後の対応として様々な意見が寄せられました。寄せられた課題を分類すると、7つの課題に分類することができました。

《推進にあたっての主な課題》

- | | |
|--------|-----------|
| ①資金の確保 | ②人材、人員の充実 |
| ③参加の促進 | ④企画の充実 |
| ⑤連携の促進 | ⑥広報の充実 |
| ⑦施設の充実 | |

上記で抽出した主な課題について、第2回さくらおろちを活性化する会で課題を解決するための方向性を意見交換しました。意見交換で出された主な意見を下記に示します。

主な課題	課題を解決するための方向性	対応状況
①資金の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の予算を確保する。 ・お金をあまりかけずに行う工夫をする。 ・複数の助成金を獲得する。助成金の記載方法等は、行政の支援などを受けながら学習する。 ・他の団体と連携して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらおろちを活性化する会に助成事業に関する情報を提供した。 ①平成26年度中国地方地域づくり等助成事業 ②平成26年度河川整備基金
②人材、人員の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人はやや無理やりに活動へ引き込む。 ・学校の地域貢献を利用し、協働した活動を行う。 ・地元の専門スタッフを育成する。 ・参加者の満足度を高め、リピーターを獲得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、「さくらおろちを活性化する会」で意見交換を行いながら、進めていく。
③参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の参加を促進する。 ・珍しいものやおいしいものを揃えるなど、毎日イベントを開催する。 ・おもてなしとおいしいものを組み合わせ、イベントを定番化しながら継続する。 ・参加者の満足度を高め、リピーターを獲得する。 ・子供向けのプログラムを計画し、同行する親の参加も目指す。 ・周辺道路上のサインを整備し、尾原ダムへの誘客を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、「さくらおろちを活性化する会」で意見交換を行いながら、進めていく。
④企画の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・珍しいものやおいしいものを揃えるなど、毎日イベントを開催する。 ・子供向けのプログラムを計画し、同行する親の参加も目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、「さくらおろちを活性化する会」で意見交換を行いながら、進めていく。
⑤連携の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・他の団体と連携して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の団体との連携について検討する。
⑥広報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の魅力を繰り返し発信する。 ・マスコミに取り上げられるように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係行政と地元が連携して情報発信を行う。 ・行政と地元が連携して情報発信を行う仕組みを検討する。
⑦施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・案内看板を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を把握した上で、さくらおろちを活性化する会で意見交換を行う。

2.H25 年度の実施プロジェクト（個別調査結果）

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト			実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応		
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			取組内容	実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度		
					取組事項	状況*	実施主体											
水源地域を結び、開く	I 人材の活用	(1) 人材の活用	(1)-1 人材の発掘・活用	早期(先行)	①技術や知識、知恵を持った人の発掘	新規	(実施段階で検討)	×					-		-		○既存資料を整理する。	
			(1)-2 接客技術(おもてなしの心)の向上	早期				-					-		-		○取組内容を検討する(事例収集)。	
			(1)-3 教育機関(大学等)との連携	早期(先行)	①大学や研究機関と連携したプログラムの開発	既存	雲南市、奥出雲町、島根大学、NPO法人さくらおろち	○	「探検マップ」や「尾原ダムの歩き方」などの作成	島根大学	雲南市、奥出雲町	~H22年度	-		-			
	II 組織の整備	(2) 組織の整備	(2)-1 リーダーの育成	早期(先行)	①リーダーを対象とした講習会の開催	新規	(実施段階で検討)	×					-		-		○リーダーを対象とした講習会の事例調査を行う。	
					③先進事例の視察	新規	(実施段階で検討)	●	広島県土師ダムヘトレイルランニングの実施状況の視察	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	土師ダム	H25.5	○	・短時間ではあったが先進地の状況を見ることができた。	△		○他地域への視察も検討する。	
	III 企業との連携	(3) 企業との連携	(3)-1 企業との連携(CSR活動)	早期(先行)	①連携企業の募集	既存	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	●	企業CSR活動の募集	NPO法人さくらおろち	さくらおろち湖周辺	H25.9.28	○	・建設事業者を中心に募集を実施することができた。	△		○今後もCSR活動への連携企業の募集を継続する。	
					②実施プログラムの作成	既存	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	●	企業CSR活動の実施	NPO法人さくらおろち	さくらおろち湖周辺	H25.9.28	○	・さくらおろち湖周辺の環境を保全することができた。	△		①幅広い層へのPRが必要である。 ②他のイベントと連携し、楽しみながら参加できる雰囲気を醸成する必要がある。 ①積極的に中・下流の企業の参加を促す。 ②今後もCSR活動など、企業と連携可能なプログラムを作成する。	

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時（H25.3.13）時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト	取組内容		広報の方法		効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	(取組内容) 先行プロジェクト	○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎ 大変満足
早期・中期・後期のプロジェクト		●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○ 満足
既存の取組		△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△ 普通
新規の取組		×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	× 不満
	◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組		5	その他		-	H25年度実施なし

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時（H25.3.13）時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容		広報の方法		効果		水源地域の満足度	
	先行プロジェクト	(取組内容) 先行プロジェクト	○ H24年度以前に実施	1 投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足	
	早期・中期・後期のプロジェクト		● H25年度に実施	2 ホームページ	△	やや効果あり	○	満足	
	既存の取組		△ H25年度に一部実施、または計画中	3 Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通	
	新規の取組		× H25年度に実施なし	4 チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満	
◎		先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組		5 その他			-	H25年度実施なし	

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト			実施状況				効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応																																																																				
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			取組内容	実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度																																																																			
					取組事項	状況*	実施主体																																																																												
水源地域を結び、開く	V情報発信	(5)情報発信	(5)-1情報発信の促進(ホームページ、カレンダー、案内標識)	早期(先行)	既存	②水源地域に関する情報の積極的な発信	雲南省、奥出雲町、島根県、国土交通省、NPO法人さくらおろち、温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会	● ● ● ● ●	島根県 雲南省 奥出雲町 NPO法人さくらおろち 国土交通省	-	随時 随時 随時 随時 随時	2, 3 2, 4 2, 3 2, 3 2, 3	○ ○ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ ○ ○	● △ ○ <span style="color: blue

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト			実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応		
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			取組内容	実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総評価	効果	総評価	満足度		
					取組事項	状況*	実施主体											
水源地域を結び、開く	V情報発信	(5)情報発信	(5)-1情報発信の促進(ホームページ、カレンダー、案内標識)	早期(先行)	③尾原ダム周辺の案内標識の整備	新規	雲南省、奥出雲町、島根県、国土交通省	●	ダム直近の国道314号沿線での案内標識の整備	島根県	国道314号線沿線	H25年度	○	・ダム湖への案内が充実した。	○		①ICからの案内標識の充実させるため今後国、県、市町との連携が必要となる。	①ダム湖に誘導する標識については、尾道松江線沿線の活性化を検討する行政間の会議においても議論されているところであり、今後WGでの意見を聞きながら検討を進める。
																	○直ちに整備を行う。	
			(5)-2フィルム・コミュニケーションの推進	中期														

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容			広報の方法			効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	早期・中期・後期のプロジェクト	既存の取組	新規の取組	取組内容	先行プロジェクト	早期・中期・後期のプロジェクト	既存の取組	新規の取組	取組内容	先行プロジェクト	早期・中期・後期のプロジェクト
○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足				
●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足				
△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通				
×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満				
◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組	5	その他			-	H25年度実施なし				

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト			実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応					
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			取組内容	実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果		満足度					
					取組事項	状況*	実施主体														
流域圏の恵みの源を守り、育む	VI 環境の保全	(6) 森林の保全・維持管理活動	(6)-1 森林の整備・管理	早期(先行)	③竹林や林地残材のチップ化の推進	既存	雲南省、奥出雲町、島根県、国土交通省、森林関係団体	●	水の縁推進事業として、NPOを受託者として環境・景観保全を実施	NPO法人さくらおろち	さくらおろち湖周辺	H25.4月~			・ダム湖周辺の景観が向上された。	○	△	①実施場所を検討する。 ②地域住民が実施可能な安全が確保された実施手法や実施場所を検討する。 ○地元参加を促進する。			
					④さくらおろち湖内の竹林等の管理	既存	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	●	森の観察会・農業体験(小学生向け)の実施	NPO法人さくらおろち	奥出雲町布勢地内	H25.10.25		4	・水源地域の環境保全を図ることができた。	○	△	①活動するための助成金を確保する。 ②助成事業の紹介を行う。 ○下流域との連携など、実施規模を拡大する。			
					(6)-2 ボランティア活動の実施	中期								-	-	-					
					(7)-1 水質の保全	早期								-	-	-					
			(7)-2 ピオトープの整備	中期										-	-	-					
					(8)-1 生息環境の保全(動物、植物)	早期(先行)	①三沢川の清掃活動	既存	原田自治会、とんぼの会	●	草刈りなどの周辺整備	原田自治会、とんぼの会	三沢川(原田地区) 河川だけでなく土手も含めた広域	年に数回実施		○	・三沢川にホタルが復活した。	○	○	①活動に係る人手が不足している。 ②河川堆積土砂が増加している。 ③被災護岸を復旧する必要がある。 ④活動による人手が不足している。 ○清掃活動を継続する。	
					②カワニナの放流活動の実施	既存	原田自治会	×	カワニナ放流は構想で止まり、未実施	原田自治会、三沢小学校	三沢川			2、4	○	○	①小学校との調整がつきにくい。 ②カワニナの放流はあくまで一つの手法で、環境の底上げを中心に行う。				
			(8)-2 ホタル祭りの実施 「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による「ホタル復活プロジェクト」の実施(消灯の取組(街灯のタイマー設置や川沿い家屋の協力))	中期				●	ホタル祭りの実施 「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による「ホタル復活プロジェクト」の実施(消灯の取組(街灯のタイマー設置や川沿い家屋の協力))	原田自治会	三沢川(原田地区)	ホタル祭り: 6月(H23より実施) 草刈り: 年2回(6、10月)			○	・地域内外の交流が促進された。 ・ホタルを目的とした来訪者が多く、集客力がある。 ・ホタルによる地区的イメージアップを図ることができた。	○	○	①資金不足により維持管理が困難である。 ②来訪者の観察マナー向上を図る。 ③防犯対策面で地域の理解が必要となる。 ④助成事業の紹介を行う。 ⑤観察マナーなどを発信する。 ⑥保護を通じ活性化につなげる。 ○トウトウの滝や公園を結ぶ遊歩道整備構想を検討する。 ○主要観光地や地域資源との連携を検討する。		
														2、3、4	○	○					
															○	○					

《凡例》

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

プロジェクト	取組内容			広報の方法		効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足	取組内容
早期・中期・後期のプロジェクト	●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足	
既存の取組	△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通	
新規の取組	×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満	
○ 先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組		5	その他					- H25年度実施なし	

青字:「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時（H25.3.13）時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容		広報の方法		効果		水源地域の満足度	
	先行プロジェクト	(取組内容) 先行プロジェクト	○ H24年度以前に実施	1 投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足	
	早期・中期・後期のプロジェクト		● H25年度に実施	2 ホームページ	△	やや効果あり	○	満足	
	既存の取組		△ H25年度に一部実施、または計画中	3 Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通	
	新規の取組		✗ H25年度に実施なし	4 チラシ	-	H25年度実施なし	✗	不満	
		◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組	5 その他			-	H25年度実施なし	

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト			実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応			
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			取組内容	実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度			
					取組事項	状況*	実施主体												
流域圏の恵みの源を守り、育む	VI 環境の保全	(9)環境学習会等の開催	(9)-1 環境学習会の開催(森林、水質・水生生物、ホタル)	早期(先行)	②ダム湖周辺の河川などの夏休みの研究や自然観察会のフィールドとしての活用	既存	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	● 地元小学校による尾原ダム周辺での写生大会の開催	NPO法人さくらおろち	尾原ダム	H25.9		△	・子供たちにダムの仕組みの勉強にもなり、魅力の発信ができた。	△			①活動の継続に向けた財源を確保する必要がある。 ○継続して環境学習会などを企画・実施する。	①助成事業の紹介を行う。 ○積極的に地元へ情報発信を行う。
								● 田舎体験ツーリズムの検討(定住目的の体験ツアーを年2回程度実施予定)	NPO法人さくらおろち	尾原ダム周辺	H25 年度～H26 年度								
						④ホタルの観察会の開催	既存	原田自治会	● 「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による「ホタル観察会」の実施(対象は地域住民)	原田自治会	三沢川	H25.6.22		○	・ホタルの観察会のために街灯を消灯する取組が始まった。 ・幼虫の放流やカワニナの放流などのアイデアも出た。 ・子どもの貴重な体験の場を確保することができた。	○		①講師謝礼金などの財源を確保する必要がある。	①町の補助金で可能な範囲で実施する。 ○三沢地区全体(みざわの館)との連携を強化する。
						⑤ホタルの生息環境と水質の関係の学習会の開催	既存	地元小学校	三沢小学校	三沢川	H25.6	-							
								● ホタルの生息環境と水質の関係の学習会の開催					○	・子供だけでなく、親への環境学習の場となっている。	○		○継続して環境学習会などを企画・実施する。	○継続して環境学習会などを企画・実施する。	

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容			広報の方法			効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	早期・中期・後期のプロジェクト	(取組内容)	既存の取組	新規の取組	○	●	△	×	○	△	◎
H24年度以前に実施	H25年度に実施	H25年度に一部実施、または計画中	H25年度に実施なし	○ H24年度以前に実施	1	2	3	4	○ 效果あり	△ やや効果あり	◎ 大変満足
○ H25年度に実施	○ H25年度に一部実施、または計画中	○ H25年度に実施なし	○ H25年度に実施なし	○ H25年度に実施	2	3	4	5	△ やや効果あり	○ 満足	○ 満足
○ H25年度に一部実施、または計画中	○ H25年度に実施なし	○ H25年度に実施なし	○ H25年度に実施なし	○ H25年度に実施なし	3	4	5	○ 效果なし	△ 普通	○ 不満	△ 普通
○ H25年度に実施なし	○ H25年度に実施なし	○ H25年度に実施なし	○ H25年度に実施なし	○ H25年度に実施なし	4	5	○ その他	- H25年度実施なし	○ 不満	- H25年度実施なし	- H25年度実施なし

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト		実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応							
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度							
					取組事項	状況*	実施主体															
流域圏の恵みの源を守り、育む	Ⅵ 環境の保全	(9)環境学習会等の開催	(9)-2 体験プログラムの企画・開催(間伐・農業体験)	早期(先行)	①ものづくりの体験プログラムの企画・実施	既存	NPO 法人さくらおろち	● 竹筒を使用したものづくり体験プログラムの実施	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	雲南省温泉地区	H25.6.22		△	○	△	○	△	①活動を継続していくための財源を確保する必要がある。	①助成事業の紹介を行う。 ○ものづくりプログラムを継続して実施する。			
					②合宿形式の自然体験ツアーワークの企画・実施	既存	NPO 法人さくらおろち		雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	奥出雲町三沢地区	H25.12.14			○	△				①活動を継続していくための財源を確保する必要がある。	①助成事業の紹介を行う。 ○ものづくりプログラムを継続して実施する。		
					③休耕田等を活用した農業体験ツアーワークの実施	既存	NPO 法人さくらおろち								○休耕田は増える一方であり、他に活用できないか。							
					④「柿採りと干し柿づくり」の推進	既存	とんぼの会	● 体験イベントの実施 柿園の維持管理	NPO 法人さくらおろち、とんぼの会	奥出雲町みざわの館	H25.9(H22~)		○	○	○	○	○	①実施する人手が不足している。 ②収穫量に対応して、参加人数を調整する必要がある。 ③参加者の満足度を落とさないイベント内容を検討する必要がある。 ④活動を継続するための財源を確保する必要がある。	①NPO 法人さくらおろちとの連携を強化する。 ②③参加者の満足度を重視しながら活動を拡大・充実する。 ④助成事業の紹介を行う。			
											H25.10.19	4		○	○							
												2										

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容			広報の方法		効果		水源地域の満足度	
(取組内容)	先行プロジェクト	○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足	
	早期・中期・後期のプロジェクト	●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足	
	既存の取組	△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通	
	新規の取組	×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満	
◎		先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組			5 その他		-		H25年度実施なし	

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト		実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応			
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度			
					取組事項	状況*	実施主体											
流域圏の恵みの源を守り、育む	Ⅵ 環境の保全	(10) ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり）	早期（先行）	①ビューポイントの発掘・写真撮影スポットの発掘	新規	(実施段階で検討)	×				-		-		○ビューポイントや写真撮影スポットの発掘を行う。		
					②ビューポイントの設置(看板の設置など)	新規	国土交通省、島根県、雲南省、奥出雲町	×				-	・集客効果はあると考える。	-	-	①景観保全や看板設置等に要する費用を確保する。		
					(10)-2 クズ等の駆除や有効活用策の検討	新規	(実施段階で検討)	×				-		-		○クズ等の駆除や有効活用策を検討する。		
			(10)-3 ダム湖周辺の植栽（サクラ、ツツジ）	早期（先行）	①サクラやモミジの計画に沿った植樹	既存	雲南省、奥出雲町、国土交通省、NPO法人さくらおろち	艇庫横に植樹ゾーンを整備し、植樹を計画	雲南省	さくらおろち湖周辺	H25.8 2、4	● ○ △ ○	・さくらおろち湖周辺の景観を保全することができた。 ○ △ ○	○ △ ○ ○	・まだ植樹されていないので満足度はこれから	○ △ ○ ○	①植栽場所を確保する。 ②活動を継続するための財源を確保する必要がある。	①関係部局と調整し、植栽場所を確保する。 ②助成事業の紹介を行う。 ○植栽計画に沿って継続する。
																①労力を確保する。	①他の活動団体と連携する。	
																○さくらおろち湖周辺植栽計画の具体化を検討する。		

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時（H25.3.13）時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容			広報の方法		効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	既存の取組	新規の取組	取組内容	実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	効果	満足度	
○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足			
●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足			
△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通			
×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満			
◎	先行プロジェクト（取組内容）以外に追加実施した取組	5	その他	-	H25年度実施なし	-				

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

*第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時（H25.3.13）時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容		広報の方法		効果		水源地域の満足度		
	先行プロジェクト	(取組内容) 先行プロジェクト	○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足
	早期・中期・後期のプロジェクト		●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足
	既存の取組		△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通
	新規の取組		×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満
		◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組		5	その他			-	H25年度実施なし

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト			実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応		
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項		取組内容	実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度			
					取組事項	状況*												
さくらおろちの魅力を磨き、活性化す	IXダム周辺既存設施の活用	(13)ダム本体の活用	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘(ライトアップ、クレスト放流等)	早期(先行)	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘(ライトアップ、クレスト放流等)	既存	国土交通省	●	各種イベントに併せた見学会の実施	国土交通省	尾原ダム	~H26.3月	○	・事業の理解促進。 ・集客効果。	△	・ある程度の見学者が集まる。(150 ~ 1,000人)	○継続的に実施する。	
(14)サイクリング施設の活用	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR(サイクリングイベント、認定コース、ショートコース)	早期(先行)	(14)-1 サイクリングコースの発信	既存	(14)-1 サイクリングコースの発信	既存	雲南省、奥出雲町、島根県、国土交通省、奥出雲町商工会、競技団体(サイクリング)、NPO法人さくらおろち	●	自転車競技施設の運営・維持管理	島根県	奥出雲町	~H25.10	○	・地域活性化の取組みに活用することができた。 ・各種競技大会の開催や地域イベント等の取り組みに効果。 ・地域活性化の取組みに活用することができた。	△	①維持管理経費を確保する必要がある。 ①認定コースのPRが不足している。 ②認定コースの情報を発信する人手が不足している。	○「日本一」プロジェクトを企画する。 ①認定コースの情報発信を積極的に実施する。 ②事務局を担う人材を確保する。 ○近畿圏の学校や団体等に施設のPRや誘致を行う。	①必要な予算の確保に向けた取組みを推進する。 ①H26年度予算の確保に向け関係課と協議する。

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容			広報の方法		効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	早期・中期・後期のプロジェクト	既存の取組	新規の取組	取組内容	実行方法	実行時期	広報方法	効果	満足度	
○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足			
●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足			
△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通			
×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満			
◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組	5	その他				-	H25年度実施なし		

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト		実施状況				効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応			
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項		実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度			
					取組事項	状況*											
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	さくらおろちの魅力を磨き、活かす	(14) サイクリング施設の活用	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR(サイクリングイベント、認定コース、NPO法人さくらおろち)	早期(先行)	②サイクリングコースの整備	既存	雲南省、奥出雲町、島根県、国土交通省、奥出雲町商工会、競技団体(サイクリング)、NPO法人さくらおろち	島根県	奥出雲町	~H25.10		●	・地域活性化の取組みに活用することできた。	△ ○ ◎ ○ ○	○	①維持管理経費を確保する必要がある。	①必要な予算の確保に向けた取組みを推進する。
					ロードレース中国大会でのPR、奥出雲サイクリングでのPR	既存	島根県、島根県自転車競技連盟、奥出雲町商工会	さくらおろち湖自転車競技施設	~ H25.10 月(大会開催時)			●	・各種競技大会の開催や地域イベント等の取り組みに効果。	○	○	①コースの管理方法の検討や維持管理に要する経費の確保。	①H26 年度予算の確保に向け関係課と協議する。

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容		広報の方法		効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	(取組内容)	○	H24 年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足
早期・中期・後期のプロジェクト	●	H25 年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足	
既存の取組	△	H25 年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通	
新規の取組	×	H25 年度に実施なし	4	チラシ	-	H25 年度実施なし	×	不満	
先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組		◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組	5	その他			-	H25 年度実施なし

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト			実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応		
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項		取組内容	実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度			
					取組事項	状況*												
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	ダム周辺既存施設の活用	(14) サイクリング施設の活用・PR(サイクリングイベント、認定コース、ショートコース)	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR(サイクリングイベント、認定コース、ショートコース)	早期(先行)	既存	奥出雲サイクリング実行委員会(奥出雲町商工会)、島根県サイクリング協会(センチュリーライド)	④サイクリング大会の継続・発展	奥出雲サイクリングの実施(400人以上参加) 仁多米、仁多牛のPRや温泉施設との連携 中四国ブロックサイクリング大会の実施(一昨年)	奥出雲町商工会、島根県サイクリング協会(セイクリング市町村各支部)	さくらおろち湖自転車競技施設 出雲支部ではさくらおろち湖のコースを利用	秋(紅葉時) 年に1回 30年の歴史	●	・宿泊、食事等によって、地域への経済効果が得られた。 ・サイクリングを通じた人的交流が促進された。 ・販売する特大おにぎりの人気が高く、仁多米の宣伝になった。 ・サイクリングが町民共通の意識に結び付いている。 ・統一ユニフォームによって奥出雲町のPRにつながった。 ・ストレス発散や健康増進につながった。	○	●	①大会スタッフの確保会員、参加者が減少している。 ②地域の人との連携が不足している。 ③大会理念を継承していく必要がある。 ④コースの高低差がある。	①②人的交流を拡大する。 ③適正な大会運営を継続する。 ④尾原ダムのコースに+αを検討する。 ○停滞している県大会を企画する。 ○サイクリング大会のPR拡大、発信方法の再検討を行う。 ○愛好者の拡大を図る。	
																●	●	●
		(5)MTBやBMX大会の実施	(5)MTBやBMX大会の実施	既存	島根県自転車競技連盟(NPO法人サイクリストビュー)	シクロクロス大会の実施 各種ロードレース大会開催(中国地域自転車道路競走大会、国体予選、県選手権等) MTBは来年3月開催に向けて計画中(新規)	●	島根県自転車競技連盟	さくらおろち湖自転車競技施設	ロードレースは3~4回/年	●	○	●	○	●	①事務局など運営側の人手が不足している。 ②大会ボランティア等、地域の人が関わる仕組みが必要である。 ③BMXなどのコースが未整備となっている。	①事務局を担う人材を確保する。 ②地元へ積極的に情報発信を行う。 ③BMXコースを整備する。 ○積極的にサイクリングコースの情報を発信する。 ○ロード大会を継続する。 ○月1回程度を目標に、ロード記録会を開催する。 ○ヒルクライム大会を企画する。 ○地元選手を发掘・育成する。	
																●	●	●

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時（H25.3.13）時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容		広報の方法		効果		水源地域の満足度	
	先行プロジェクト	(取組内容) 先行プロジェクト	○ H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足
	早期・中期・後期のプロジェクト		● H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足
	既存の取組		△ H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通
	新規の取組		✗ H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	✗	不満
◎		先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組		5	その他			-	H25年度実施なし

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト			実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応		
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			取組内容	実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度		
					取組事項	状況*	実施主体											
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	さくらおろちの魅力を磨き、活かす	(14) サイクリング施設の活用	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR(サイクリングイベント、認定コース、ショートコース)	早期(先行)	⑥子供サイクリング教室などの企画	既存	自転車競技団体	×					-	-	-			
			(14)-2 レンタサイクルの実施	早期(先行)	①レンタサイクルの実施	新規	奥出雲町	●	佐白温泉長者の湯でのレンタサイクル運用開始	奥出雲町	佐白温泉 長者の湯	H25.8	○	・佐白温泉の利用者の利用がある。	○	①「道の駅おろちの里」での運用体制をいかに構築するかを検討する必要がある。 ②おろちの里では実施されないのでですか?	①「道の駅おろちの里」での運用体制を構築する。 ○運営面の体制構築等のための社会実験を実施する。 ○問題点の処理方法と対策部署を確認する。	
			(14)-3 サイクリングコースの改善	後期									2、3、4	○				
			(15) さくらおろち湖の活用	早期(先行)	①湖面利用促進(ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡回体験)	既存	雲南省、奥出雲町、島根県、国土交通省、NPO法人さくらおろち	●	ボート競技施設の運営・維持管理	島根県	雲南省	~H26.3	2	・地域活性化の取組みに活用できた。	△	①維持管理経費を確保する必要がある。	①必要な予算を確保し、湖面利用の活性化に向けた取組を推進する。	
			(15)-1 湖面の利用促進(ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡回体験)	早期(先行)	①湖面利用促進(ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡回体験)	既存	雲南省、奥出雲町、島根県、国土交通省、NPO法人さくらおろち	●	ボート競技施設の運営・維持管理	島根県	雲南省	~H26.3	2、4	・各種競技大会の開催や地域イベント等の取り組みに効果。	○	①施設の管理方法の検討や維持管理に要する経費の確保。	①H26年度予算の確保に向け関係課と協議する。	

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容			広報の方法			効果		水源地域の満足度	
取組内容	先行プロジェクト	○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足		
取組内容	●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足			
取組内容	△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通			
取組内容	×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満			
◎		先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組			5	その他					

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト		実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応			
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度			
					取組事項	状況*	実施主体											
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	さくらおろち湖周辺既存設施の活用	(15) さくらおろち湖の活用	(15)-1 湖面の利用促進(ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験)	早期(先行)	③レガッタ大会やボート競技大会の誘致	既存	雲南省、奥出雲町、島根県斐伊川さくらボート協会、島根県ボート協会	島根県	雲南省	~H26.10	●	ボート競技コースの整備	△ ○ ○ ○	・地域活性化の取組みに活用できた。 ・各種競技大会の開催や地域イベント等の取り組みに効果。	△ △ △ ○	● ● ● ●	①維持管理経費を確保する必要がある。 ①施設の管理方法の検討や維持管理に要する経費を確保する。	①必要な予算を確保し、大会誘致のための活動を継続する。 ①H26年度予算の確保に向け関係課と協議する。
			④子供向けのボート教室の実施	既存	NPO法人さくらおろち、斐伊川さくらボート協会、県ボート協会の運営協力(大学生への声かけ)	×					●		・ボート競技の普及振興が図れた。 ・選手育成や競技力の向上に繋がった。 ・長者の湯や博物館の利用などによって、経済効果があった。	○ ○ ○ ○	● ● ● ●	● ● ● ●	①ボート競技の実施に適した水位を確保する必要がある。 ②合宿利用が減少している。 ③レーン幅を拡大する必要がある。 ④なみがなない。	①柔軟な水位管理に向けた提言を行う。 ②合宿で利用できることを積極的にPRする。 ③コース設定など、柔軟な対応を行う。 ○ボート大会などを継続する。 ○競技人口の拡大に向けた情報発信を行う。 ○カヌー協会と連携を図る。

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容			広報の方法			効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	既存プロジェクト	取組内容	先行プロジェクト	既存プロジェクト	取組内容	広報の方法	効果	満足度	効果	満足度	効果
○ H24年度以前に実施	○ H25年度に実施	1 投げ込み	○	○	効果あり	○	効果あり	◎	大変満足	◎	大変満足
● H25年度に実施	△ H25年度に一部実施、または計画中	2 ホームページ	●	△	やや効果あり	△	やや効果あり	○	満足	○	満足
△ H25年度に一部実施、または計画中	×	3 Facebook、Twitter	△	×	効果なし	×	効果なし	△	普通	△	普通
×	H25年度に実施なし	4 チラシ	×	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満	×	不満
○ H24年度以前に実施	○ H25年度に実施	5 その他	○	○	その他	-	H25年度実施なし	-	H25年度実施なし	-	H25年度実施なし

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト			実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応					
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			取組内容	実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度					
					取組事項	状況*	実施主体														
さくらおろちの魅力を磨き、活性化する	ダム周辺既存施設の活用	(15) さくらおろち湖の活用	(15)-1 湖面の利用促進(ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡回体験)	早期(先行)	⑤流域住民を対象とした体験教室の開催	既存	NPO法人さくらおろち、斐伊川さくらボート協会、県ボート協会の運営協力(大学生への声かけ)	●	市民レガッタが該当住民向け体験イベントの開催(ガッショ祭りでのローリングマシンによる競争イベント等)	NPO法人さくらおろち、斐伊川さくらボート協会	さくらおろち湖	年に1回程度		●	・ボート競技の普及振興に繋がった。	●	○	△	△	①体験イベントの規模が縮小している。	①体験イベントを継続的に開催する。 ○地域外への情報発信を図る。 ○高齢者の活躍の場、交流の場づくりなど、他イベントとの連携を模索する。
			(15)-2 さくらおろち湖の魅力発信	早期									○	×	・レガッタが地域住民になじんでいない。 ・興味なしではないか。 ・一部の愛好家向け?	△					
			(15)-3 釣り利用(PR・大会・施設設備)	早期(先行)	①釣り大会の実施の可能性の検討	新規	(実施段階で検討)	×					-	-		-				○平成26年度も引き続き対象魚種の生息状況を見守る。	
			(15)-4 利用ルールの策定・周知(湖面利用の手引き等)	早期(先行)	①「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」の策定	既存	さくらおろち湖周辺施設管理会議	●	「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	さくらおろち湖周辺	H25.3.29~		△	・周知が図れていな	△	×	△	△	・湖面を利用する際のマナーが悪い。	①引き続き湖面を利用する際のマナーを発信する。 ○メディア等を活用する。
			②手続きの簡素化や窓口の一元化の可能性の実施		既存	さくらおろち湖周辺施設管理会議	●	「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	さくらおろち湖周辺	さくらおろち湖周辺	H25.3.29~	1、2、4	○		△	×	△	△		

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト	取組内容			広報の方法		効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足	
早期・中期・後期のプロジェクト	●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足	
既存の取組	△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通	
新規の取組	×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満	
○		先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組	5	その他					

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト			実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応				
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項		取組内容		実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果		総合評価	満足度			
					取組事項	状況*	実施主体													
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	ダム周辺既存施設の活用	(16) 既存施設等の活用	(16)-1 自転車競技施設（多目的広場）の利用促進（音楽イベント等）	早期（先行）	①土曜・日曜・祝日ににおける施設の開放	新規	(実施段階で検討)	●	土日、祝日にトライレ施設の開放	島根県	自転車競技施設	H25.4～	2、4	○ ○	・施設の利用促進に効果。	○ ○	・水源地域の活性化に効果。	①施設の管理方法の検討や維持管理に要する経費を確保する。	①引き続き地域の取り組みを支援するための維持管理を行う。	
					②音楽イベントの開催	既存	雲南市商工会、奥出雲町商工会、NPO法人さくらおろち	△	第2回雲南ロッカフェスティバルの開催（台風接近により中止）	NPO法人さくらおろち	自転車競技施設	H25.8.31		○ ○ ○ ○	・尾原ダムへの誘客を図ることができる（H24年度：600人）。	○ ○ ○ ○	・若年層の参加もあり、満足度は高い。	○ ○ ○ ○	○	○
					③農村体験施設の利用促進	既存	①体験学習会や小中学生を対象とした合宿研修の開催	●	水源地域環境活動推進業務委託	NPO法人さくらおろち	雲南市奥出雲町	～H25.9		○ ○ ○ ○ ○	・葛やカズラを伐採するだけで無く有効活用策の試行を図ることができた。	△ △ △ △	○	○	○	○
					(16)-3 下布施ホースセラピー施設の利用促進	既存	②農地と連携した体験プログラムの企画	×	雲南市、NPO法人インフォメンションセンター（雲南TRC）					- -		- -		①活動の継続に向けた財源を確保する。	①関係市町の意向を確認した上で、H26年度予算を確保する。	

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時（H25.3.13）時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容			広報の方法		効果		水源地域の満足度	
取組内容	先行プロジェクト	○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足	
取組内容	早期・中期・後期のプロジェクト	●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足	
取組内容	既存の取組	△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通	
取組内容	新規の取組	×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満	
◎		先行プロジェクト（取組内容）以外に追加実施した取組			5	その他		-	H25年度実施なし	

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時（H25.3.13）時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容		広報の方法		効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	(取組内容) 先行プロジェクト	<input type="radio"/>	H24年度以前に実施	1	投げ込み	<input type="radio"/>	効果あり	<input checked="" type="radio"/>	大変満足
早期・中期・後期のプロジェクト		<input checked="" type="radio"/>	H25年度に実施	2	ホームページ	<input type="triangle"/>	やや効果あり	<input type="radio"/>	満足
既存の取組		<input type="triangle"/>	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	<input type="cross"/>	効果なし	<input type="triangle"/>	普通
新規の取組		<input type="cross"/>	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	<input type="cross"/>	不満
◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組	5	その他			-	H25年度実施なし		

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト			実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応			
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項		取組内容	実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果		満足度				
					取組事項	状況*							効果	満足度					
さくらおろちの魅力を磨き、活性化す	X歴史・文化の継承	(18)郷土料理の継承・活用	(18)-1郷土料理の継承・活用(焼豆腐、イノシシ料理等)	早期(先行)	①地域に伝承されている「食」の掘り起こし	既存	NPO法人さくらおろち	●	さくらおろち湖の「食の縁結び」物語(年4回)の開催	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	雲南省、奥出雲町	H25.6.23～H26.1.19		○	△	・郷土料理への関心を高めることができた。	○	①活動を継続するための財源を確保する。	①助成事業の紹介を行う。 ○継続して「食」の掘り起こしを行う。
					②郷土料理の講座の開催	既存	NPO法人さくらおろち	●	さくらおろち湖の「食の縁結び」物語(年4回)の開催	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	雲南省、奥出雲町	H25.6.23～H26.1.19		○	△	・郷土料理への関心を高めることができた。	○	①活動を継続するための財源を確保する。	①助成事業の紹介を行う。 ○継続して郷土料理の講座を開催する。
					③郷土料理を楽しむモニターツアーの開催	既存	NPO法人さくらおろち	●	奥出雲町産の食材を使用している松江市内の古民家レストラン「カンテラ家」のお客さんを水源地域に招くツアーアーの開催	NPO法人さくらおろち	奥出雲町	適宜		○	△	・上下流交流を促進することができた。	○	①水源地域までのバス代などの財源を確保する。	①助成事業の紹介を行う。 ○継続してモニターツアーを開催する。
					④奥出雲のオーガニック料理教室	既存	NPO法人奥出雲布勢の郷、奥出雲多根自然博物館	●	料理教室(地元の安全・安心な食の提供とPR)産直販売	料理教室：奥出雲多根自然博物館 産直：NPO法人奥出雲布勢の郷	料理教室：奥出雲多根自然博物館 産直：佐白温泉長者の湯	料理教室：4回程度/年 産直：毎日		○	△	・旬の食材の活用などを通じて、健康の増進に繋がった。 ・講師との協力体制が構築できた。	○	①安全な食を生産する農家や田畠を増やす(生産者の意識を向上する)。	①積極的に生産者向けの情報発信を行う。 ○博物館の展示物と連携したイベントを開催する。
					⑤新規の取組	既存	NPO法人さくらおろち	●	さくらおろち湖の「食の縁結び」物語(年4回)の開催	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	雲南省、奥出雲町	H25.6.23～H26.1.19		○	△	・浸透中。	○	②水源地域までのバス代などの財源を確保する。	②助成事業の紹介を行う。 ○継続してモニターツアーを開催する。
			(18)-2モニターツアーの開催	早期(先行)	①郷土料理を楽しむモニターツアーの開催	既存	NPO法人さくらおろち	●	奥出雲町産の食材を使用している松江市内の古民家レストラン「カンテラ家」のお客さんを水源地域に招くツアーアーの開催	NPO法人さくらおろち	奥出雲町	適宜		○	△	・上下流交流を促進することができた。	○	①水源地域までのバス代などの財源を確保する。	①助成事業の紹介を行う。 ○継続してモニターツアーを開催する。
					②奥出雲のオーガニック料理教室	既存	NPO法人奥出雲布勢の郷、奥出雲多根自然博物館	●	料理教室(地元の安全・安心な食の提供とPR)産直販売	料理教室：奥出雲多根自然博物館 産直：NPO法人奥出雲布勢の郷	料理教室：奥出雲多根自然博物館 産直：佐白温泉長者の湯	料理教室：4回程度/年 産直：毎日		○	△	・旬の食材の活用などを通じて、健康の増進に繋がった。 ・講師との協力体制が構築できた。	○	①安全な食を生産する農家や田畠を増やす(生産者の意識を向上する)。	①積極的に生産者向けの情報発信を行う。 ○博物館の展示物と連携したイベントを開催する。
					③新規の取組	既存	NPO法人さくらおろち	●	さくらおろち湖の「食の縁結び」物語(年4回)の開催	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	雲南省、奥出雲町	H25.6.23～H26.1.19		○	△	・浸透中。	○	②水源地域までのバス代などの財源を確保する。	②助成事業の紹介を行う。 ○継続してモニターツアーを開催する。
					④新規の取組	既存	NPO法人さくらおろち	●	さくらおろち湖の「食の縁結び」物語(年4回)の開催	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	雲南省、奥出雲町	H25.6.23～H26.1.19		○	△	・浸透中。	○	②水源地域までのバス代などの財源を確保する。	②助成事業の紹介を行う。 ○継続してモニターツアーを開催する。
					⑤新規の取組	既存	NPO法人さくらおろち	●	さくらおろち湖の「食の縁結び」物語(年4回)の開催	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち	雲南省、奥出雲町	H25.6.23～H26.1.19		○	△	・浸透中。	○	②水源地域までのバス代などの財源を確保する。	②助成事業の紹介を行う。 ○継続してモニターツアーを開催する。

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容			広報の方法			効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	早期・中期・後期のプロジェクト	既存の取組	新規の取組	(取組内容)	(取組内容)	(取組内容)	(取組内容)	(取組内容)	(取組内容)	(取組内容)	(取組内容)
○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足				
●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足				
△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通				
×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満				
◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組	5	その他			-	H25年度実施なし				

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト		実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応		
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度		
					取組事項	状況*	実施主体										
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	X歴史・文化の継承	(19)地域文化の継承・活用	(19)-1古民家の活用	早期(先行)	①観光拠点の一つとして「要害山交流拠点施設みざわの館」の活用	既存	奥出雲町、雲南市、とんぼの会、NPO法人さくらおろち	●田舎体験ツアーの宿泊地として活用	奥出雲町	みざわの館	H25.8	●	・田舎暮らしに興味を持っておられる人にとって、移住を考えるきっかけとなるようなツアーとなった。過去には本ツアーを経て1ターンされたケースもある。	△			○定住ツアートにとどまらず、観光拠点としての活用を検討する。
X I新たな魅力・資源の発掘・活用	(20)地域の魅力・資源の発掘・活用	(20)-1温泉の活用(スタンプラリー)	(20)-1温泉の活用(スタンプラリー)	早期(先行)	①温泉スタンプラリーの企画・実施 ②世代間交流イベントの実施 ③地域全体として魅力の発信	既存 新規 新規	雲南広域連合 NPO法人奥出雲布勢の郷 (実施段階で検討)	●「うんなん湯たんぶラリー」の実施 論語塾の開催 地域づくりや環境活動の講演会の開催 健康ウォーキングの開催 (17)-1で実施【「島根県雲南市を地元ガイドと巡る旅(スサノオ伝承バス・ヤマタノオロチ伝承バス)」の開催】	雲南広域連合 NPO法人奥出雲布勢の郷 株式会社ふるさと村、雲南市観光協会	雲南市 奥出雲町 飯南町 長者の湯 雲南市、奥出雲町各地	H25.10.1~H26.2.28 H24.5、H25.3、H24.10 H25.4~H25.11 (第2土曜日・第4土曜日)	● ○ ● ● ● ● ● ● ● ●	● ○ ● ○ ● ● ● ● ● ●	・まちおこし拠点として機能しており、昨年は延べ2千人の利用者があった。 ・地域の振興・活性化に繋がった。 ・地域と連携して取組んでいる。	△ △ △ △ △ △ △ △ △ △	①採算性が低い。 ②直の負担が大きく、ほぼボランティアである。 ③浸透中。 ④地域と連携して取組んでいる。	①独立採算を目標に、地域で頑張つて継続させていく。 ②助成事業の紹介を行う。 ③天候に左右される。 ④雨天時の企画を検討する。 ○交流人口拡大のため継続させる。

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト	取組内容			広報の方法		効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	○	H24年度以前に実施		1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足
早期・中期・後期のプロジェクト	●	H25年度に実施		2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足
既存の取組	△	H25年度に一部実施、または計画中		3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通
新規の取組	×	H25年度に実施なし		4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満
◎		先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組		5	その他	- H25年度実施なし			

青字:「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト		実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応				
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果	総合評価	満足度				
					取組事項	状況*	実施主体												
さくらおろちの魅力を磨き、活かす	X I 新たな魅力・資源の発掘	(20) 地域の魅力・資源の発掘・活用	(20)-3 地域体感ツアーや資源の開拓・活用	早期(先行)	①地域体感ツアーや企画・開催	既存	NPO法人さくらおろち	●	地域の魅力を体験できるツアーの開催(夏と冬)	NPO法人さくらおろち	雲南省 奥出雲町	H25.8.3~H26.1~	○	・定住者の確保に繋がった。	△	△	△	①活動の継続に必要な財源を確保する。	①助成事業の紹介を行う。 ○継続して地域体感ツアーや資源の開拓・活用を実施する。
					②雪かきなどの雪体験ツアーや生活体験の実施	既存	NPO法人さくらおろち										①活動の継続に必要な財源を確保する。	①助成事業の紹介を行う。 ○継続して雪体験ツアーや生活体験の実施する。	
					③温泉や宿泊施設などの連携	既存	NPO法人さくらおろち										①活動の継続に必要な財源を確保する。	①助成事業の紹介を行う。 ○地域体感ツアーや温泉施設との連携する。	
					(21) 漁業資源の育成と活用	(21)-1 漁業資源の創出(ワカサギの放流)	既存	●	①ワカサギの放流	NPO法人さくらおろち	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち、斐伊川漁業協同組合、温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会	H25.8.3~H26.1~	○	・水源地域の魅力をPRすることができた。	△	△	△	①活動の継続に必要な財源を確保する。	①助成事業の紹介を行う。 ○地域体感ツアーや温泉施設との連携する。
					②冬季の観光資源としての活用	既存	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち、斐伊川漁業協同組合、温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会										・入漁権を設定する。	・継続して、調査を実施していきたい	
					(22) 特産品の開発・販売	(22)-1 特産品の開発・販売促進	既存	●	①水源地域ならではの素材を用いた個性ある商品の開発	NPO法人心る里雲南	下布施農村体験施設	今年より開始	○	・道の駅の集客に繋がった。	△	△	△	○イノシシ肉の加工・処理、及び施設の立ち上げを検討する。	○イノシシ肉の加工・処理、及び施設の立ち上げを検討する。
					X II 交流イベントの活発化	(23) 交流イベントの活発化	(23)-1 さくらおろち湖祭りの開催										①規模が大きくなりすぎているため、プログラムの整理が必要である。	①実施するプログラムを整理する。 ○継続してダム湖祭りを開催する。	
					①「さくらおろち湖祭り」の開催	既存	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	●	第9回さくらおろち湖祭りの開催	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	ボート競技施設他	H25.10.13	○	・観光客の確保に繋がった。	△	△	△	・定番イベント化となりつつあり、満足度は高い。	○イノシシ肉の加工・処理、及び施設の立ち上げを検討する。
					②「さくらおろち湖祭り」の開催	既存	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会										○イノシシ肉の加工・処理、及び施設の立ち上げを検討する。		

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時(H25.3.13)時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容			広報の方法		効果		水源地域の満足度	
取組内容	取組内容	○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足	
○	先行プロジェクト	●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足	
△	既存の取組	△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通	
×	新規の取組	×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満	
◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組	○	○	5	その他	-	H25年度実施なし	-		

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

基本方針	大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト		実施状況					効果		水源地域の満足度		推進にあたっての課題	今後の対応										
			プロジェクト	取組時期	1年目に取組むべき事項			実施主体	実施場所	取組時期	広報の方法	総合評価	効果		満足度										
					取組事項	状況*	実施主体						取組内容	効果											
さくらおろちの魅力を磨き、活性化	X II 交流イベントの活発化	(23) 交流イベントの活発化	(23)-1 さくらおろち湖祭りの開催	早期（先行）	②実施プログラムの発展	既存	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	●	実施プログラムの見直し	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	ポート競技施設他	H25.10.13	○	・観光客の確保に繋がった。		○	・定番イベント化となりつつあり、満足度は高い。		①実施するプログラムを整理する。 ○継続してダム湖祭りを開催する。						
			(23)-2 そば打ち交流会の開催	早期（先行）	①「そば打ち交流会」の継続	既存	雲南市、奥出雲町						△												
								△	そば打ち交流会の開催	雲南市、奥出雲町	布勢地区温泉地区交流センター	H25.11.10 H25.11.17	○	・流域圏の交流により、地域の活性化に繋がる。		○	・水源地域の方が直接そば打ちを指導することで満足感を得ている。		②流域圏の交流により、地域の活性化に繋がる。 ○水源地域の方が直接そば打ちを指導することで満足感を得ている。						
								○	2	2, 5	2, 3	○													

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時（H25.3.13）時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容			広報の方法		効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	早期・中期・後期のプロジェクト	既存の取組	新規の取組	取組内容	先行プロジェクト	○ H24年度以前に実施	1 投げ込み	○ 効果あり	◎ 大変満足	
				○ H25年度に実施	●	H25年度に実施	2 ホームページ	△ やや効果あり	○ 満足	
				△ H25年度に一部実施、または計画中	△	H25年度に一部実施、または計画中	3 Facebook, Twitter	× 効果なし	△ 普通	
				×	×	H25年度に実施なし	4 チラシ	- H25年度実施なし	× 不満	
				◎ 先行プロジェクト（取組内容）以外に追加実施した取組	◎	○ 先行プロジェクト（取組内容）以外に追加実施した取組	5 その他	- H25年度実施なし	- H25年度実施なし	

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

※第3回尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会時（H25.3.13）時点の実施状況

《凡例》

プロジェクト		取組内容		広報の方法		効果		水源地域の満足度	
先行プロジェクト	(取組内容) 先行プロジェクト	○	H24年度以前に実施	1	投げ込み	○	効果あり	◎	大変満足
早期・中期・後期のプロジェクト		●	H25年度に実施	2	ホームページ	△	やや効果あり	○	満足
既存の取組		△	H25年度に一部実施、または計画中	3	Facebook、Twitter	×	効果なし	△	普通
新規の取組		×	H25年度に実施なし	4	チラシ	-	H25年度実施なし	×	不満
◎	先行プロジェクト(取組内容)以外に追加実施した取組			5	その他			-	H25年度実施なし

青字：「さくらおろちを活性化する会」アンケート記載内容

3.H25 年度の実施プロジェクトの実施概要

先行プロジェクト1

(1)-1 人材の発掘・活用

A 取組内容 (全体)	目的	・人材の活用 ・人材の発掘					
	場所	・水源地域					
	内容	①水源地域の活性化に向けた技術や、知識、知恵を持った人材を発掘します。 ②発掘した人材を有効活用するための人材バンク（データベース）の構築を検討します。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項		状況	C.実施主体			
	①技術や知識、知恵を持った人の発掘		新規	(実施段階で検討)			
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	人材発掘	●	●	●	●		
	人材バンクの構築	●	●	●	●		
	人材バンクの活用	●	●	●	●	●	●
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①技術や知識、知恵を持った人の発掘
1 取組内容	H25 年度に実施なし
取組状況	
実施主体	
実施日	
詳細情報	

先行プロジェクト2

(1)-3 教育機関（大学等）との連携

A 取組内容 (全体)	目的	・教育機関との連携 ・人材の確保					
	場所	・島根大学 ・水源地域 ・島根県立大学					
	内容	①地元の大学や研究機関等と連携して、水源地域の活性化に関するプログラムの開発や助言、各種イベントへの学生の呼び込みなどを行います。 ②学生と地域のニーズをマッチングさせるシステムづくりを検討し、学生が地域づくりに参加することで学ぶという学修の環境を整備します。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①大学や研究機関と連携したプログラムの開発			既存	・雲南省、奥出雲町 ・島根大学 ・NPO 法人さくらおろち		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案		●	●	●	●	● 教育機関との連携
	プログラムの開発		●	●	●		
	ニーズ調査	●	●	●	●		
	システムづくり		●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	● 教育機関との連携
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①大学や研究機関と連携したプログラムの開発
1 取組内容	H25 年度に実施なし
取組状況	
実施主体	
実施日	
詳細情報	

先行プロジェクト3

(2)-1 リーダーの育成

A 取組内容 (全体)	目的	・リーダーの育成 ・活動の継続					
	場所	・水源地域					
	内容	①水源地域ビジョンで検討された活動を継続して推進していくために、リーダーを対象とした講習会を開催します。 ②リーダー研修会を開催します。 ③先進事例を推進している地域への視察などを行います。					
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①リーダーを対象とした講習会の開催			新規	(実施段階で検討)		
	③先進事例の視察			新規	(実施段階で検討)		
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{*1、*2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	
	企画立案	●	●	●	●	●	
	講習会の開催	●	●	●			
	リーダー研修の開催	●	●	●			
	先進事例の視察	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①リーダーを対象とした講習会の開催
1 取組内容	H25 年度に実施なし
取組状況	-
実施主体	-
実施日	-
詳細情報	-

取組事項	②先進事例の視察
1 取組内容	H25 年度に実施
取組状況	広島県土師ダムヘトレイルランニングの実施状況の視察
実施主体	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち
実施日	平成 25 年 5 月
詳細情報	-

先行プロジェクト4

(3)-1 企業との連携 (CSR活動)

A 取組内容 (全体)	目的	・活動の継続				
	場所	・水源地域 ・斐伊川流域				
	内容	<p>①水源地域ビジョンで検討された活動を推進していくために、連携して活動を推進していく企業を募集します。</p> <p>②企業と連携可能なプログラムを作成します。</p> <p>③水源地域の活性化を流域として継続していくために、流域内の企業が実施するCSR(企業の社会的責任)活動と連携して、周辺地域の清掃等を実施します</p> <p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「斐伊川・神戸川流域における命の絆づくり」において企業との連携によるクリーンアップ活動を実施しています(平成24年9月に、松江市と出雲市の企業6社が尾原ダム周辺にて除草作業等を実施)。 ・「森と湖に親しむ旬間」に併せ、「温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会」、「温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」の関係者や、ダム上流・中流・下流の協力企業15社、「NPO法人さくらおろち」、「NPO法人奥出雲布勢の郷」などから約80名の参加により、「さくらおろち湖周辺の環境美化活動(草刈り・空き缶拾い等)」を実施(平成25年7月)。 				
B.1年目に取組むべき事項	取組事項		状況	C.実施主体		
	①連携企業の募集		既存	<ul style="list-style-type: none"> ・雲南市、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち 		
	②実施プログラムの作成		既存	<ul style="list-style-type: none"> ・雲南市、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち 		
	③CSR活動との連携		既存	<ul style="list-style-type: none"> ・雲南市、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち 		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県
企画立案		●	●	●	●	
連携企業の募集		●	●	●		
実施プログラムの開発		●	●	●		
CSR活動との連携実施	●	●	●	●		
広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

【平成25年度の実施内容】

取組事項	①連携企業の募集
取組内容	企業CSR活動の実施
取組状況	H25年度に実施
実施主体	NPO法人さくらおろち
実施日	平成25年9月28日
詳細情報	-

取組事項		②実施プログラムの作成
1	取組内容	企業CSR活動の実施
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	NPO法人さくらおろち
	実施日	平成25年9月28日
	詳細情報	-

取組事項		③CSR活動との連携
1	取組内容	森と湖に親しむ旬間イベントに合わせた環境美化活動
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	NPO法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町
	実施日	平成25年7月23日
	詳細情報	<p>参加者：地元活性化対策協議会、ダム湖の郷、NPO法人さくらおろち NPO法人奥出雲布施の郷、ダム上・中・下流の協力企業(15社)、雲南市、島根県、国土交通省</p> <p>参加者数：80名</p> <p>《参考》H24年度の参加者数：50名</p>

尾原ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所
尾原ダム管理支所
TEL 0854-48-0780
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>
第17号(7月26日版)
尾原ダムキャラクター「すさのおくん」

「森と湖に親しむ旬間」に併せ各種行事を開催!!

『森と湖に親しむ旬間』に併せ、尾原ダム・さくらおろち湖周辺環境保全活動を平成25年7月23日(火)に行いました。
「地元活性化対策協議会」、「ダム湖の郷」の地元の皆様、ダム上・中・下流の協力企業15社の方々、および「NPO法人さくらおろち」、「布施の郷」、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省から約80名の参加によりさくらおろち湖周辺の環境美化活動(草刈り・空き缶拾い等)を実施しました。

大変暑い中、大勢の方に参加頂き『さくらおろち湖』周辺がキレイになりました。ご協力ありがとうございました。



～担当者からひとこと～
ボランティア活動にもかかわらず、斐伊川流域の上・中・下流のたくさんの方が参加されました。
『命育むオロチの泉』『水の恵みすべての人へ』(定礎石の言葉)の精神を忘れないようにしたいと思います。(Y. H.)

『森と湖に親しむ旬間』とは...国土交通省及び林野庁が昭和62年度から、国民の皆さんに森林や湖に親しむことにより、心身をリフレッシュしながら、森林やダム等のもつてゐる自然豊かな空間や社会生活にはたしている役割について理解を深めていただくことを目的として、毎年7月21日～7月31までを『森と湖に親しむ旬間』として定めています。この旬間に、本趣旨に沿って全国の管理ダムを中心とした各種行事が行われています。

尾原ダム便り(第17号、7月26日版)

先行プロジェクト5

(4)-2 流域圏の連携

A.取組内容 （全体）	目的	・下流域との連携 ・流域圏の連携					
	場所	・水源地域 ・斐伊川下流域					
	内容	①尾原ダムの魅力を活かし、流域圏の連携・発展を図るために、流域内で実施されている活動や団体との連携を深化させていきます。 ②志津見ダム水源地域で活動されている団体と連携した情報発信や連携イベントの開催などを検討します。 ③広域的に連携した観光ルートを創造し、広くPRします。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体			
	①流域内で実施されている活動や団体との連携	新規		(実施段階で検討)			
	②志津見ダム水源地域で活動されている団体との連携	新規		(実施段階で検討)			
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{*1, *2}					備考
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	連携イベントの開催	●	●	●	●	●	●
	観光ルートの創造	●	●	●			
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR（サイクリングイベント、認定コース、ショートコース） (15)-1 湖面の利用促進（ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験） (16)-1 自転車競技施設（多目的広場）の利用促進（音楽イベント等） (16)-4 街道・登山道の活用（トレイルランニング、殿様街道、岩伏山） (23)-1 さくらおろち湖祭りの開催 (23)-2 そば打ち交流会の開催 (23)-3 イベントの企画・立案						

*1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

*2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①流域内で実施されている活動や団体との連携
1 取組内容	大橋川改修工事に係る団体との連携
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	松江市
実施日	平成 25 年 10 月 13 日
詳細情報	島根県松江市の住民が、松江市所有のバス 3 台で来場 尾原ダムさくらおろち湖祭りだけでなく、「志津見ダム・東三瓶フラワーバレー（コスモス祭り）」や「斐伊川放水路」も同時に視察



尾原ダムさくらおろち湖祭りの見学の様子

取組事項	②志津見ダム水源地域で活動されている団体との連携
1 取組内容	志津見ダムポピー祭りでの特産品の販売
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち
実施日	平成 25 年 6 月 9 日
詳細情報	東三瓶フラワーバレー（ポピー祭り会場）で特産品を販売 ポピー祭りでは、飯南町副町長が来賓挨拶を実施



特産品の販売状況

先行プロジェクト6

(5)-1 情報発信の促進（ホームページ、カレンダー、案内標識）

A 取組内容 （全体）	目的	・水源地域の魅力の発信					
	場所	・水源地域					
	内容	①水源地域の情報を発信するホームページに水源地域の自然環境や魅力、イベント情報、学習情報、特産品情報、活動情報などを発信します。 ②各種イベントや地域マスメディア（ケーブルテレビ・新聞社等）、各種情報誌に水源地域に関する情報を積極的に発信します。 ③尾原ダム周辺の案内標識を整備します。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①水源地域の情報を発信するホームページの運用			既存	• 雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省 • NPO法人さくらおろち • 温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会		
	②水源地域に関する情報の積極的な発信			既存	• 雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省 • NPO法人さくらおろち • 温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会		
D.実施項目と役割分担	③尾原ダム周辺の案内標識の整備			新規	• 雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省		
	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交響
		企画立案	●	●	●	●	●
		ホームページの充実	●	●	●	●	●
		地域マスメディアとの連携	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	案内標識の設置検討						道路管理者との調整
	案内標識の設置						
	広報・PR						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①水源地域の情報を発信するホームページの運用
1	取組内容	斐伊川・神戸川流域の上下流交流サイト（水の縁による新たな出雲の国づくり）の運用開始
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	斐伊川・神戸川ダム対策協議会
	実施日	平成 25 年 5 月～
	詳細情報	事務局：雲南省役所政策企画部ダム対策課
2	取組内容	さくらおろち湖周辺を 100% 楽しむサイトの運用
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	NPO 法人さくらおろち
	実施日	随時
	詳細情報	-



水の縁による新たな出雲の国づくり HP



さくらおろち湖周辺を 100% 楽しむサイト

	②水源地域に関する情報の積極的な発信
1	取組内容 県HPによるさくらおろち湖周辺スポーツ施設の広報・案内
	取組状況 H25年度に実施
	実施主体 島根県
	実施日 随時
	詳細情報 -
2	取組内容 広報、ホームページ等での情報発信
	取組状況 H25年度に実施
	実施主体 雲南市
	実施日 随時
	詳細情報 -
3	取組内容 町ホームページ、町観光情報サイト「奥出雲ごこち」、町ケーブルテレビ・有線放送でのイベント周知
	取組状況 H25年度に実施
	実施主体 奥出雲町
	実施日 随時
	詳細情報 -
4	取組内容 Facebookやtwitterを用いた情報発信
	取組状況 H25年度に実施
	実施主体 NPO法人さくらおろち
	実施日 随時
	詳細情報 -
5	取組内容 ホームページや尾原便り等での情報発信
	取組状況 H25年度に実施
	実施主体 国土交通省
	実施日 随時
	詳細情報 平成25年度は、12号を発行（11月8日時点）



奥出雲ごこちHP

	③尾原ダム周辺の案内標識の整備
1	取組内容 ダム直近の国道314号沿線での案内標識の整備
	取組状況 H25年度に実施
	実施主体 島根県
	実施日 随時
	詳細情報 -
2	取組内容 ダム湖周辺施設の案内標識の設置
	取組状況 H25年度に実施
	実施主体 雲南市
	実施日 随時
	詳細情報 -



島根県雲南県土整備事務所HP



国道314号沿いに尾原ダムへの案内標識

さくらおろち湖総合案内板

先行プロジェクト7

(6)-1 森林の整備・管理

A 取組内容 (全体)	目的	・森林の保全 ・上流部の森林の整備					
	場所	・水源地域の森林					
	内容	①斐伊川流域の河川の水質を保全するため、上流部の森林で広葉樹の植林や森林の計画的な間伐などの維持管理を積極的に行います。 ②森林の計画的な間伐などの維持管理を実施します。 ③雲南市の「うんなん森林バイオマス活用システム」や奥出雲町の「バイオマстаун構想」と連携し、竹林や林地残材のチップ化を推進します。 ④さくらおろち湖内の竹林等の適正な管理を行います。					
【既存の取組内容】 ・雲南市では、「うんなん森林バイオマス活用システム」として、森林組合などと組んで木質チップを利用したバイオマス（生物資源）エネルギー事業を実施しています。チップ原料となる木材収集を市民が行い、対価として地域通貨を発行するなど市民参加型とする点が特徴となっています。 ・奥出雲町では、「木材粉碎機整備事業」として、奥出雲町内全9地区及びシルバーセンターに合計10台の小型粉碎機を配備しています。粉碎機は自治会が維持管理し、無料で貸し出されている。住宅の裏山等に繁殖する竹や樹木をチップ化し、堆肥等に活用し、里山の再生に役立てています。							
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況	C.実施主体				
	③竹林や林地残材のチップ化の推進	既存	・雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省 ・森林関係団体				
	④さくらおろち湖内の竹林等の管理	既存	・雲南市、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち				
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
	企画立案	住民	●	●	●	●	森林行政等との調整
	植林の実施	●	●	●	●	●	
	間伐の実施	●	●	●	●	●	教育機関との連携
	チップ化の実施	●	●	●	●	●	国土交通省：河川管理者として
	竹林等の管理	●	●	●	●	●	島根県、国土交通省：河川管理者として
	広報・PR	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

【平成25年度の実施内容】

取組事項		③竹林や林地残材のチップ化の推進
1	取組内容	水の縁推進事業として、NPOを受託者として環境・景観保全を実施
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	NPO法人さくらおろち
	実施日	平成25年4月～
	詳細情報	-

取組事項		④さくらおろち湖内の竹林等の管理
1	取組内容	森の観察会・農業体験（小学生向け）の実施
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	NPO法人さくらおろち
	実施日	平成25年10月25日
	詳細情報	-

先行プロジェクト8

(8)-1 生息環境の保全（動物、植物）

A 取組内容 (全体)	目的	・生息環境の保全					
	場所	・ダム周辺の河川（ホタル：三沢川、キシツツジ：河岸） ・ダム周辺地域					
	内容	①ホタルの生息環境を保全するため、三沢川の清掃活動を継続します。 ②ホタルの餌の減少を防ぐため、カワニナの放流活動を実施します。 ③河川環境の保全のシンボルである、河岸のキシツツジなどの保全活動を実施します。 ④人と動物が共生するための安全対策の検討を推進します。 ⑤オオサンショウウオを保全するために、生息環境の保全活動を推進します。 【既存の取組内容】 ・とんぼの会が、三沢川周辺の地域住民と、三沢川の清掃などホタルの保全を目的とした環境保全活動を実施しています。 ・八代川周辺の地域住民や、布勢公民館、奥出雲多根自然博物館が、オオサンショウウオの保全を目的とした環境保全活動を実施しています。					
	B.1年目に取組むべき事項	取組事項		状況	C.実施主体		
		①三沢川の清掃活動		既存	•とんぼの会 •原田自治会		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	
	清掃活動の実施	●	●	●	●	●	●
	カワニナの放流	●	●				
	キシツツジ保全活動の実施	●	●				
	安全対策の検討	●	●	●			
	安全対策の実施	●	●	●			
	オオサンショウウオの保全		●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策 (9)-1 環境学習会の開催（森林、水質・水生生物、ホタル） (10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

	取組事項	①三沢川の清掃活動
1	取組内容	草刈りなどの周辺整備
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	原田自治会、とんぼの会
	実施日	年に数回実施
	詳細情報	三沢川（原田地区の河川だけでなく土手も含めた広域）～トウトウの滝周辺一帯の草刈を実施

	取組事項	②カワニナの放流活動の実施
1	取組内容	カワニナ放流は構想で止まり、未実施
	取組状況	H25 年度に実施なし
	実施主体	原田自治会、三沢小学校
	実施日	-
	詳細情報	原田自治会と三沢小学校でかつて検討
2	取組内容	ホタル祭りの実施
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	原田自治会
	実施日	平成 25 年 6 月 22 日（平成 23 年より 6 月頃に実施）
	詳細情報	三沢川の川辺（原田地区）で開催
3	取組内容	消灯の取り組み（街灯へのタイマー設置、川沿い家屋の消灯協力）
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	原田自治会
	実施日	4月中旬～7月初旬（街灯は 19:30～23:00 まで Off）
	詳細情報	『「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」によるホタル復活プロジェクト』の一環として実施

	取組事項	③河岸のキシツツジなどの保全活動の実施
1	取組内容	カワニナ放流は構想で止まり、未実施
	取組状況	H25 年度に実施なし
	実施主体	奥出雲町、個人
	実施日	随時（約 10 年前～）
	詳細情報	-

	取組事項	⑤オオサンショウウオの保全・観察
1	取組内容	オオサンショウウオの保全活動の実施
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	国土交通省
	実施日	平成 25 年度
	詳細情報	-

先行プロジェクト9

(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策

A 取組内容 (全体)	目的	・外来種対策 ・害獣、害鳥対策					
	場所	・さくらおろち湖					
	内容	①ブラックバスを始めとした外来魚の放流が法律により禁止されていることを周知します。 ②外来種を捕獲するための仕組みづくりを検討します。 ③森林や漁業資源に被害をもたらす害獣（イノシシなど）や害鳥（カワウなど）の対策を試行します。					
B. 1年目に取組むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体			
	①外来魚の放流が法律により禁止されていることを周知	新規		(実施段階で検討)			
D. 実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
企画立案	●	●	●	●	●	●	
関係機関との調整		●	●	●	●	●	斐伊川漁業協同組合との調整
周知内容の整理	●	●	●	●	●	●	
案内看板の設置	●	●	●	●	●	●	
対策の検討		●	●	●	●	●	
外来種を捕獲する仕組みの構築		●	●	●	●		
害獣、害鳥対策を試行	●	●	●	●			
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E. 関連プロジェクト	(8)-1 生息環境の保全（動物、植物） (10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①外来魚の放流が法律により禁止されていることの周知
1	取組内容	「湖面利用の手引き」の中で外来種の放流禁止を周知
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議
	実施日	平成 25 年 3 月 29 日～
	詳細情報	-



さくらおろち湖周辺及び
湖面利用の手引き
ハンドブック



国土交通省出雲河川事務所尾原ダム管理支所

16 外来種の持ち込みは禁止です。



ブラックバス、ブルーギルなどの外来魚をはじめとする特定外来生物を持ち込まないで下さい。また、生きたまま外へ持ち出さないで下さい。

17 無断で張り紙や看板の設置はできません。



さくらおろち湖の施設や樹木、その他のものに無断で張り紙や看板などを設置することはできません。

18 利用時間を守りましょう。



湖面の利用時間は、午前9時から午後5時までです。また、水遊びをする場合は、日の出から日没までです。

先行プロジェクト10

(9)-1 環境学習会の開催（森林、水質・水生生物、ホタル）

A 取組内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境への意識啓発 ・環境学習の場の提供 						
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム周辺の河川 ・さくらおろち湖 ・ダム下流部 ・水源地域の森林 						
	内容	<p>①さくらおろち湖や周辺の河川、森林への関心を促すために、「環境学習会」を開催します。</p> <p>②ダム湖周辺の河川など、子供たちの夏休みの研究や自然観察会のフィールドとして活用します。</p> <p>③さくらおろち湖周辺に生息するホタルの観察ポイントを整備します。</p> <p>④ホタルの観察会を開催し、自然環境への意識啓発を図ります。</p> <p>⑤ホタル（カワニナ）の生息環境と水質の関係の学習会の開催などを実施します。</p>						
	<p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三沢川周辺でホタル保護のための環境保護活動が実施されています。 ・出前講座や植樹活動等を通じ、森林への関心等を醸成しています。 ・平成12年から平成22年までどんぐりの森づくり（尾原ダム「どんぐりの森づくり」実行委員会）を実施し、斐伊川を中心に上下流域から小学生が参加していました。 							
	B.1年目に取組 むべき事項	取組事項		状況	C.実施主体			
D.実施項目と 役割分担	①河川や森林への関心を促す「環境学習会」の開催			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・雲南省、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち 			
	②ダム湖周辺の河川などの夏休みの研究や自然観察会のフィールドとしての活用			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・雲南省、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち 			
	④ホタルの観察会の開催			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・原田自治会 			
	⑤ホタルの生息環境と水質の関係の学習会の開催			既存	<ul style="list-style-type: none"> ・地元小学校 			
	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考 (必要な支援内容、留意事項等)		
E.関連プロジェ クト	住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省		
	企画立案	●	●	●	●	●		
	「環境学習会」の開催	●	●	●	●	●	教育機関との連携	
	フィールドとしての活用	●	●	●	●	●		
	ホタルの観察ポイントの整備	●	●	●	●			
	ホタルの観察会の開催	●	●	●	●			
	広報・PR	●	●	●	●	●		
<p>(8)-1 生息環境の保全（動物、植物）</p>								

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

【平成25年度の実施内容】

取組事項		①河川や森林への関心を促す「環境学習会」の開催
1	取組内容	布勢小学校児童による環境学習会「森の健康診断」の実施
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	NPO法人さくらおろち
	実施日	平成25年10月～
	詳細情報	-
2	取組内容	人工林の間伐体験、原木シイタケの植菌体験の実施
	取組状況	H25年度に実施（予定）
	実施主体	雲南省、奥出雲町、NPO法人さくらおろち
	実施日	平成26年1月18日
	詳細情報	-

取組事項		②ダム湖周辺の河川などの夏休みの研究や自然観察会のフィールドとしての活用
1	取組内容	地元小学校による尾原ダム周辺での写生大会の開催
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	NPO法人さくらおろち
	実施日	平成25年9月11日
	詳細情報	-
2	取組内容	田舎体験ツーリズムの検討（定住目的の体験ツアーを年2回程度実施予定）
	取組状況	H25年度に実施（予定）
	実施主体	NPO法人さくらおろち
	実施日	平成25年度～平成26年度
	詳細情報	-



里山ボランティアの募集チラシ

写生大会の実施報告 (さくらおろち湖周辺を100%楽しむサイト)

取組事項		④ホタルの観察会の開催
1	取組内容	「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」による「ホタル観察会」の実施（対象は地域住民）
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	原田自治会
	実施日	平成 25 年 6 月
	詳細情報	-

取組事項		⑤ホタルの生息環境と水質の関係の学習会の開催
1	取組内容	ホタルの生息環境と水質の関係の学習会の開催
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	三沢小学校
	実施日	平成 25 年 6 月
	詳細情報	-

先行プロジェクト11

(9)-2 体験プログラムの企画・開催（間伐・農業体験）

A.取組内容 （全体）	目的	・森林や農地の保全への意識啓発 ・体験学習の場の提供					
	場所	・水源地域の森林 ・水源地域の農地					
	千し柿づくり体験						
	内容	①水源地域の森林保全への意識を啓発するために、間伐や材木を活用したものづくりの体験プログラムを企画・実施します。 ②合宿形式の自然体験ツアーを企画・実施します。 ③水源地域の休耕田等を活用した農業体験ツアーを実施します。 ④既に実施している「柿採りと干し柿づくり」ツアーを推進します。 【既存の取組内容】 ・楓之屋ヒーリングが、農業生産体験を1ターン希望の研修生等を対象に実施しています。 ・NPO法人さくらおろちが、様々な体験プログラムを企画・開催しています。 ◆「柿をめぐる男たちの農村ロマン」として「柿採りと干し柿づくり体験」を実施。 ◆神話の里さくらおろち・食の学び舎「農林業の助っ人スサノオ養成講座」として地域住民が講師となった「農林業の体験事業」を実施。 ◆「しまね暮らし体験事業」として「県外在住者向けの田舎暮らし体験」を実施。 ・NPO法人さくらおろちとNPO法人もりふれ俱楽部が、オロチの深山きこりプロジェクトとして間伐材を使った染物体験などを実施しています。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況	C.実施主体				
	①ものづくりの体験プログラムの企画・実施	既存	・NPO法人さくらおろち				
	②合宿形式の自然体験ツアーの企画・実施	既存	・NPO法人さくらおろち				
	③休耕田等を活用した農業体験ツアーの実施	既存	・NPO法人さくらおろち				
	④「柿採りと干し柿づくり」の推進	既存	・とんぼの会				
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{*1、*2}			備考		
	企画立案	住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	ものづくり体験プログラムの実施	●	●	●	●	●	●
	自然体験ツアーの実施	●	●	●	●		
	農業体験ツアーの実施	●	●	●	●		
	「柿採りと干し柿づくり」の実施	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

【平成25年度の実施内容】

取組事項	①ものづくりの体験プログラムの企画・実施
1 取組内容	竹筒を使用したものづくり体験プログラムの実施
	H25年度に実施
	実施主体
	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち
	実施日
2 取組内容	平成25年6月22日
	詳細情報
	造林地の葛を活用したリースづくり
	H25年度に実施（予定）
	実施主体
3 取組内容	雲南市、奥出雲町、NPO法人さくらおろち
	実施日
	平成25年12月14日
	詳細情報
	-

斐伊川上流の里山で少しボランティアな1日を体験してみませんか？
SAKURAOROCHI
2013年度

さくらおろち湖の里山ボランティア



- 尾高ダムの脇で生まれた、さくらおろち湖。そこには、豊かな自然と人の関係が今なお残されています。斐伊川上流域の里山の暮らしの文化、その貴重な財産を引き継いでいこうとする体験学習型のボランティアを大募集します。
- 開催時間：10:00～15:00
参加定員：各回 35名（先着順）
参加費：1000円（昼食代）
- 1 6月22日（土）・雲南市温泉土地区 竹筒の炊込みごはんに、竹のライハイでオムレツ、食器づくり、竹林整備実験と座談会。
- 2 7月20日（土）・雲南市温泉土地区 さくらおろち湖周辺で夏野菜の収穫を手伝い、取れたての味覚を楽しむ1日。
- 3 10月19日（土）・奥出雲町三沢地区 柿の収穫体験と地域の取り組みをじっくり向う1日。

- 4 11月9日（土）・雲南市温泉土地区 さくらおろち湖周辺で晩秋の野菜の収穫を手伝い、取れたての味覚を楽しむ1日。
- 5 12月14日（土）・奥出雲町三沢地区 造林地の葛を取り、プロの講師の指導でリースに仕立てます。森林インストラクターと里山を散策しながら、山をめぐる興味深いお話をたくさん聞けます。
- 6 1月18日（土）・奥出雲町布勢地区 人工林の間伐を体験し、薪で棒焼きパンをつくります。山の木を宝の山に変える原木シタケの植栽体験も。

開催日は、会場まで無料送迎バスを運行します。鳥居御所前（8:15発）→松江市宍道ふるさと森林公園（9:10着）→会場。自家用車にてお越しの方はお申込の際、お知らせください。（駐車場台数に限りがあります。ご了承ください。）

お問い合わせ
お申込先
TEL/FAX 0854-48-0729 (担当：土山、重代)
TEL/FAX 0852-66-3586
松江市宍道町佐々木3332 ふるさと森林公園学習展示館内

主催○雲南市・奥出雲町・さくらおろち／協力○もりふれ俱楽部
この事業は水源地域環境活動推進事業を活用して行っています。

里山ボランティアの募集チラシ

取組事項	②合宿形式の自然体験ツアーの企画・実施
1 取組内容	-
	取組状況
	実施主体
	実施日
	詳細情報

取組事項	③休耕田等を活用した農業体験ツアーの実施
1 取組内容	-
取組状況	H25 年度に実施なし
実施主体	-
実施日	-
詳細情報	-

取組事項	④「柿採りと干し柿づくり」の推進
1 取組内容	体験イベントの実施、柿園の維持管理
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	NPO 法人さくらおろち、とんぼの会
実施日	H25 年 9 月（平成 22 年度から実施）
詳細情報	みざわの館を活用して開催



体験イベントの実施状況（平成 24 年度）

先行プロジェクト12

(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォコンテスト、のぼり）

A 取組内容 (全体)	目的	・ダム周辺の景観向上 ・ダム湖の魅力発掘						
	場所	・さくらおろち湖 ・さくらおろち湖周辺						
	内容	①さくらおろち湖周辺の良好な景観を発信し、魅力を向上させるために、さくらおろち湖周辺のビューポイント・写真撮影スポットを発掘します。 ②ビューポイントを設置します。 ③季節に応じて見ごろを迎える紅葉や桜、新緑などを活かした写真撮影会の開催や、湖畔や橋に鯉のぼり（おろちのぼり）を掲げるなど、さくらおろち湖の魅力を発信します。						
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体			
	①ビューポイント・写真撮影スポットの発掘			新規	(実施段階で検討)			
	②ビューポイントの設置（看板の設置など）			新規	・国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町			
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県		国土交通省
		企画立案	●	●	●	●		●
		ビューポイント等の発掘	●	●	●	●		●
		写真撮影会スポットの発掘	●	●	●	●		●
		ビューポイントの設置	●	●	●	●		●
		写真撮影会や鯉のぼり等の実施	●	●	●	●		●
E.関連プロジェクト	(10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除 (10)-3 ダム湖周辺の植栽（桜、ツツジ） (13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クロス放流等）							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①ビューポイント・写真撮影スポットの発掘
1 取組内容	-
取組状況	H25 年度に実施なし
実施主体	-
実施日	-
詳細情報	-

取組事項	②ビューポイントの設置（看板の設置など）
1 取組内容	-
取組状況	H25 年度に実施なし
実施主体	-
実施日	-
詳細情報	-

先行プロジェクト13

(10)-2 クズやカズラ等の対策・駆除

A 取組内容 (全体)	目的	・ダム周辺の景観向上								
	場所	・さくらおろち湖周辺								
	内容	①さくらおろち湖周辺の景観を向上させるために、周辺の森林や斜面に繁茂するクズやカズラ等の駆除を推進します。 ②クズやカズラ等の対策にあたっては、単純にクズやカズラ等を伐採するだけでなく、クズ等の有効活用策（根のレシピづくり、編みかごづくりなど）を検討し、地域住民と楽しみながら対策できるような仕組みを構築します。 ③根本的な対策を検討していくために、クズ除去等の対策部会の設置や専門家への聞き取り調査などをあわせて実施します。								
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体					
	②クズ等の駆除や有効活用策の検討			新規	(実施段階で検討)					
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2								
		実施項目	推進に関わる機関※1、※2							
			住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県			
			企画立案	●	●	●	●			
			生育場所の調査・整理	●	●	●	●			
			クズやカズラ等の駆除	●	●	●	●			
			クズ等の有効活用策の検討	●	●	●	●			
			クズ対策の仕組みの構築	●	●	●	●			
			専門家への聞き取り調査	●	●	●	●			
			クズ除去等の対策部会の設置	●	●	●	●			
			広報・PR	●	●	●	●			
E.関連プロジェクト	(8)-1 生息環境の保全（動物、植物） (8)-2 外来種、害獣、害鳥対策 (10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォコンテスト、のぼり）									

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	②クズ等の駆除や有効活用策の検討
1 取組内容	-
取組状況	H25 年度に実施なし
実施主体	-
実施日	-
詳細情報	-

先行プロジェクト14

(10)-3ダム湖周辺の植栽（サクラ、ツツジ）

A 取組内容 (全体)	目的	・ダム周辺の景観向上					
	場所	・さくらおろち湖周辺					
	内容	①平成22年度に策定された「さくらおろち湖周辺植栽計画」に基づき、サクラやモミジ等の計画的な植樹活動を行います。 ②ダム本体周辺にツツジなどの植栽を実施し、ダム本体の魅力を向上させます。 ③植樹の推進にあたっては、様々な助成事業を活用します。 ④さくらおろち湖周辺植栽計画を踏まえ、例えば「尾原ダム千本桜」などの目標を掲げ整備します。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①サクラやモミジの計画に沿った植樹			既存	・雲南市、奥出雲町、国土交通省 ・NPO法人さくらおろち		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	
	企画立案	●	●	●	●	●	
	サクラやモミジの適正な植樹	●	●	●	●	●	
	ツツジなどの植栽場所の選定	●	●	●	●	●	
	ツツジなどの植栽	●	●	●	●	●	
	助成金を活用した植樹の推進	●	●				
	さくらおろち湖周辺植栽計画の具体化	●	●	●	●	●	
	広報・PR	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり）						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

【平成25年度の実施内容】

取組事項		①サクラやモミジの計画に沿った植樹
1	取組内容	艇庫横に植樹ゾーンを整備し、植樹を計画
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	雲南市
	実施日	平成25年8月
	詳細情報	-
2	取組内容	みーもの森づくりとしてサクラの植樹を実施
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	NPO法人さくらおろち
	実施日	平成25年8月
	詳細情報	-
3	取組内容	平田地区河岸への桜の植樹
	取組状況	H25年度に実施《追加実施》
	実施主体	平田地区（平田を育てる会）
	実施日	-
	詳細情報	小学校周辺河岸に桜を植樹



みーもの森づくりとしてサクラの植樹の様子（平成24年度）

取組事項		④さくらおろち湖周辺植栽計画の具体化
1	取組内容	-
	取組状況	H25年度に実施なし
	実施主体	-
	実施日	-
	詳細情報	-

先行プロジェクト15

(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クレスト放流等）

A 取組内容 (全体)	目的	・尾原ダムの魅力発掘 ・尾原ダムの魅力発信						
	場所	・尾原ダム（本体・堤頂道路など）						
	内容	①尾原ダムの魅力を発掘し、積極的に発信します。 ②尾原ダムの魅力を向上させるために、ライトアップやイルミネーション、クレスト放流の実施などを検討します。 ③各種イベントに合わせて実施しているダム施設の見学ツアーを積極的に開催します。 ④写生大会など、ダム本体の学習教材としての活用やビューポイントとの連携、ダムカードの活用、情報端末の活用など、尾原ダムが有する資源・特徴を発掘・発信します。 ⑤ダムの活用について様々な可能性を追求します（ダムのビューポイント探し、フォトコンテスト、ダム本体に絵を描く企画、無料オートシアター、ロッククライミングなど）。						
【既存の取組内容】		<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省尾原ダム管理支所で「尾原ダムカード」を配布しています。 ・尾原ダム施設の見学ツアーを実施しています。 						
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況	C.実施主体					
	①尾原ダムの魅力の発掘と発信	既存	・国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち					
	②ライトアップやイルミネーション、クレスト放流の実施	新規	・国土交通省など					
	③ダム施設の見学ツアーの開催	既存	・国土交通省					
	④尾原ダムが有する資源・特徴の発掘・発信	新規	・国土交通省など					
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考		
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省	(必要な支援内容、留意事項等)
	企画立案	●	●	●	●	●	●	
	魅力の発掘	●	●	●	●	●	●	
	魅力の発信	●	●	●	●	●	●	
	ライトアップ等の実施	●	●	●	●	●	●	
	見学ツアーの開催	●	●	●	●	●	●	
	資源・特徴の発掘	●	●	●	●	●	●	
	資源・特徴の発信	●	●	●	●	●	●	
	ダムの活用策の検討	●	●	●	●	●	●	
	広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用（フォトコンテスト、のぼり） (13)-2 日本一プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①尾原ダムの魅力の発掘と発信
1	取組内容	各種イベントの情報を収集・発信
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	島根県
	実施日	平成 25 年 9 月
	詳細情報	-

取組事項		②ライトアップやイルミネーション、クレスト放流の実施
1	取組内容	クレスト放流の実施
	取組状況	H25 年度に実施《予定》
	実施主体	国土交通省
	実施日	平成 26 年 3 月 1 日
	詳細情報	-

取組事項		③ダム施設の見学ツアーの開催
1	取組内容	各種イベントに併せた見学会の実施
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	国土交通省
	実施日	～平成 26 年 3 月
	詳細情報	-

尾原ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所
尾原ダム管理支所
TEL 0854-48-0780
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>
第12号（3月6日版）



「非常用洪水吐き」ゲートの放流点検を実施

尾原ダムの「非常用洪水吐き」ゲートの放流点検のため、平成25年3月2日(土)11時から約4時間、「非常用洪水吐き」^(注1)から毎秒約10m³の放流を行い、ゲートに異常が無いことを確認するとともに、警報巡視・ゲート操作などの訓練も行いました。平成24年3月の試験放流以来1年ぶりの放流を一目見ようと県内をはじめ、遠くは、栃木県・高知県・兵庫県などから約500人の見学者が訪れ、ダム本体下流やダム堤頂部などから、なかなか見ることの出来ない非常用洪水吐きからの放流の様子をカメラで撮影されていました。

(注1)「非常用洪水吐き」：計画規模を超える洪水が発生した場合に使用する放流設備



尾原ダム便り（第12号、3月6日版）

尾原ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所
尾原ダム管理支所
TEL 0854-48-0780
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

第15号（5月16日版） 尾原ダムキャラクター「すさのおくん」

「日本一周ダムファン写真展」「ダム見学会」を開催しました!!

平成25年4月27日(土)～5月12日(日)に、ダム愛好家が全国のダムを撮影した写真を展示する『日本一周ダムファン写真展』を中国地方では唯一尾原ダムで開催しました。ゴールデンウィーク期間中も重なり全国各地からたくさんの方々に来場いただきました♪なかでも松江自動車道が開通した効果等で、山陽方面の方の来場も目立ちました。

写真展最終日の5月12日には普段は入ることの出来ない『ダム堤体見学会』も特別に開催し、大変多くの来場者で賑わいました。写真展の来場者数延べ約540名、ダム見学者数約150名ありました!!



~来場者の声~
写真展の来場者...『色々なダムがあるんですね』『放流の写真がキレイ!!』『構図が勉強になる』『ダムを見に行きたくなった』
ダム見学者...『大きいなあ!!』『こんなに近くで見たのは初めて』『監査廊の中も見てみたい』『また参加したい』という声を頂きました♪

尾原ダム便り（第15号、5月16日版）

尾原ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所
尾原ダム管理支所
TEL 0854-48-0780
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

第21号（8月27日版） 尾原ダムイメージキャラクター「すさのおくん」

「うんなん元気っ子わくわく教室」の子供達がダム見学に来訪!!

平成25年8月20日(火)にさくらおろち湖周辺で自然を体感しながら尾原ダムを学ぶ『うんなん元気っ子わくわく教室～おろちっこ★尾原ダムアドベンチャーワールド』(主催:雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室)の企画で集まつた子供達29名がダム見学に来てくれました。(雲南地区の小学校1年生～6年生 男子19名、女子10名の参加者です。)

初めて尾原ダムに来たという子供達が半数でしたが、『ダムの大きさ』『ダムの目的』『ダムのひみつ』などの説明を真剣に聞いてくれました。尾原ダムの特徴でもある『日本初の連続サイホン式選択取水設備』の模型を使っての説明には子供達は興味津々で、終わってからも実際に動かしてみて勉強していました。また、『ダムカード』をもらい喜んでいました。

ダム見学の後は、さくらおろち湖でのカヌー・ヨット乗船体験、夜には尾原地域支援センターでバーベキューを楽しみ宿泊、翌日の21日には「馬と触れ合えるホースセラビティ体験」をしたそうです。夏休みのいい思い出作りになつたことでしょう!!



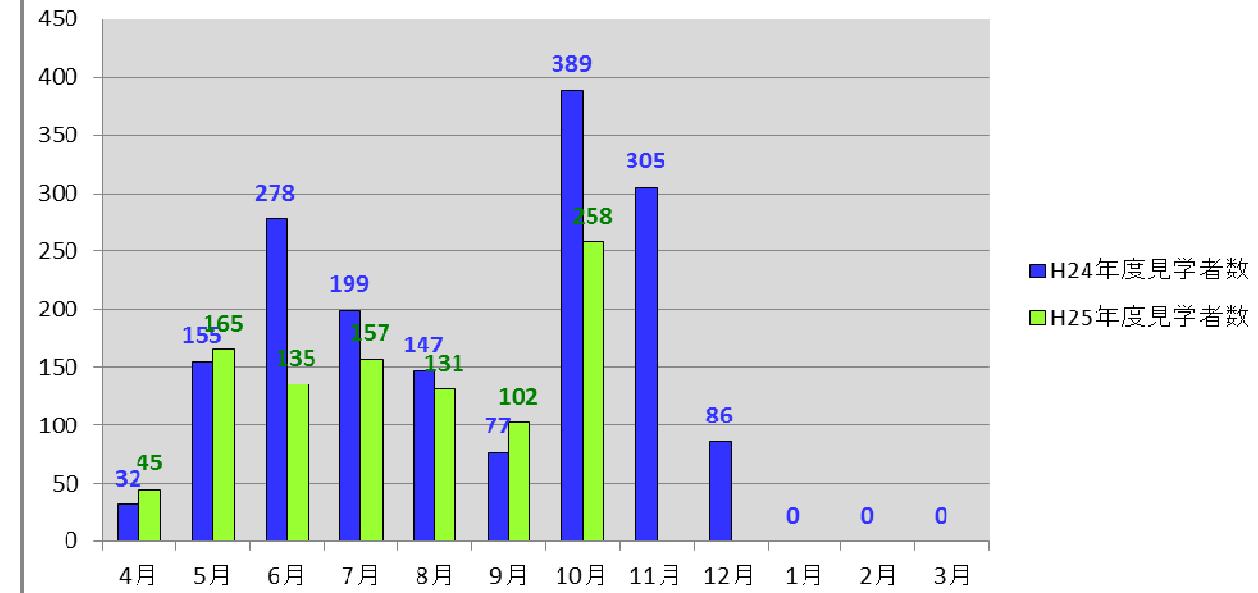
～担当者からひとこと～
今回参加してくれた子供達はみんなとても礼儀正しく元気いっぱいでした♪1泊2日の中の濃い体験を満喫して夏休みの締めくくりになったと思います。
平成25年10月13日(日)の『尾原ダムさくらおろち湖祭り』にも是非、ご参加お待ちしております♪ (Y.H.)

尾原ダム便り（第21号、8月27日版）

【ダム見学会の総参加者数の推移】

平成24年度の見学者数は1,668人でした。平成25年10月末日までの見学者数は993人でした。平成25年度の見学者数は、平成24年度と比較して若干減少傾向にあります。

尾原ダム見学者数(H24-H25)

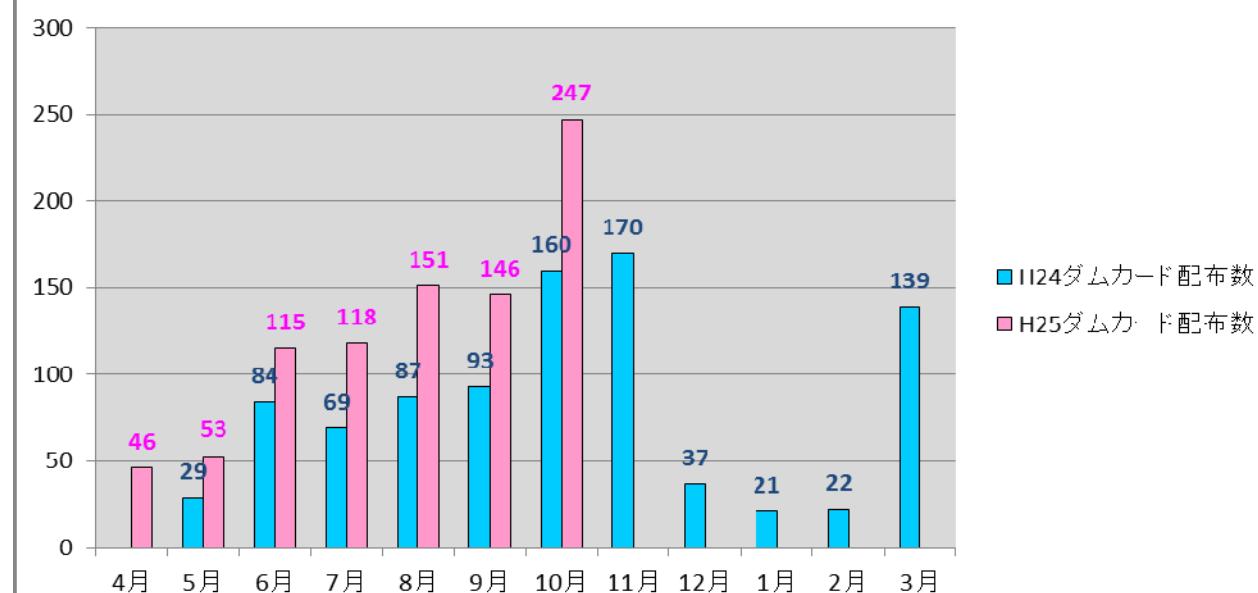


※イベント含まず

【尾原ダムカードの配布枚数の推移】

平成24年度のダムカード配布数は911枚でした。平成25年10月末日までの配布数は993枚でした。平成25年度の配布枚数は、平成24年度と比較して増加傾向にあります。

尾原ダムカード配布数(H24-H25)



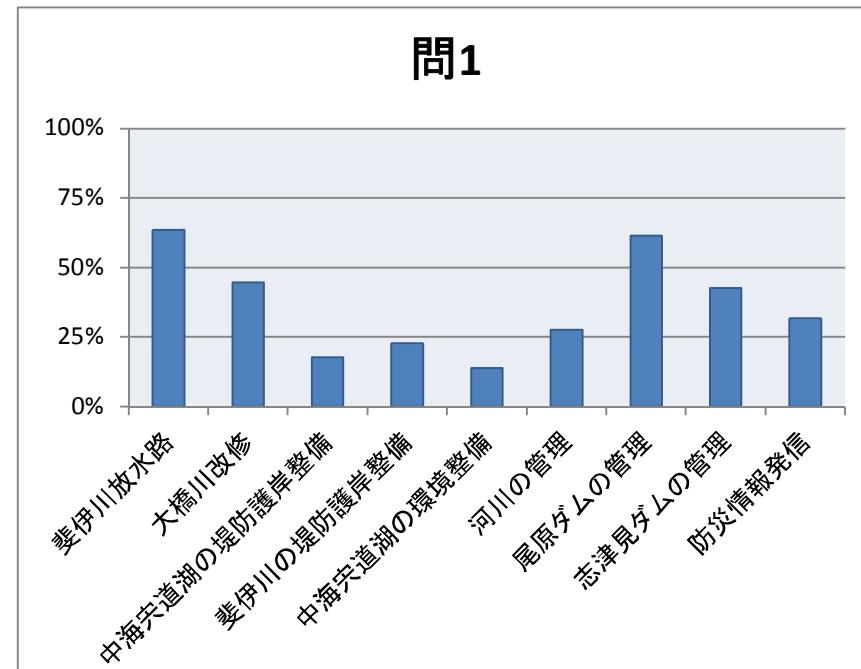
※イベント含まず

《参考資料》斐伊川・神戸川治水事業アンケート（堤体見学会時配布）

尾原ダムさくらおろち湖祭と同時開催しました堤体見学会時にアンケート調査を実施し、101人の参加者から回答がありました。

アンケート調査結果を下記に示します。

問1.出雲河川事務所が実施している事業をご存知ですか。（複数回答可）

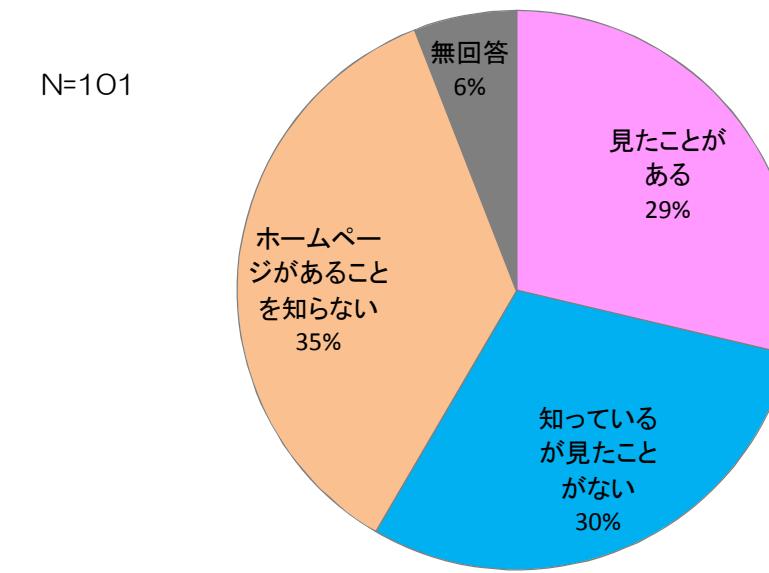


問1

N=101

問2.出雲河川事務所では、実施している事業や洪水時の防災情報などホームページを通じて公開していますが、ホームページをご覧になったことがありますか。（単数回答）

問2

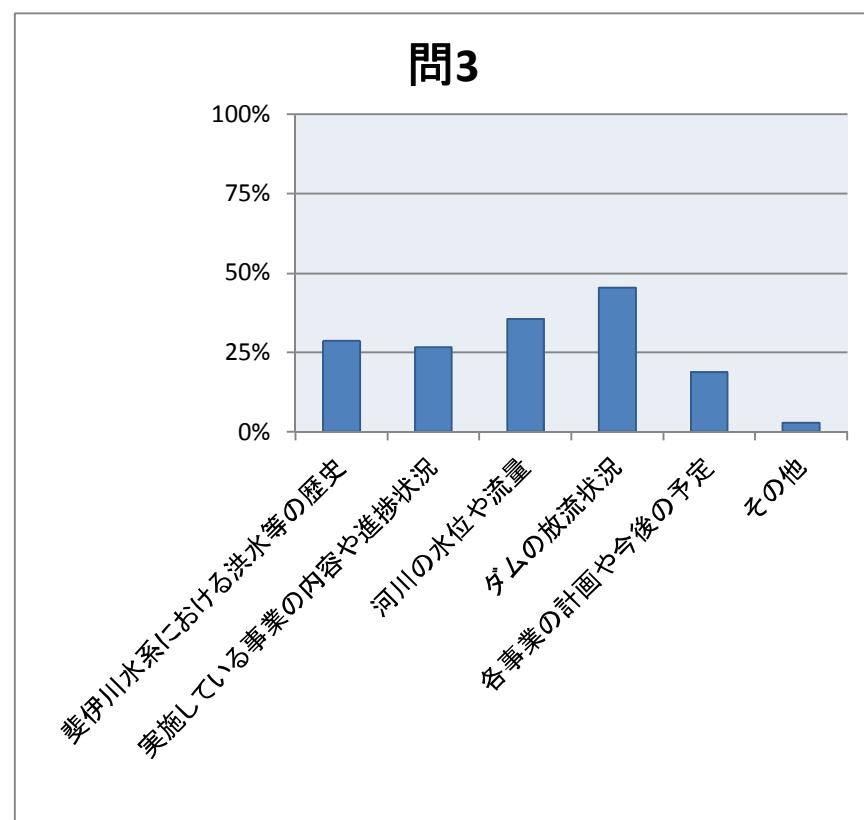


事業名	回答数	割合(%)
見たことがある	29	29
知っているが見たことがない	30	30
ホームページがあることを知らない	36	35
無回答	6	6
合計	101	100

- ・ホームページの閲覧経験としては、「ホームページがあることを知らない」が最も多く（35%）、次いで「知っているが見たことがない」が30%、「見たことがある」が29%であった。
- ・ホームページの閲覧経験が「ない」と回答した割合（「ホームページがあることを知らない」と「知っているが見たことがない」の合計）は、65%であった。

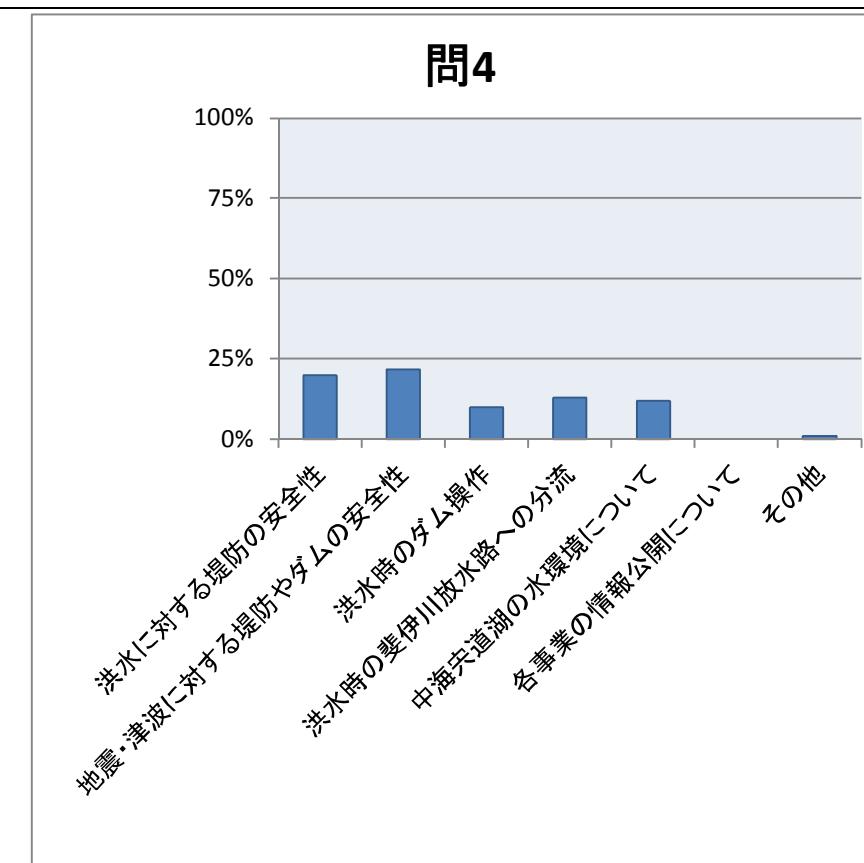
- ・実施事業の認知度としては、「斐伊川放水路」が最も多く（63%）、次いで「尾原ダムの管理」が61%、「大橋川改修」が45%であった。

問3.ホームページ等において、今後どのような情報があると良いですか。（複数回答可）



N=101

問4.斐伊川、神戸川、宍道湖、大橋川、中海、尾原ダム、志津見ダムにおいて、不安や不満に感じていることがありますか。（複数回答可）



N=101

- ・ホームページで欲しい情報としては、「ダムの放流状況」が最も多く（46%）、次いで「河川の水位や流量」が36%、「斐伊川水系における洪水等の歴史」が29%であった。

【その他の詳細情報】

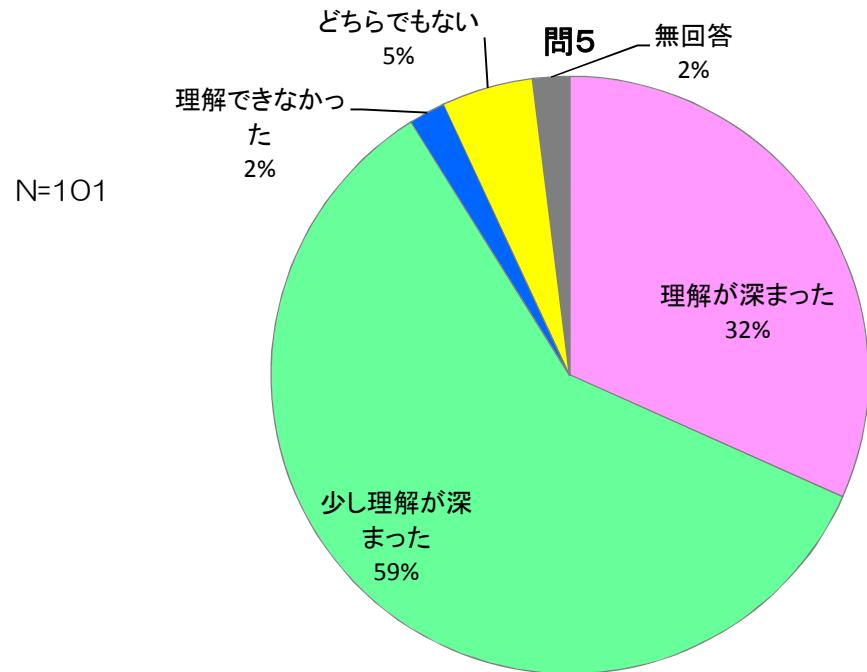
- ・放水路の稼働状況
- ・ライブカメラ
- ・クレストゲートの放流日の告知

- ・事業の実施にあたっての不安や不満としては、「地震・津波に対する堤防やダムの安全性」が最も多く（22%）、次いで「洪水に対する堤防の安全性」が20%、「洪水時の斐伊川放水路への分流」が13%であった。

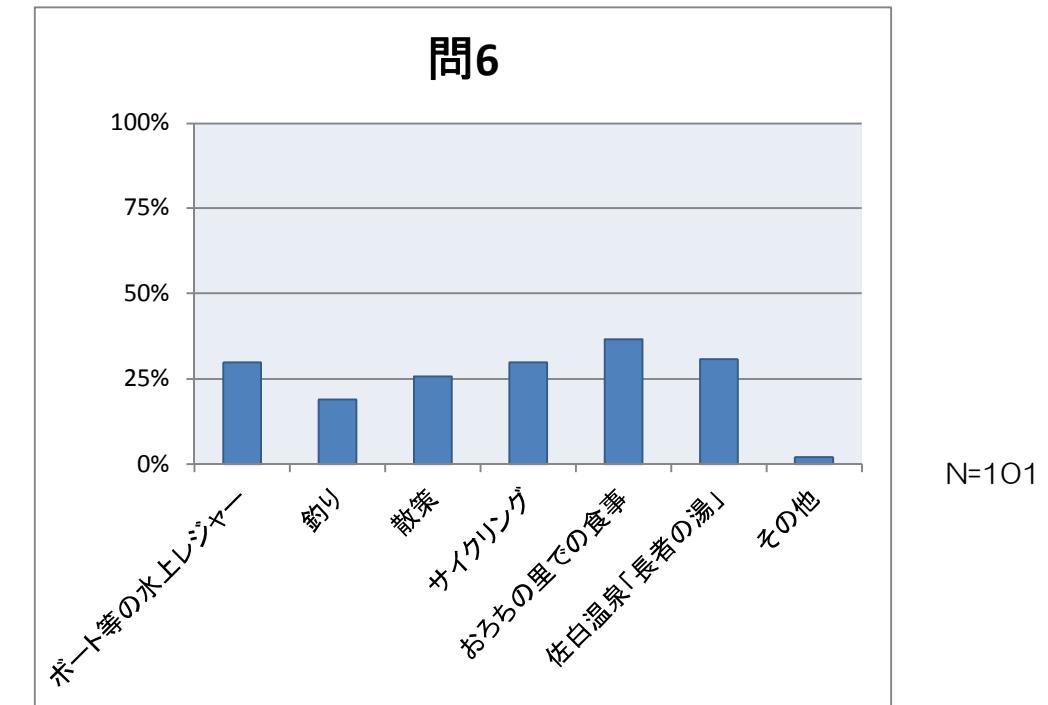
【その他の詳細情報】

- ・ダムを発電に利用すべき

問5.今回の尾原ダム見学会やパネル展示などで、尾原ダムの目的などについて理解が深まりましたか。
(単数回答)



問6.さくらおろち湖（尾原ダム湖）やその周辺施設において今後利用したいことはありますか。（複数回答可）



事業名	回答数	割合(%)
理解が深まったく	32	32
少し理解が深まったく	60	59
理解できなかつた	2	2
どちらでもない	5	5
無回答	2	2
合計	101	100

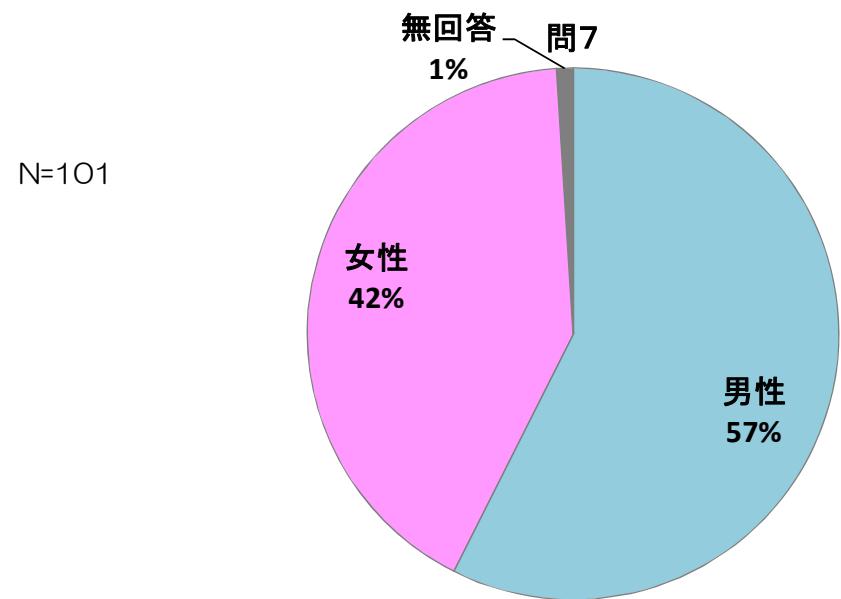
・見学による尾原ダムの目的に対する理解度が「深まったく」と回答した割合（「理解が深まったく」と「少し理解が深まったく」の合計）は、91%であった。

・今後利用した施設としては、「おろちの里での食事」が最も多く（37%）、次いで「佐白温泉「長者の湯」」が31%、「ボート等の水上レジャー」と「サイクリング」が30%であった。

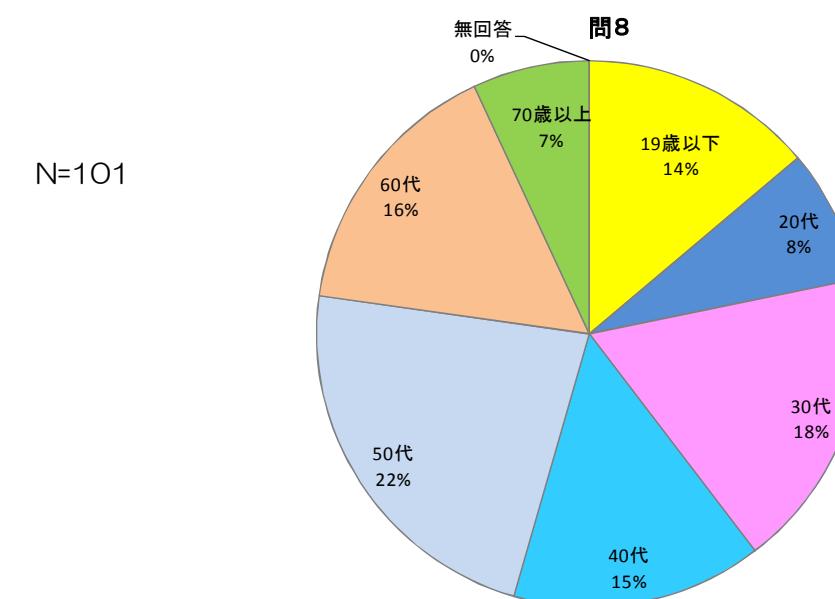
【その他の詳細情報】

- ・マラソン

問7. あなたの性別をお答えください。(単数回答)



問8. あなたの年齢をお答えください。(単数回答)



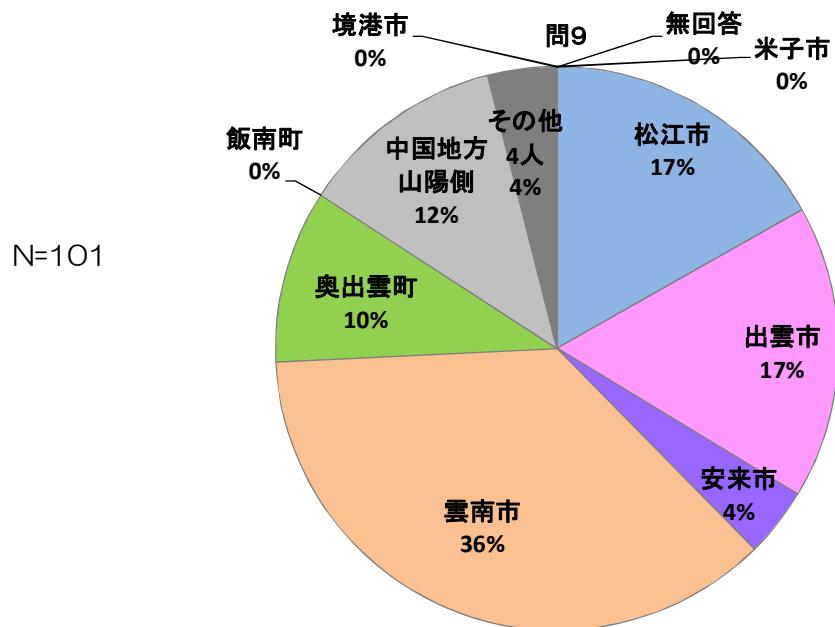
事業名	回答数	割合(%)
男性	58	57
女性	42	42
無回答	1	1
合計	101	100

・ダム見学会の参加者の性別は、「男性」が57%、「女性」が42%であった。

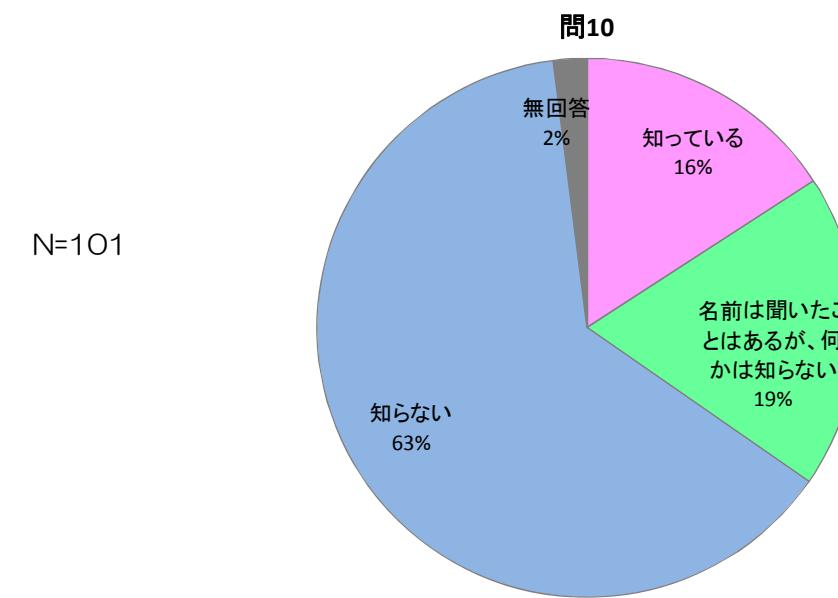
事業名	回答数	割合(%)
19歳以下	14	14
20代	8	8
30代	18	18
40代	15	15
50代	23	22
60代	16	16
70歳以上	7	7
無回答	0	0
合計	101	100

・参加者の年齢は、「50代」が最も多く(22%)、次いで「30代」が18%、「60代」が16%であった。

問9. あなたの住所はどちらですか。(単数回答)

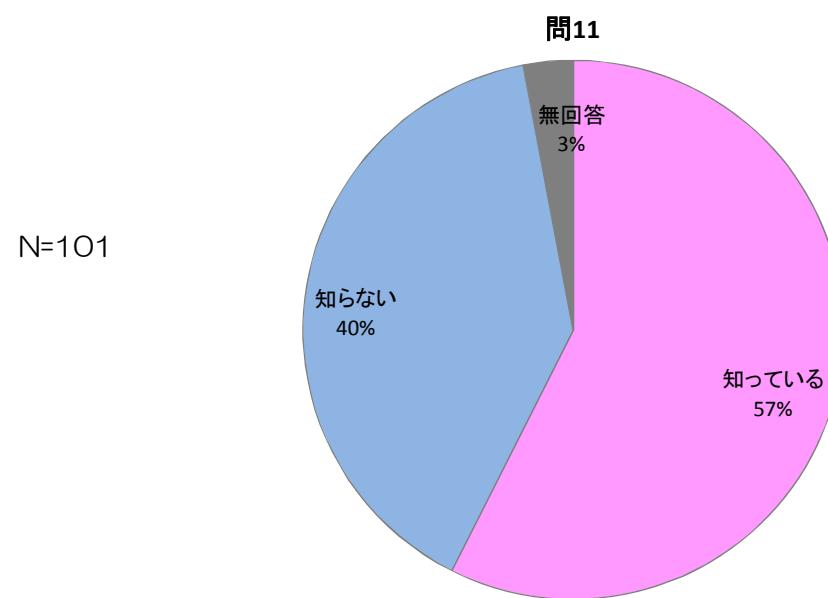


問10. 「尾原ダム水源地域ビジョン」の検討が始めたことを知っていますか。(単数回答)



・参加者の住所は、「雲南市」が最多く（36%）、次いで「松江市」と「出雲市」が17%であった。

問11.尾原ダムが渇水の時に活躍していることを知っていますか。(単数回答)



問12.出雲河川事務所が行っている事業に対して、お気づきの点などがございましたら、ご意見をお聞かせ下さい。(自由記入)

- 放流のリアルタイム情報が知りたい。
- ゲート放流をお願いします。
- 来年もお願いします
- キャンプ場

事業名	回答数	割合(%)
知っている	58人	57
知らない	40人	40
無回答	3人	3
合計	101	100

- 渇水時における尾原ダムの有効性の認知度は、「知っている」が最も多く(57%)、次いで「知らない」が40%であった。

	④尾原ダムが有する資源・特徴の発掘・発信
1 取組事項	「Dam サミット in 尾原ダム」の開催
	H25 年度に実施
	実施主体 国土交通省
	実施日 平成 25 年 10 月 13 日
	詳細情報 参加者数：100 人 講演：宮島咲氏（ダムマニア&ダムライター）
2 取組事項	「インフラツーリズム」の試験的実施
	H25 年度に実施
	実施主体 国土交通省
	実施日 平成 25 年 10 月～
	詳細情報 H25.9.11 旅行会社の現地視察を実施 H25.9.18 okutabi メンバーが尾原ダムを視察



宮島氏による講演



パネルディスカッション

「Dam サミット in 尾原ダム」の開催状況

尾原ダム便り

「Dam サミット in 尾原ダム」等を開催!!

平成25年10月13日(日)に秋晴れの空のもと「2013尾原ダム・さくらおろち湖祭り」に併せて尾原ダム管理支所では、ダムを生かした地域活性化を考える『Dam サミット in 尾原ダム』『ダム堤体見学会』等を開催しました。『Dam サミット in 尾原ダム』には約100人の参加があり、宮島咲氏(ダムマニア&ダムライター)の基調講演でダム自体を用いた観光振興の手法を学びました。パネルディスカッションでは、雲南地域で活動されているパネラーの方々から、集客や魅力アップについて新鮮なアイデアなどの発言等を頂き、予定時間を過ぎる程の活発な熱い意見が交わされました。これから尾原ダム水源地域ビジョン推進に生かしていきたいと思います。

また、普段は入れないダム堤体見学会やパネル展示などでは、延べ約400人の参加を頂き、今年も見学者の皆様から好評を頂きました!! 来年もお待ちしております。



尾原ダム便り (第23号、9月24日版)

~尾原ダム水源地域ビジョンの推進に向けて~

Dam サミット in 尾原ダム

入場無料

を開催します。

日時 10/13日 13:00 ~ 15:00 (開場 12:30)

会場 尾原ダム管理支所 会議室 (島根県雲南市木次町平田 211-5)

プログラム

- 13:00 開会あいさつ 國土交通省出雲河川事務所長 鈴木一郎
- 13:05 基調講演 ダムマニア&ダムライター 宮島 咲 「ダムを観光地にしてみよう」
- 13:40 パネルディスカッション 尾原ダム水源地域ビジョンの紹介

定員 100名(申込不要)

主催 國土交通省出雲河川事務所 共催:島根県、雲南市、奥出雲町 協賛:NPO法人さくらおろち、雲南ネット、奥出雲町協同連携協議会

問い合わせ先 國土交通省出雲河川事務所管理第二課 電話:0853-20-1754 FAX:0853-23-8675

【お問い合わせ先】 國土交通省出雲河川事務所管理第二課 電話:0853-20-1754 FAX:0853-23-8675

【お問い合わせ先(当日)】 國土交通省出雲河川事務所管理第二課 電話:0854-48-0780 FAX:0854-48-0783

15:00 閉会

Dam サミット in 尾原ダム案内チラシ



旅行会社による現地視察



okutabi メンバーによる尾原ダムの視察

開催主旨

2013年9月13日にさくらおろち湖を中心とした尾原ダム水源地域の活性化を目指す「尾原ダム水源地域ビジョン」が策定され、推進していく段階になりました。

そこで、10月13日(日)に開催される「2013尾原ダム・さくらおろち湖祭り」にあわせて、水源地域ビジョンの内容を広くPRすることも、他のダムの水源地域ビジョンの取組紹介等を行い、今後の尾原ダムにおける①ダムを核とした地域活性化の推進と、②ファンを増やすためのダムPR方法について、地域活動団体やダムマニア&ダムライターである宮島咲氏を交えた「Dam サミット in 尾原ダム」を開催します。

基調講演

宮島 咲 ダムニア&ダムライター
20歳からダムづくりを始め、関東地方を中心に400基ほどのダムを訪問。生徒の目標は国内のダム約2900基の制覇。
2007年ウフライド・ダムマニアを開始後、ダム全体像に注目されることとなる。地元工事会や日本ダム協会をはじめ、ダム建設者やダム周辺住民など多くのダム愛好家たちと交流。ダムマニアとして多くのダムを訪問する一方で、ダムの歴史や文化、ダムの魅力などを発信。多くのダムを訪問する中で多くの人々と接する機会を得る。また、「ダムマニア」「スイム」という言葉を考案。基調講演では、「ダムを観光地にしてみよう」と題し説明いただいたほか、パネルディスカッションにもアドバイザーとして参加していただきました。ご聴講をいただきありがとうございます。

パネリスト

①地域活動団体関係者 押井 香保里 ハーストビーチ株式会社「麗水TRC」監修長
国土交通省 出雲河川事務所長 村松 清
国土交通省 志津川ダム管理支所長 青木 幸成
国土交通省 深谷ダム管理支所長 坂村 規
②ダムマニア 高橋 七絵 おいくじも女子熱くなる!委員会リーダー
国土交通省 出雲河川事務所副長 土江 清司
③会場運営者 宮島 咲 ダムニア&ダムライター

会場案内

■バネル展示 - ダム事業、治水事業等 開催時間: 10:00 ~ 15:00
開催場所: 尾原ダム管理支所会議室
〒699-1348 島根県雲南市木次町平田 211-5 電話: 0854-48-0780

■尾原ダム堤体見学会 受付時間: 10:00 ~ 15:00 (最終受付: 14:30)
開催場所: 尾原ダム堤体エレベーター入口
※参加者は「ダムカード」を着用して下さいます

■2013 尾原ダム・さくらおろち湖祭り 開催時間: 10:00 ~ 15:00
開催場所: 島根県さくらおろち湖ポート競技場周辺
開催内容: ステージイベント、テント村
ホースセラピートラベル、シーカヤック体験
松江シティFC サッカー交流会

同時開催

■バネル展示 - ダム事業、治水事業等 開催時間: 10:00 ~ 15:00
開催場所: 尾原ダム管理支所会議室
〒699-1348 島根県雲南市木次町平田 211-5 電話: 0854-48-0780

■尾原ダム堤体見学会 受付時間: 10:00 ~ 15:00 (最終受付: 14:30)
開催場所: 尾原ダム堤体エレベーター入口
※参加者は「ダムカード」を着用して下さいます

■2013 尾原ダム・さくらおろち湖祭り 開催時間: 10:00 ~ 15:00
開催場所: 島根県さくらおろち湖ポート競技場周辺
開催内容: ステージイベント、テント村
ホースセラピートラベル、シーカヤック体験
松江シティFC サッカー交流会

尾原ダムキャラクター「すさのくん」

《Dam サミット in 尾原ダムの開催結果概要》

①基調講演「ダムを観光地にしてみよう」

- ・宮ヶ瀬ダムは年間 130 万人を集客する No.1 のダムである。集客力の大きな要素は「大きな市街地より 30 分以内の距離に位置すること」である。
- ・ダムの魅力として「湖」と「ダムサイト」という視点はあるが、「ダムそのもの」という視点に欠けているのではないか。
- ・ダムの魅力は「高さ」と「大きさ」、つまり非日常的体験ができることがある。また、何といってもダムの魅力は「放流」である。観光放流を定期的に実施するようになると、スケジュールが合わせやすく、社会見学やツアーなどに来てもらいやすくなる。
- ・放流には「事前の告知・PR」が欠かせない。
- ・ライトアップはこれからブームになってくると思われる。
- ・堤体内見学は、山梨県営ダムなどで気軽に実施しており、国交省ダムでも実施可能だと思う。

＜観光でできること　まとめ＞

1. 放流一事前告知が重要
 2. ライトアップ
 3. 堤体内見学
 4. アイテムの活用（ダムカード、ダムカレー）
- ・ダムカードについては、複数のダムで連携して動線を創造するなどのツアーを企画するなどして、コレクター欲を掻き立てることが大切である。（事例1：秩父：秩父の4ダムを集めてオリジナルカードを配布、事例2：木津川ダムではカード5枚で大きなカードに交換、事例3：茨城県ではダム見学ツアー当日限定のオリジナルカードを配布）

②パネルディスカッション

a) 第一部 ダムを核とした地域活性化の推進

- ・資金が無いといっているが、旅行会社と連携するなど、商業ベースのものを前提として考えていくことが大切ではないか。見学ツアーがうまくいくと、旅行会社も継続して実施してくれる。
- ・団体が連携し、交流することを留意していくかないと、長続きしていくか。
- ・どのように進めていくか、テーマ・キャッチフレーズ・ストーリーを考える必要がある。
- ・ダム本体を活用していく知恵を出していく必要がある。
- ・外部のツアーとの連携など、資金が落ちる仕組みを検討していく必要がある（口コミ情報）。

b) 第二部 ファンを増やすためのダムPR方法

- ・どの層を対象とするのかという、ターゲッティングが重要である。ターゲットを的確にする必要がある。
- ・関東地方整備局では、ツイッターを活用して情報発信している。ツイッターでは、放流情報や観光情報、マニアックな情報も発信している。
- ・水資源機構でも、ツイッターで情報発信している。
- ・ツイッターで「あと2時間後に放流します」など、気軽に情報発信していくことが重要である。
- ・関東圏の整備局ではパンフレットを作つておらず、廃止する方向である。大事にパンフレットをとっている人はあまりいない。パンフレットを作成する資金を別の活用法に使うと良いのではないか。
- ・ファンを増やすためには、ターゲットの明確化、媒体の活用、人が飛びつく告知をしているのかを考えていく必要がある。

いく必要がある。

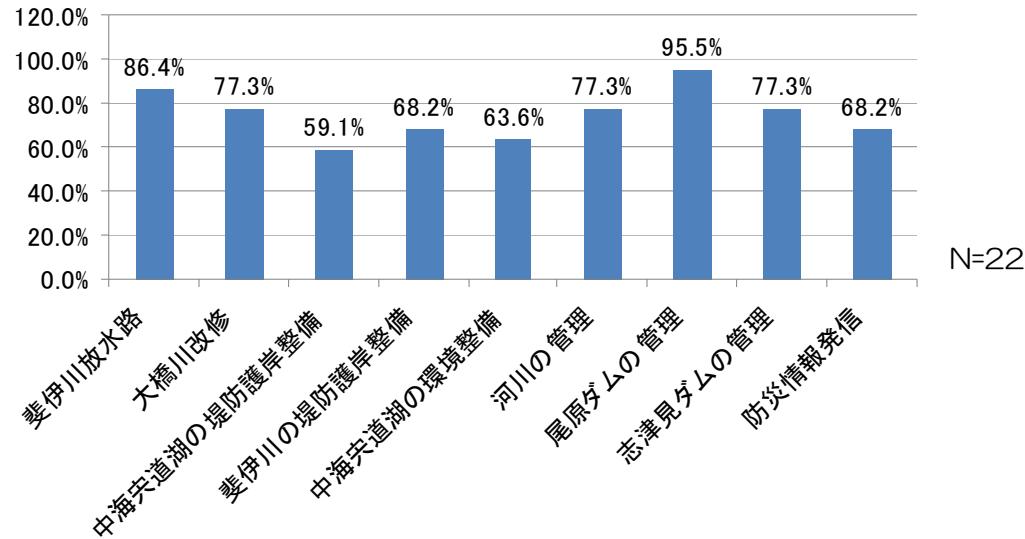
- ・体制についても、検討していく必要がある。
- ・パンフレットやHPの見せ方についても、ターゲットにあわせて情報発信していく必要がある。

《参考資料》斐伊川・神戸川治水事業アンケート（Dam サミット in 尾原ダム時配布）

平成 25 年 10 月 13 日に開催した「Dam サミット in 尾原ダム」への参加者にアンケートを配布し、23 人の参加者から回答がありました。

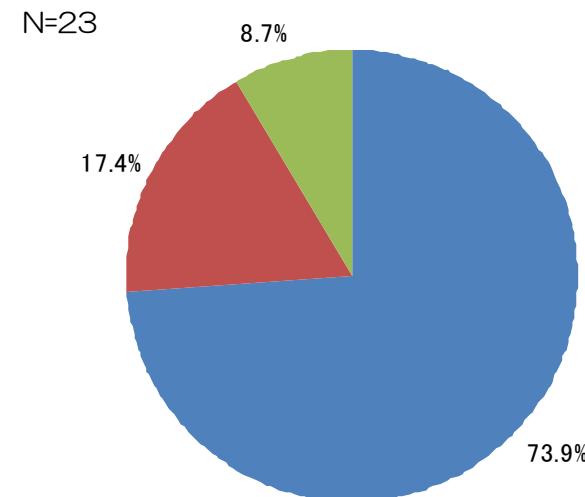
アンケート調査結果を下記に示します。

問 1 出雲河川事務所が実施している事業をご存じですか。（複数回答可）



N=22

問 2 出雲河川事務所では、実施している事業や洪水の防災情報などホームページを通じて公開していますが、ホームページをご覧になったことがありますか。



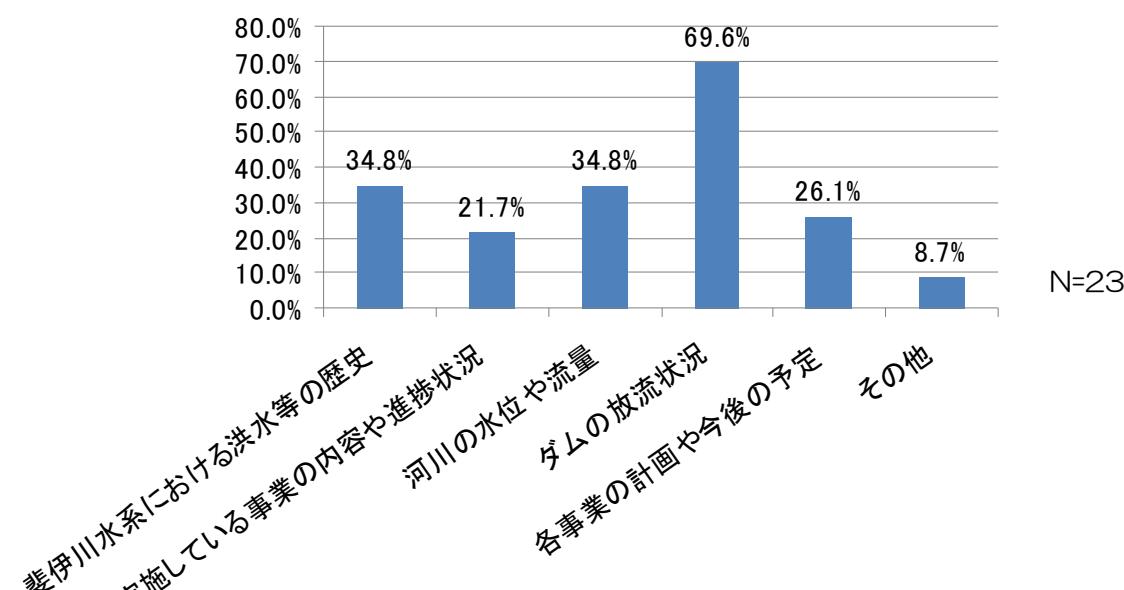
■ 見たことがある
■ 知っているが見たことがない
■ ホームページがあることを知らない

- ・ホームページの認知度は、「見たことがある」が最も多く（73.9%）、次いで「知っているが見たことがない」が 17.4% であり、大部分の人に認知されている。

事業名	回答数	割合(%)
斐伊川放水路	19	86.4
大橋川改修	17	77.3
中海宍道湖の堤防護岸整備	13	59.1
斐伊川の堤防護岸整備	15	68.2
中海宍道湖の環境整備（浅場造成）	14	63.6
河川の管理（堤防除草、護岸等の施設管理など）	17	77.3
尾原ダムの管理（ダム管理施設の点検など）	21	95.5
志津見ダムの管理（ダム管理施設の点検など）	17	77.3
防災情報発信（洪水対応、水質事故対応など）	15	68.2
合計	22	100.0

- ・実施事業の認知度としては、「尾原ダムの管理」が最も多く（95.5%）、次いで「斐伊川放水路」が 86.4%、「大橋川改修」と「河川の管理」と「志津見ダムの管理」が 77.3% であった。

問3 ホームページなどにおいて、今後どのような情報があると良いですか。（複数回答可）

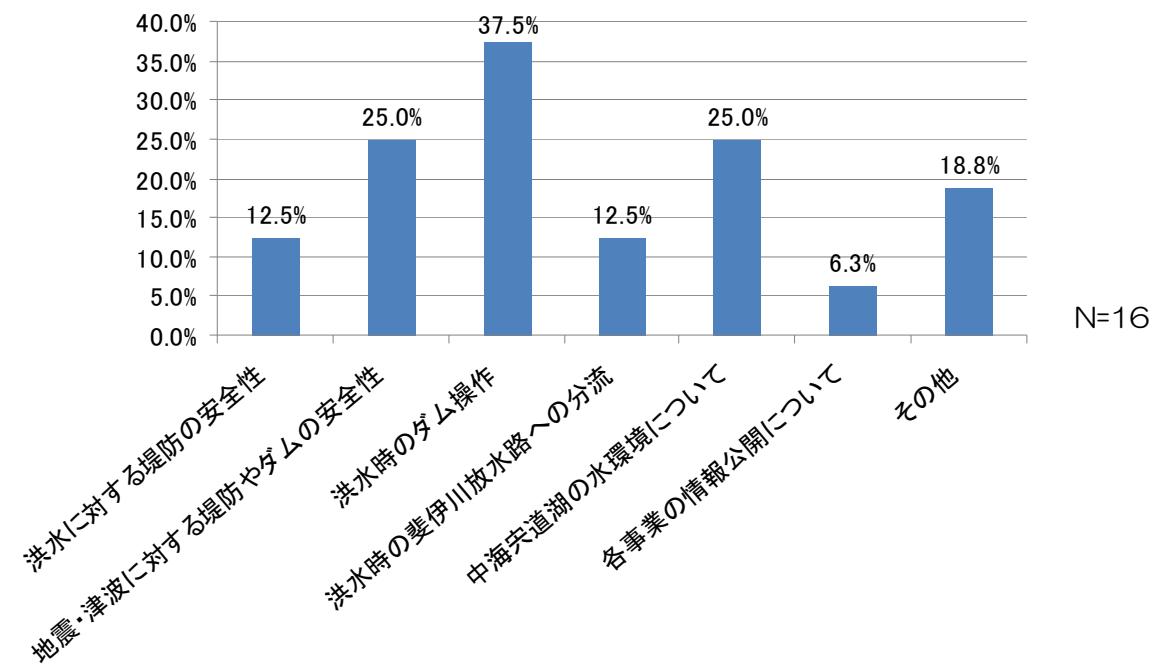


- 今後の情報に期待されるものには、「ダムの放流状況」が最も多く（69.6%）、次いで「斐伊川水系における洪水等の歴史」「河川の水位や流量」が34.8%であった。

【具体的な意見】

- ダム関連のイベント情報
- 斐伊川放水路の稼動状況

問4 斐伊川、神戸川、宍道湖、大橋川、中海、尾原ダム、志津見ダムにおいて、不安や不満に感じていることがありますか。（複数回答可）

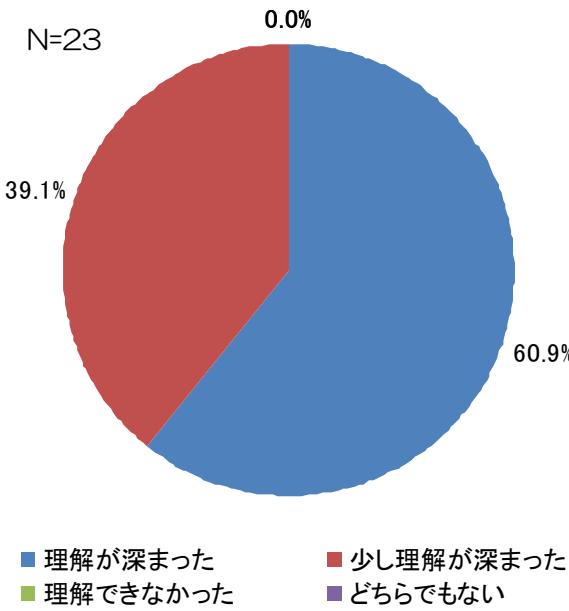


- 不安や不満に感じていることとしては、「洪水時のダム操作」が最も多く（37.5%）、次いで「地震・津波に対する堤防やダムの安全性」と「中海宍道湖の水環境について」が25.0%であった。

【具体的な意見】

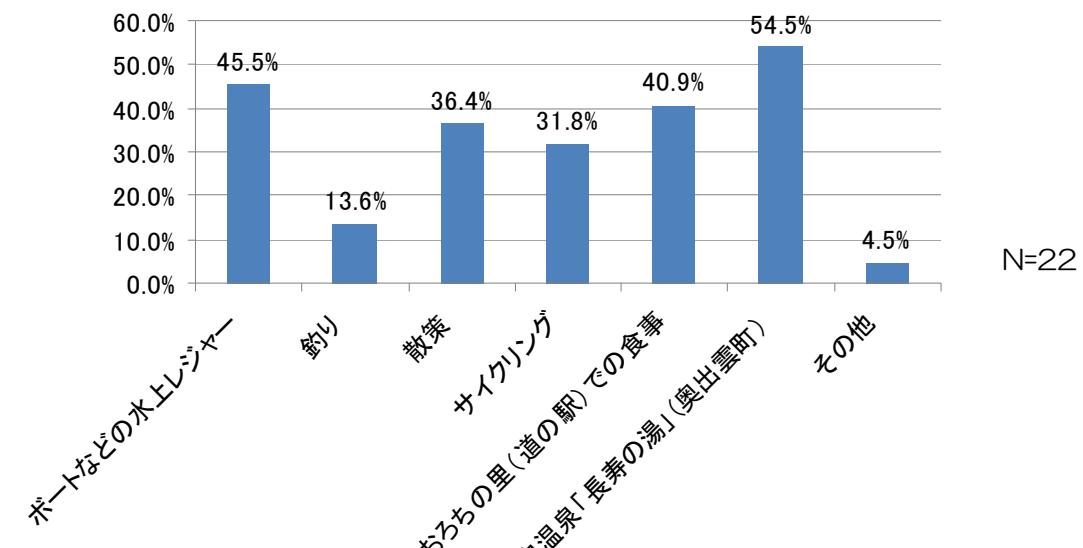
- 大橋川改修がすすんでない。

問5 今回のDamサミットや尾原ダム見学会やパネル展示などで尾原ダムについて理解が深まりましたか。



- 見学会や展示を通じ理解が深かったと回答した割合（「理解が深かった」と「少し理解が深かった」の合計）が100.0%となり、全ての参加者の理解が深かった。

問6 さくらおろち湖（尾原ダム湖）やその周辺施設において、今後利用したいことはありますか。（複数回答可）



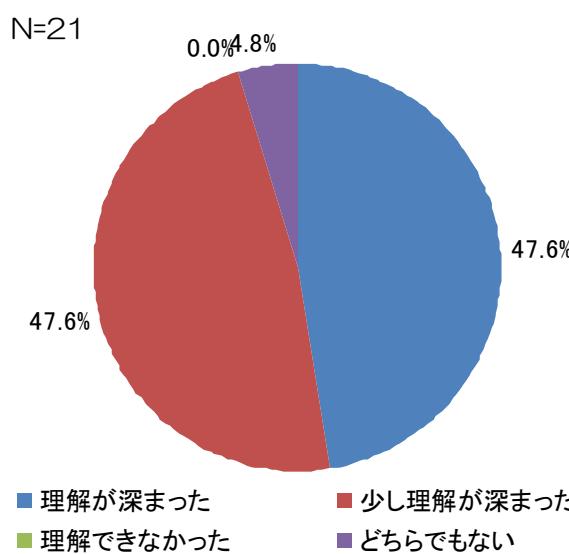
選択肢	回答数	割合(%)
ボートなどの水上レジャー	10	45.5
釣り	3	13.6
散策	8	36.4
サイクリング	7	31.8
おろちの里（道の駅）での食事	9	40.9
佐白温泉「長寿の湯」(奥出雲町)	12	54.5
その他	1	4.5
合計	22	100.0

- 今後利用したい施設としては、「佐白温泉「長寿の湯」(奥出雲町)」が最も多く（54.5%）、次いで「ボートなどの水上レジャー」が45.5%、「おろちの里（道の駅）での食事」が40.9%であった。

【具体的な意見】

- ・イベント参加

問7 今回のDamサミットを通じて、「尾原ダム水源地域ビジョン」について理解が深まりましたか。



- Damサミットを通じて理解が深まったく回答した割合（「理解が深まったく」と「少し理解が深まったく」の合計）は95.2%となり、大部分の参加者の理解が深まったくとされる。

問8 今回のDamサミットについて、感想や意見等がございましたらご記入下さい。

【具体的な内容】

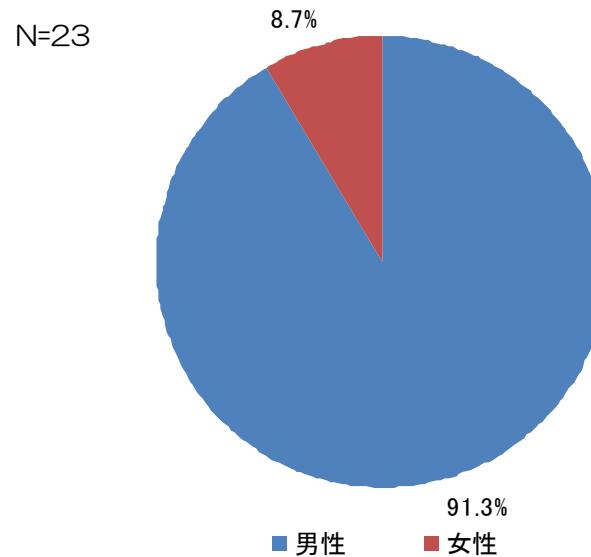
- パネラーが多すぎる。
- 趣旨、目的などがよく、参加者の多さなど、これからの水源地域ビジョン推進のためには非常に効果的であった。
- ダムの役割が大きいことが分かった。尾原ダムが地域活性化になるよう期待する。
- 話題が少し固いように思う。（パネルディスカッション）
- 興味深い話が聞けた。（講演）
- 現状報告に終始していたので、もっと討論等行った方が建設的だったのではないか。
- 色々な話が聞けて良かった。
- 宮島さんの話が貴重だった。情報発信については、HPにRSSを入れてもらえると助かります。ツイッター等のSNSより運用が良いと思います。
- もっと基調講演が聞きたかった。
- 観光イベントのために活用すると人が集まることが分かりました。
- 大変よかったです。
- （ダムカレー）+（オムライス）=ダ（オ）ムライス？

問9 出雲河川事務所が行っている事業に対して、お気づきの点などがございましたら、ご記入下さい。

【具体的な内容】

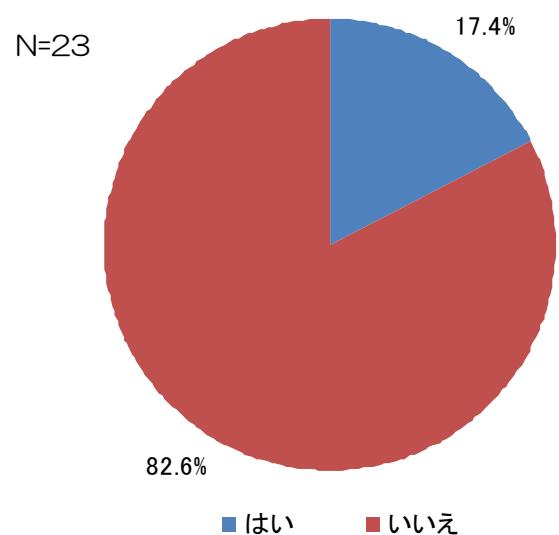
- 次回開催はいつかな。どこかな。
- 国土の安全・安心のため努力されている。市民に分かりやすく広報にも努力を…
- ダム地域を県立自然公園に指定して頂きたい。ダム堤体内部の見学会の開催。イベント多く、ボート、花火大会、周遊船 etc。

問10 あなたの性別をお答え下さい。



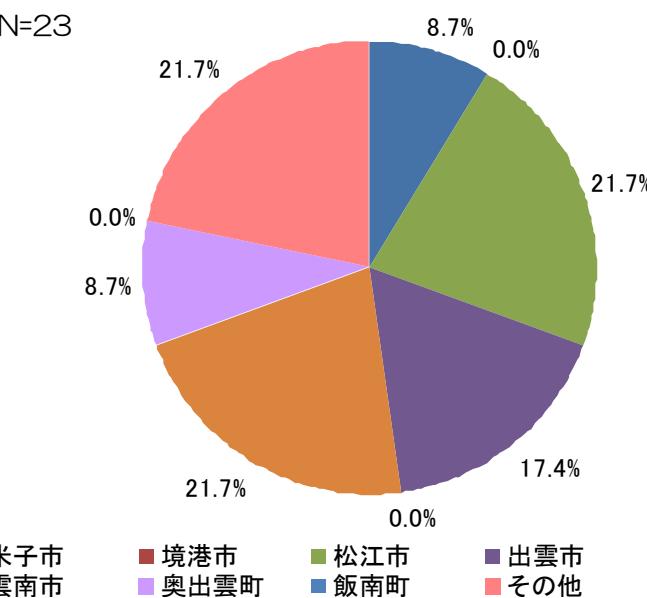
- 参加者については、「男性」が91.3%となり、女性は少数であった。

問11 あなたは自称「ダムマニア」ですか。



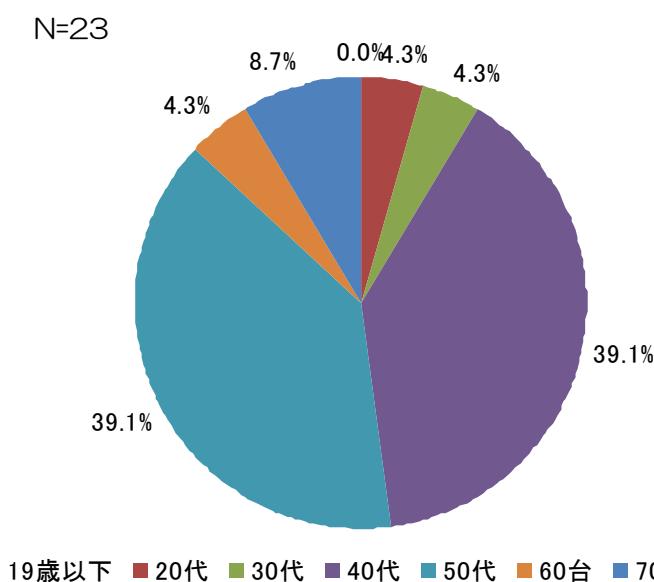
・参加者の82.6%が「いいえ」と回答しており、「ダムマニア」は少数であった。

問13 あなたの住所はどちらですか。



・参加者の住所は、「松江市」と「雲南市」が最も多く(21.7%)、次いで「出雲市」の17.5%であった。

問12 あなたの年齢をお答え下さい。



・参加者の年齢は、「40代」「50代」が最も多く(39.1%)、次いで「70歳以上」が8.7%であった。

【その他の地域】

- ・広島県広島市
- ・広島県大竹市
- ・広島県庄原市
- ・岡山県浅口郡
- ・鹿児島県薩摩川内市

先行プロジェクト16

(13)-2 日本一プロジェクト

A 取組内容 (全体)	目的	・尾原ダムの魅力発掘 ・尾原ダムの魅力発信				
	場所	・尾原ダム（本体・堤頂道路など）				
	内容	①尾原ダムの魅力を広く認知してもらうために、尾原ダム本体や堤頂道路などを活用した「日本一」プロジェクトを企画します*。 ※具体的な「日本一」の企画内容（案）：ダム堤頂道路（440mの直線）を活かした取組（堤頂海苔巻き日本一など）、尾原ダム施設の日本一や世界一の設備の活用、ダムへの壁画や壁面を利用したイベントなど。 ②企画した「日本一」プロジェクトを積極的に実施します。				
B. 1年目に取組むべき事項	取組事項		状況	C.実施主体		
	①「日本一」プロジェクトの企画		新規	(実施段階で検討)		
	②「日本一」プロジェクトの実施		新規	(実施段階で検討)		
D. 実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1※2				
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県
	企画立案	●	●	●	●	●
	「日本一」プロジェクトの実施	●	●	●	●	●
	広報・PR	●	●	●	●	●
E. 関連プロジェクト	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クロス放流等）					

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①「日本一」プロジェクトの企画
1	取組内容
	-
	取組状況
	H25 年度に実施なし
	実施主体
	-
	実施日
	-
	詳細情報
	-

取組事項	②「日本一」プロジェクトの実施
1	取組内容
	-
	取組状況
	H25 年度に実施なし
	実施主体
	-
	実施日
	-
	詳細情報
	-

先行プロジェクト17

(14)-1 サイクリングコースの活用・PR（サイクリングイベント、認定コース、ショートコース）

A 取組内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングコースの魅力発信 ・サイクリングコース、自転車競技施設の活用 ・賑わいの創出 						
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングコース（認定コース、ショートコース） ・自転車競技施設 						
	内容	<p>①「財団法人日本自転車競技連盟」の公認基準を満たしたコースであること、また、「観光庁ランナーズインフォメーション研究所」による国内初の認定コースとして選出されたことなど、サイクリングコースの魅力を広く発信します。</p> <p>②平坦なコースが続く4.5kmのコースは一般の方にも楽しんでもらえるコースであることも発信します。</p> <p>③サイクリングコースの多様な活用に向け、マラソンや駅伝など他の利用方法を検討します。</p> <p>④既に実施されているサイクリング大会や紅葉サイクリングを継続・発展させます。</p> <p>⑤MTBやBMX大会の実施など、サイクリングを通じた上中下流の交流や地域活性化を目指します。</p> <p>⑥サイクリングコースを活用し、子供向けサイクリング教室などを企画・実施します。</p> <p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県自転車競技連盟が、「島根シクロクロス選手権大会 in さくらおろち湖」や、「島根県高校総体自転車選手権大会（ロード）」、「島根県自転車競技選手権大会（ロード）」を開催しています。 ・NPO法人サイクリストビューが、雲南サイクルチャレンジ2011の一環として、「さくらおろち湖MTB耐久レース」を開催しています。 ・奥出雲町商工会が、奥出雲サイクリングを開催しています。 						
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項	状況	C.実施主体					
	①認定コースの発信	既存	・雲南省、奥出雲町、島根県、国土交通省 ・奥出雲町商工会 ・競技団体（サイクリング） ・NPO法人さくらおろち					
	②サイクリングコースのPR	既存	・雲南省、奥出雲町、島根県、国土交通省 ・奥出雲町商工会 ・競技団体（サイクリング） ・NPO法人さくらおろち					
	④サイクリング大会の継続・発展	既存	・奥出雲サイクリング実行委員会 ・（奥出雲町商工会）					
	⑤MTBやBMX大会の実施	既存	・自転車競技団体					
	⑥子供サイクリング教室などの企画	既存	・自転車競技団体					
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考	
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省	（必要な支援内容、留意事項等）
	企画立案	●	●	●	●	●	●	
	認定コースのPR	●	●	●	●	●	●	
	サイクリングコースのPR	●	●	●	●	●	●	
	サイクリングコースの活用方法の検討	●	●	●	●	●	●	
	既存イベントの継続	●	●	●	●	●	●	島根県：施設管理者として
	MTBやBMX大会の実施	●	●	●	●	●	●	島根県：施設管理者として
	子供サイクリング教室などの企画	●	●	●	●	●	●	島根県：施設管理者として
	広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(4)-2 流域圏の連携 (14)-2 レンタサイクルの実施							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など ※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

【平成25年度の実施内容】

取組事項		①認定コースの発信
1	取組内容	自転車競技施設の運営・維持管理
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	島根県
	実施日	～平成25年10月
	詳細情報	-
2	取組内容	ロードレース中国大会でのPR
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	島根県
	実施日	平成25年4,5,7,10月（中国大会2回）
	詳細情報	ロードレース大会実施時にPRを実施

取組事項		②サイクリングコースのPR
1	取組内容	自転車競技コースの整備
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	島根県
	実施日	～平成25年10月
	詳細情報	-
2	取組内容	ロードレース中国大会でのPR、奥出雲サイクリングでのPR
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	奥出雲町商工会
	実施日	平成25年10月6日
	詳細情報	秋に年1回実施



奥出雲サイクリングの募集チラシ

取組事項		④サイクリング大会の継続・発展
1	取組内容	奥出雲サイクリングの実施
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	奥出雲町商工会
	実施日	平成 25 年 10 月 6 日
	詳細情報	秋に年 1 回実施

取組事項		⑤MTB や BMX 大会の実施
1	取組内容	島根県自転車競技連盟主催の大会（県自転車競技選手権、高校総体県大会、国体予選、シクロクロスなど）
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	島根県自転車競技連盟
	実施日	平成 25 年度 4,5,7,10 月
	詳細情報	-

取組事項		⑥子供サイクリング教室などの企画
1	取組内容	-
	取組状況	H25 年度に実施なし
	実施主体	-
	実施日	-
	詳細情報	-

先行プロジェクト18

(14)-2 レンタサイクルの実施

A 取組内容 (全体)	目的	・サイクリングコースの活用					
	場所	・道の駅 おろちの里 ・佐白温泉 長者の湯					
	内容	①一般の方にサイクリングコースを楽しんでもらうために、「道の駅 おろちの里」や「佐白温泉 長者の湯」等を拠点としてレンタサイクルを実施します。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①レンタサイクルの実施			新規	・奥出雲町		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	関係機関との調整	●	●	●			
	関連施設の整備	●	●	●			
	レンタサイクルの実施	●	●	●			
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(14)-1 サイクリングコースの活用・PR (サイクリングイベント、認定コース、ショートコース)						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①レンタサイクルの実施
1 取組内容	佐白温泉 長者の湯でレンタサイクルを運用開始	
取組状況	H25 年度に実施	
実施主体	奥出雲町	
実施日	-	
詳細情報	利用時間 午前 9 時～午後 5 時 利用料金 4 時間以内 (大人車 500 円、子供者 300 円、電動車 700 円) 超過料金 4 時間以内 (大人車 300 円、子供者 200 円、電動車 300 円) 乗り捨て料金 1000 円 (2 台以上から)	



レンタサイクルの実施状況



レンタサイクルの広報マップ

先行プロジェクト19

(15)-1 湖面の利用促進（ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡回体験）

A 取組内容 （全体）	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらおろち湖の魅力向上 ・さくらおろち湖、ボート競技施設の活用 ・賑わいの創出 					
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらおろち湖 					
	内容	<p>①さくらおろち湖の魅力を向上させるために、さくらおろち湖の利用を促進します（水陸両用バスによる湖上観光、シーカヤックやカヌー、ヨット等を利用したイベントの開催、湖面いかだレースの開催、屋形船の導入など）。</p> <p>②サイクリングコースと連携して、トライアスロン大会の実施に向け協議しています。</p> <p>③さくらおろち湖に完成した認定コースを活用したレガッタ大会やボート競技大会を誘致します。</p> <p>④現在斐伊川で開催されている子供向けボート教室をさくらおろち湖で実施します。</p> <p>⑤流域住民を対象とした体験教室などを開催し、ボートを通した水源地域の認知度向上を目指します。</p> <p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斐伊川さくらボート協会が、「さくらおろち湖お花見レガッタ」を開催しています。 ・島根県ボート協会と島根県高等学校体育連盟ボート部が、「中国高等学校ボート選手権大会島根県予選」を開催しています。 					
B. 1年目に取組 むべき事項	取組事項	状況	C.実施主体				
	①湖面利用の活発化、検討	既存	・雲南省、奥出雲町、島根県、国土交通省 ・NPO法人さくらおろち				
	③レガッタ大会やボート競技大会の誘致	既存	・雲南省、奥出雲町、島根県 ・斐伊川さくらボート協会				
	④子供向けのボート教室の実施	既存	・NPO法人さくらおろち ・斐伊川さくらボート協会				
	⑤流域住民を対象とした体験教室の開催	既存	・NPO法人さくらおろち ・斐伊川さくらボート協会				
D. 実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
住民		団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省	
企画立案	●	●	●	●	●		
実施内容の検討	●	●	●	●	●		
湖面活用の実施	●	●	●	●	●		
トライアスロン大会の検討	●	●	●	●	●		
トライアスロン大会の実施	●	●	●	●	●		
レガッタ大会等の誘致	●	●	●	●	●	島根県：施設管理者として 国土交通省：湖面管理者として	
子供向けのボート教室の実施	●	●	●	●	●	島根県：施設管理者として 国土交通省：湖面管理者として	
住民向けの体験教室の開催	●	●	●	●	●	島根県：施設管理者として 国土交通省：湖面管理者として	
広報・PR	●	●	●	●	●		
E. 関連プロジェクト	(4)-2 流域圏の連携 (15)-3 釣り利用（PR・大会・施設整備） (15)-4 利用ルールの策定・周知（湖面利用の手引き等）						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①湖面利用の活発化、検討
1	取組内容	ボート競技施設の運営・維持管理
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	島根県
	実施日	～平成 26 年 3 月
	詳細情報	-

取組事項		③レガッタ大会やボート競技大会の誘致
2	取組内容	ボート競技コースの整備
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	島根県
	実施日	～平成 25 年 10 月
	詳細情報	-
3	取組内容	定例県大会の実施
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	斐伊川さくらボート協会、島根県ボート協会
	実施日	年に 4 回
	詳細情報	-
4	取組内容	中国大会（中国高校選手権、国体中国予選、高校選抜予選）の実施
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	斐伊川さくらボート協会、島根県ボート協会
	実施日	5年に1回（持ち回り）
	詳細情報	-

取組事項		④子供向けのボート教室の実施
1	取組内容	子ども向け教室の開催
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	斐伊川さくらボート協会
	実施日	夏休み期間などに年 5 回程度
	詳細情報	さくらおろち湖ボート競技施設や斐伊川（木次艇庫）で実施

取組事項		⑤流域住民を対象とした体験教室の開催
1	取組内容	-
	取組状況	H25 年度に実施なし
	実施主体	-
	実施日	-
	詳細情報	-

先行プロジェクト20

(15)-3 釣り利用 (PR・大会・施設整備)

A 取組 内容 (全体)	目的	・さくらおろち湖の魅力発掘 ・釣り利用の活発化					
	場所	・さくらおろち湖					
	内容	①さくらおろち湖の新たな利用者を増やすために、さくらおろち湖での釣り大会の実施可能性を検討します。 ②関連団体との調整を実施した上で、釣りスポットの整備など、ダム湖と川に親しめる取組を実施し、さくらおろち湖の魅力を向上させます。 ③「道の駅 おろちの里」での鑑札の販売など、簡易に釣り利用できる仕組みを検討します。					
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①釣り大会の実施の可能性の検討			新規	(実施数段階で検討)		
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	
	関係機関との調整		●	●	●	●	斐伊川漁業協同組合との調整
	釣り大会の実施の可 能性の検討	●	●	●	●		
	釣りスポットの整備		●	●	●		
	鑑札販売場所の拡大	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジ ェクト	(15)-1 湖面の利用促進 (ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験) (15)-4 利用ルールの策定・周知 (湖面利用の手引き等) (21)-1 漁業資源の創出 (ワカサギの放流)						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①釣り大会の実施の可能性の検討
1 取組内容	-
取組状況	H25 年度に実施なし
実施主体	-
実施日	-
詳細情報	-

先行プロジェクト21

(15)-4 利用ルールの策定・周知（湖面利用の手引き等）

A 取組内容 (全体)	目的	・施設の適正利用																																																																			
	場所	・既存施設																																																																			
	内容	①水源地域と他地域との交流促進による水源地域の活性化、公共施設の適正な管理を行うために、「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」を適正に運用します。 ②周辺の施設を利用する際の手続きの簡素化や、窓口の一元化の可能性を模索します。 【既存の取組内容】 ・さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き、同ハンドブックの策定、配布を行っています。																																																																			
B. 1年目に取組むべき事項																																																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 25%;">取組事項</th> <th colspan="3" style="text-align: center;">状況</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">C.実施主体</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」の策定</td> <td style="text-align: center;">既存</td> <td style="text-align: center;">既存</td> <td style="text-align: center;">既存</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">・さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">②手続きの簡素化や窓口の一元化の可能性の実施</td> <td style="text-align: center;">既存</td> <td style="text-align: center;">既存</td> <td style="text-align: center;">既存</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">・さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議</td> </tr> </tbody> </table>								取組事項	状況			C.実施主体				①「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」の策定	既存	既存	既存	・さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議				②手続きの簡素化や窓口の一元化の可能性の実施	既存	既存	既存	・さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議																																									
取組事項	状況			C.実施主体																																																																	
①「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」の策定	既存	既存	既存	・さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議																																																																	
②手続きの簡素化や窓口の一元化の可能性の実施	既存	既存	既存	・さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議																																																																	
D. 実施項目と役割分担																																																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center; width: 15%;">実施項目</th> <th colspan="6" style="text-align: center;">推進に関わる機関※1、※2</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">備考 (必要な支援内容、留意事項等)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">住民</th> <th style="text-align: center;">団体</th> <th style="text-align: center;">雲南省</th> <th style="text-align: center;">奥出雲町</th> <th style="text-align: center;">島根県</th> <th style="text-align: center;">国土交通省</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">企画立案</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">(必要な支援内容、留意事項等)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">湖面の利用状況の整理</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">(必要な支援内容、留意事項等)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">「手引き」の策定</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">(必要な支援内容、留意事項等)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">関係機関との調整</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">(必要な支援内容、留意事項等)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">手続き簡素化等の実施</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">(必要な支援内容、留意事項等)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">広報・PR</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">(必要な支援内容、留意事項等)</td> </tr> </tbody> </table>								実施項目	推進に関わる機関※1、※2						備考 (必要な支援内容、留意事項等)	住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省	企画立案	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)	湖面の利用状況の整理	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)	「手引き」の策定	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)	関係機関との調整	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)	手続き簡素化等の実施	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)	広報・PR	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)
実施項目	推進に関わる機関※1、※2						備考 (必要な支援内容、留意事項等)																																																														
	住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省																																																															
企画立案	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)																																																														
湖面の利用状況の整理	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)																																																														
「手引き」の策定	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)																																																														
関係機関との調整	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)																																																														
手続き簡素化等の実施	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)																																																														
広報・PR	●	●	●	●	●	●	(必要な支援内容、留意事項等)																																																														
E. 関連プロジェクト																																																																					
(15)-1 湖面の利用促進（ボート大会、水陸両用バス、シーカヤック、巡視体験） (15)-3 釣り利用（PR・大会・施設整備）																																																																					

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」の策定
1 取組内容	「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議
実施日	平成 25 年 3 月 29 日～
詳細情報	-

取組事項	②手続きの簡素化や窓口の一元化の可能性の実施
1 取組内容	「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議
実施日	平成 25 年 3 月 29 日～
詳細情報	-



さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き

先行プロジェクト22

(16)-1 自転車競技施設（多目的広場）の利用促進（音楽イベント等）

A 取組内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> 施設の有効活用 賑わいの創出 観光客の獲得 					
	場所	・自転車競技施設（多目的広場）					
	内容	<p>①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された自転車競技施設（多目的広場）を大人から子供までが利活用できるように検討します。</p> <p>【参考取組（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土曜・日曜・祝日における施設の開放 <p>②水源地域の賑わい創出、及び若者が参加できるイベントを開催するために、平成24年に実施された音楽イベント（幸雲南DAY ROCK FESTIVAL）を継続して実施します。</p> <p>【既存の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> NPO法人さくらおろちが、自転車競技施設（多目的広場）を会場にアマチュアロックバンドによるロックフェスティバル「幸雲南DAY ROCK FESTIVAL」を開催しています。 					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況	C.実施主体				
D.実施項目と役割分担	①土曜・日曜・祝日における施設の開放		新規	(実施段階で検討)			
	②音楽イベントの開催		既存	<ul style="list-style-type: none"> 雲南省商工会、奥出雲町商工会 NPO法人さくらおろち 			
E.関連プロジェクト	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案			●	●	●	●
	利用促進の検討	●	●	●	●	●	●
	土曜・日曜・祝日における施設の開放	●	●			●	●
	参加者の募集	●	●				
	音楽イベントの開催						
	広報・PR	●		●	●	●	●

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

【平成25年度の実施内容】

取組事項		①土曜・日曜・祝日における施設の開放
1	取組内容	土日、祝日にトイレ施設の開放
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	島根県
	実施日	平成25年4月～
	詳細情報	-

取組事項		②音楽イベントの開催
1	取組内容	第2回雲南ロックフェスティバルの開催
	取組状況	H25年度に実施《一部実施》
	実施主体	NPO法人さくらおろち
	実施日	平成25年8月31日
	詳細情報	台風接近により中止



第1回雲南ロックフェスティバルの開催状況（平成24年度）

先行プロジェクト23

(16)-2 農村体験施設の利用促進

A 取組内容 (全体)	目的	・施設の有効活用					
	場所	・下布施農村体験施設					
	内容	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された農村体験施設を有効活用するために、併設されている宿泊施設での体験学習会や、小中学生を対象とした合宿研修の利用などをPRします。 ②広大な農地を活用した「かぼちゃの吊り下げ栽培」を推進します。					
【既存の取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・県外の小学生を対象とした合宿研修を実施しています。 ・少ない街灯を利用した星空観察会を実施しています。 							
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①体験学習会や小中学生を対象とした合宿研修の開催			既存	・雲南市、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{*1、*2}					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	
	体験プログラムの検討	●	●	●	●		
	体験学習会や合宿研修の開催	●	●	●	●		
	「かぼちゃの吊り下げ栽培」の企画	●	●				
	「かぼちゃの吊り下げ栽培」の実施	●	●				
	広報・PR	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト							

*1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

*2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①体験学習会や小中学生を対象とした合宿研修の開催
1 取組内容	水源地域環境活動推進業務委託
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	NPO 法人さくらおろち
実施日	～平成 25 年 9 月
詳細情報	-

先行プロジェクト24

(16)-3 下布施ホースセラピー施設の利用促進

A 取組内容 (全体)	目的	・施設の有効活用					
	場所	・下布施農村体験施設					
	内容	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された下布施ホースセラピー施設を活用した心の癒し企画を検討します。 ②農村体験施設や周辺の農地と連携した体験プログラムの企画などを検討します。					
【既存の取組内容】 ・NPO 法人インフォメーションセンターが、さくらおろち湖祭り 2012において湖畔にある下布施ホースセラピー施設を活用し、馬との散歩や餌やりなどの触れ合い体験が可能な「乗馬体験」を実施しています。							
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	②農地と連携した体験プログラムの企画			既存	• 雲南市 • NPO 法人インフォメーションセンター		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}				備考	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	心の癒し企画の検討	●	●	●	●		
	心の癒し企画の実施	●	●	●	●		
	体験プログラムの企画	●	●	●	●		
	体験プログラムの実施	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	②農地と連携した体験プログラムの企画
1 取組内容	H25 年度に実施なし
取組状況	
実施主体	
実施日	
詳細情報	

先行プロジェクト25

(16)-4 街道・登山道の活用（トレイルランニング、殿様街道、岩伏山）

A 取組内容 (全体)	目的	・施設の有効活用					
	場所	• 岩伏山登山道 • 殿様街道					
	内容	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された岩伏山の登山道を有効活用するために、小中学生（スポーツ少年団）による登山などを企画します。 ②トレイルランニングのコースとして整備された殿様街道の保全活動やイベント企画などを実施します。 ③水源地域の資源を活用した上中下流の交流を実施するために、さくらおろち湖から、出雲神話の舞台であり、松江藩主が通った殿様街道を駆け巡るトレイルランニング大会を継続して実施します。					
【既存の取組内容】 ・尾原ダム・さくらおろち湖祭り 2012 実行委員会が、松江藩主が通ったさくらおろち湖から三沢城跡要害山へ抜ける殿様街道を駆けるトレイルランニング体験を実施しています。 ・NPO 法人さくらおろちが、「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」の一環として、登山道の草刈りや沿道のゴミ拾いなどの環境整備を実施しています。							
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①小中学生（スポーツ少年団）による登山企画の実施			既存	• NPO 法人さくらおろち • スポーツ少年団 • 競技関係団体		
	②殿様街道の保全活動やイベントなどの実施			既存	• NPO 法人さくらおろち • とんぼの会		
	③トレイルランニング大会の継続			既存	• 雲南市、奥出雲町 • NPO 法人さくらおろち • とんぼの会		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}				備考	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案			●	●	●	●
	登山企画の実施	●	●	●	●		
	殿様街道の保全活動	●	●	●	●		
	イベント企画等の実施	●	●	●	●		
	「トレイルランニング大会」の実施	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(4)-2 流域圏の連携						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①小中学生（スポーツ少年団）による登山企画の実施
1 取組内容	小学生による登山の実施
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	地元小学校
実施日	-
詳細情報	-

取組事項	②殿様街道の保全活動やイベントなどの実施
1 取組内容	殿様街道（伊能忠敬）を歩く勉強会「昔を歩いて歴史を知る」の開催
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	とんぼの会、NPO 法人さくらおろち
実施日	平成 25 年 7 月 17 日
詳細情報	要害山交流拠点施設「みざわの館」～殿様街道を活用



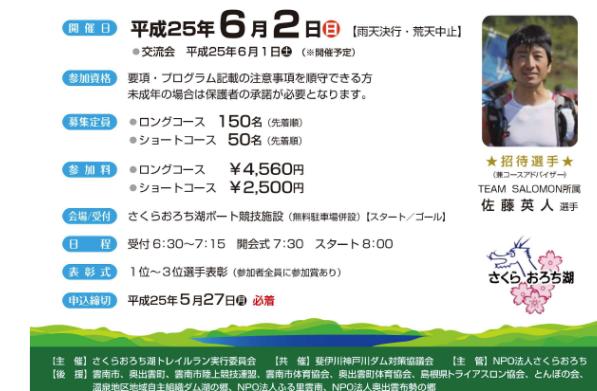
殿様街道（伊能忠敬）を歩く勉強会

殿様街道に関する新聞記事（山陰中央新報、H25.7.19）

取組事項		③トレイルランニング大会の継続
1 取組内容	第1回トレイルランニング大会の開催	H25 年度に実施 実施主体 雲南市、奥出雲町、とんぼの会、NPO さくらおろち 実施日 平成 25 年 6 月 2 日 詳細情報 コース：ロングコース 20 km (参加料 4,560 円) ショートコース 10 km (参加料 2,500 円)
取組状況	H25 年度に実施	
実施主体	雲南市、奥出雲町、とんぼの会、NPO さくらおろち	
実施日	平成 25 年 6 月 2 日	
詳細情報	コース：ロングコース 20 km (参加料 4,560 円) ショートコース 10 km (参加料 2,500 円)	



尾原ダム建設によってできたダム湖（さくらおうち湖）の周囲を一周する約20kmのトレイルランニングコースを開催します。このコースは雲南市・奥出雲町に跨っており、松江藩主が三沢城への行き来で通った殿様街道や伊能忠敬が測量のために歩いた道、スサノオノミコトが乗ってきたとされる岩船が残る岩伏山、一煙薬師堂などの周辺史跡を巡るルートになっています。



参加募集用チラシ



トレイルランニング大会の実施状況

先行プロジェクト26

(17)-1 出雲神話の活用・PR（マップ作り、関連ツアーア）

A 取組内容 （全体）	目的	・神話の継承・活用 ・神話の発掘					
	場所	・出雲神話にゆかりのある地域					
	内容	①水源地域に伝わる出雲神話を掘り起こし、それらの伝承地（岩伏山頂上、長者屋敷跡、天が淵など）を巡る着地型観光ツアーを企画します。着地型観光ツアーの企画にあたっては、出雲神話と地域の風土、産業との関連など、水源地域全体の過去、現在、未来を把握できる内容になるよう努めます。 ②地域内で実践されている出雲神話に関する活動を支援します。 ③活動団体のメンバーを講師に招いた地域住民を対象とした学習会の開催やマップや読み物の作成などにより、地域に伝わる貴重な歴史や文化を継承します。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体			
	①出雲神話を巡る着地型観光ツアーの企画	既存		・株式会社吉田ふるさと村 ・雲南省観光協会			
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
		住民	団体	雲南省	奥出雲町	島根県	国土交渉
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	神話の掘り起こし	●	●	●	●		
	ツアーアの企画	●	●	●	●		
	活動への支援	●	●	●	●		
	学習会の開催	●	●	●	●		
	マップや読み物の作成	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①出雲神話を巡る着地型観光ツアーの企画
1	取組内容	「島根県雲南省を地元ガイドと巡る旅（スサノオ伝承バス・ヤマタノオロチ伝承バス）」の開催
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	株式会社吉田ふるさと村、雲南省観光協会
	実施日	平成 25 年 4 月～平成 25 年 11 月（第 2 土曜日・第 4 土曜日）
	詳細情報	-



着地型観光ツアーアの募集チラシ

先行プロジェクト27

(18)-1 郷土料理の継承・活用（焼豆腐、イノシシ料理等）

A 取組内容 (全体)	目的	・郷土料理の継承・活用					
	場所	・水源地域					
	内容	①地域に伝承されている「食」（焼豆腐、笹巻き、イノシシ料理など）を積極的に掘り起します。 ②発掘した郷土料理を地域住民及び流域の住民に伝承していくための講座を開催します。 ③宿泊と料理を結びつけたオーベルジュを活用します。					
【既存の取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人さくらおろちが、周辺地域に伝わる「食」のスタイルと技を、ダム湖周辺住民が下流域住民に伝える『神話の里さくらおろち・食の学び舎「さくらおろち食べごと塾』を開催しています。 ・NPO 法人さくらおろちが、周辺地域に残る食文化を後世に伝えるためのデータベースを構築する『神話の里さくらおろち・食の学び舎「現代版食の神話づくり』を実施しています。 							
B.1年目に取組むべき事項	取組事項		状況	C.実施主体			
	①地域に伝承されている「食」の掘り起こし		既存	・NPO 法人さくらおろち			
	②郷土料理の講座の開催		既存	・NPO 法人さくらおろち			
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{※1、※2}				備考	
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	「食」の掘り起こし	●	●	●	●		
	郷土料理の講座の開催	●	●	●	●		
	オーベルジュの活用	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(18)-2 モニターツアーの開催						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①地域に伝承されている「食」の掘り起こし
1	取組内容	さくらおろち湖の「食の縁結び」物語（年 4 回）の開催
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち
	実施日	平成 25 年 6 月 23 日～平成 26 年 1 月 19 日
	詳細情報	-

取組事項		②郷土料理の講座の開催
1	取組内容	さくらおろち湖の「食の縁結び」物語（年 4 回）の開催
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	雲南市、奥出雲町、NPO 法人さくらおろち
	実施日	平成 25 年 6 月 23 日～平成 26 年 1 月 19 日
	詳細情報	-



☆毎回、楽しく調理体験をしながら、さくらおろち湖周辺の素敵な「食の縁結び」を体験してゆきます！
☆各回、定員は 20 名で先着申し込み順にお受けします。（メニューにより 20 名以上お受けする場合もあります。）
☆穴道会場開催以外は、無料送迎バスが、県庁郵便局前 8 時 15 分発、ふるさと森林公園学習展示館前 9 時 10 分発で出ます。
☆参加費は各回千円です。昼食代を含みます。
☆プログラムは、農家・加工グループ・料理研究家・主婦等が語り合う中で生まれました。

第1回 6月23日(日) 10時～15時 雲南市温泉 温泉交流センター	韓国料理でさくらおろちの 食材を楽しむ！ 本場のシェフの指導で調理します。
第2回 9月15日(日) 10時～15時 奥出雲町布勢 アトリエん	古民家で味わう、初秋の農村料理！ 茶室もある静かな古民家で調理した料理を楽しめます。
第3回 11月10日(日) 10時～15時 奥出雲町三沢 味工房三沢	農村のおもてなし料理！ 絶品の煮しめ！ 東京や大阪でも宅配で評判の煮しめを教わります。
第4回 1月19日(日) 10時～15時 雲南市尾原／野外会場 ⇒ 温泉交流センター	巨大どんどんさんと 山海の幸のおもてなし！ 「山は海の恋人」を、まさに食べていただきます。 地元の人たちの温かいハートにふれる最終回！



●お問合せ・お申込先
NPO もりふれ俱楽部……TEL/FAX 0852-66-3586 (担当: 野田、宮崎)
〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352 ふるさと森林公園学習展示館内

NPO さくらおろち……TEL/FAX 0854-48-0729 (担当: 土山、^{会員登録}面代)
〒699-1342 雲南市木次町平田779-1 温泉高齢者活動促進施設内

主催○雲南市・奥出雲町・NPO さくらおろち / 協力○NPO もりふれ俱楽部

「食」の掘り起こしイベントの参加募集チラシ

先行プロジェクト28

(18)-2 モニターツアーの開催

A 取組内容 (全体)	目的	・水源地域の魅力の発信				
	場所	・水源地域				
	内容	①現在実施している郷土料理を楽しむモニターツアーを継続・拡大させ、郷土料理を通した水源地域の魅力を発信します。 ②オーガニック料理教室を継続して実施します。 【既存の取組内容】 ・食の杜が、郷土料理のバイキングレストランモニターツアーを開催しています。 ・奥出雲多根自然博物館とNPO法人奥出雲布勢の郷が、オーガニック料理教室を開催しています。				
B. 1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体	
	①郷土料理を楽しむモニターツアーの開催			既存	・NPO法人さくらおろち	
	②奥出雲のオーガニック料理教室			既存	・NPO法人奥出雲布勢の郷 ・奥出雲多根自然博物館	
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{*1、*2}				備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県
	企画立案	●	●	●	●	●
	モニターツアーの開催	●	●	●	●	
	オーガニック料理教室の開催	●	●	●	●	
	広報・PR	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(18)-1 郷土料理の継承・活用（焼豆腐、イノシシ料理等）					

*1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

*2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①郷土料理を楽しむモニターツアーの開催
1 取組内容	奥出雲町産の食材を使用している松江市内の古民家レストラン「カンテラ家」のお客さんを水源地域に招くツアーの開催
取組状況	
実施主体	
実施日	
詳細情報	

取組事項	②奥出雲のオーガニック料理教室
1 取組内容	オーガニック料理教室の開催
取組状況	
実施主体	
実施日	
詳細情報	

先行プロジェクト29

(19)-1 古民家の活用						
A.取組内容(全体)	目的	・地域文化の継承・活用				
	場所	・要害山交流拠点施設 みざわの館				
	内容	<p>①水源地域の地域文化を継承・活用するため、まずは、整備された「要害山交流拠点施設 みざわの館」を観光拠点の一つとして積極的に活用します。</p> <p>【既存の取組内容】</p> <p>・「要害山交流拠点施設 みざわの館」は、三沢地区河内にある要害山登山口付近にあった空き家を改築された施設です。木造平屋建てで8畳の和室3間や居間のほか、田舎ツーリズムなどの体験交流に利用できる調理・作業スペースが整備され、「とんぼの会」が管理しています。</p>				
B.1年目に取組むべき事項	取組事項		状況	C.実施主体		
	①観光拠点の一つとして「要害山交流拠点施設 みざわの館」の活用		既存	• 奥出雲町、雲南省 • とんぼの会 • NPO法人さくらおろち		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考 (必要な支援内容、留意事項等)
	企画立案	●	●	●	●	●
	活用方法の検討	●	●		●	
	観光拠点として活用		●		●	
	広報・PR	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①観光拠点の一つとして「要害山交流拠点施設 みざわの館」の活用
1	取組内容	田舎体験ツアーの宿泊地として活用
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	奥出雲町
	実施日	平成 25 年 7 月
	詳細情報	参加者数：2 名 主な訪問先：株式会社奥出雲中村ファーム、天叢雲窯、手作りのお店 どーこれ
2	取組内容	レストランとして活用
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	とんぼの会
	実施日	随時
	詳細情報	-

3	取組内容	体験イベントの開催場所として活用
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	とんぼの会
	実施日	平均月に2回
	詳細情報	-
4	取組内容	独居老人の昼食会の会場として活用
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	とんぼの会
	実施日	適宜
	詳細情報	-
5	取組内容	名月鑑賞会
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	とんぼの会
	実施日	平成 25 年 9 月 20 日
	詳細情報	-



田舎体験ツアーの報告（奥出雲ごこちHP）

先行プロジェクト30

(20)-1 温泉の活用（スタンプラリー）

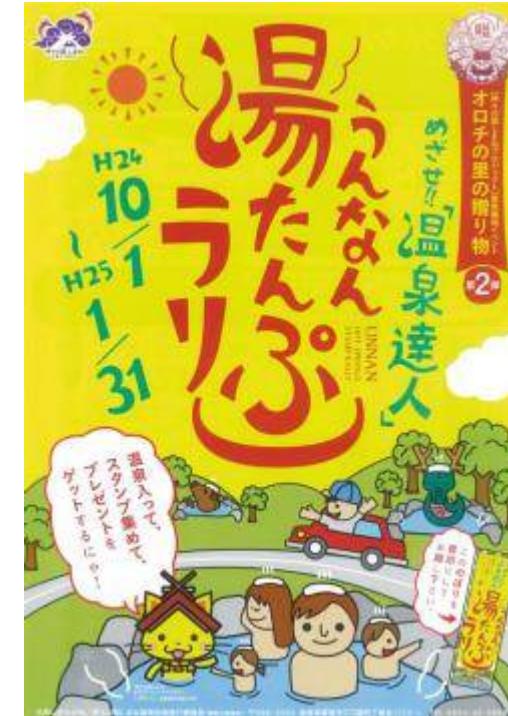
A 取組内容 (全体)	目的	・施設間の連携 ・施設の活用						
	場所	・佐白温泉 長者の湯						
	内容	①水源地域周辺に立地する温泉施設間の連携を促進するために、温泉スタンプラリーを企画・実施します。 ②水源地域交流拠点として利用されている「佐白温泉 長者の湯」で、水源地域農産物の産直販売や、食の提供などを行い、世代間交流を実施します。						
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体			
	①温泉スタンプラリーの企画・実施			既存	・雲南広域連合			
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考		
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省	(必要な支援内容、留意事項等)
	企画立案	●	●	●	●	●		
	スタンプラリーの企画	●	●	●				
	スタンplaリーの実施	●	●	●				
	世代間交流イベントの企画	●	●	●				
E.関連プロジェク クト	世代間交流イベントの実施	●	●	●				
	広報・PR	●	●	●	●	●		

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①温泉スタンplaリーの企画・実施
1	取組内容	「うんなん湯たんぱラリー」の実施
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	雲南広域連合
	実施日	平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日
	詳細情報	雲南市、奥出雲町、飯南町内の温泉施設（14箇所）を対象として実施



うんなん湯たんぱラリーの実施チラシ

取組事項		②世代間交流イベントの実施
1	取組内容	論語「仁多志學塾」の開催
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	NPO 法人奥出雲布勢の郷
	実施日	毎月実施
	詳細情報	-
2	取組内容	地域づくりや環境活動の講演会の開催
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	NPO 法人奥出雲布勢の郷
	実施日	平成 24 年度は3回（5, 11, 3 月）
	詳細情報	-
3	取組内容	健康ウォーキング、川柳教室、ゲートボール大会などの開催
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	NPO 法人奥出雲布勢の郷
	実施日	適宜
	詳細情報	-

先行プロジェクト31

(20)-2 観光資源の再整理

A.取組内容(全体)	目的	・地域資源の整理 ・地域の魅力の発掘					
	場所	・水源地域					
	内容	①水源地域として、観光拠点として発信する施設の選定を行います※。 ②資源の再整理にあたっては、斐伊川の歴史とヤマタノオロチの伝承を流域全体でつなぎ、自然とその背景をストーリーでつなぐなど、地域全体として魅力を発信します。 ※発信する施設は、『尾原ダム「地域に開かれたダム」整備計画』を踏まえて選定します。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
むべき事項	②地域全体として魅力の発信			新規	(実施段階で検討)		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	斐伊雲町	島根県	
企画立案	●	●	●	●	●	●	
観光資源の整理	●	●	●	●			
拠点施設の選定	●	●	●	●			
魅力の発信	●	●	●	●	●	●	
広報・PR	●	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(20)-3 地域体感ツアーの開催						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①出雲神話を巡る着地型観光ツアーの企画
1	取組内容	「島根県雲南市を地元ガイドと巡る旅（スサノオ伝承バス・ヤマタノオロチ伝承バス）」の開催
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	株式会社吉田ふるさと村、雲南市観光協会
	実施日	平成 25 年 4 月～平成 25 年 11 月（第 2 土曜日・第 4 土曜日）
	詳細情報	-

先行プロジェクト32

(20)-3 地域体感ツアーの開催

A 取組内容 (全体)	目的	・新しい魅力の発信					
	場所	・水源地域					
	内容	①水源地域の新しい魅力を広く発信するために、地域体感ツアーを企画・開催します。 ②都市部の住民にとって珍しく、体験したいと感じる雪かきなどの雪体験ツアーの開催を検討します。 ③地域体感ツアーの開催にあたっては、水源地域の魅力の一つである温泉や宿泊施設などの連携を模索します。 ④ツアーエージェントを対象としたツアー企画を実施し、水源地域の魅力を活用したツアーの制作を依頼します。					
	【既存の取組内容】			・NPO 法人さくらおろちが、しまね暮らし体験事業として、県外在住者向けの田舎暮らし体験プログラムを実施しています。 ・雲南市ふるさと定住推進協議会が、雲南暮らし体験プログラムとして、県外在住者向けの田舎暮らし体験プログラムを実施しています。			
B. 1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①地域体感ツアーの企画・開催			既存	・NPO 法人さくらおろち		
	②雪かきなどの雪体験ツアーの開催			既存	・NPO 法人さくらおろち		
	③温泉や宿泊施設などの連携			既存	・NPO 法人さくらおろち		
D. 実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
	企画立案	●	●	●	●	●	
	地域体感ツアーの企画	●	●	●	●		
	地域体感ツアーの実施	●	●	●	●		
	雪体験ツアーの開催	●	●	●	●		
	温泉や宿泊施設などの連携	●	●	●	●		
	ツアー企画の実施	●	●	●	●		
	広報・PR	●	●	●	●	●	
E. 関連プロジェクト	(20)-2 観光資源の再整理						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①地域体感ツアーの企画・開催
1	取組内容	地域の魅力を体験できるツアーの開催（夏と冬）
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	NPO 法人さくらおろち
	実施日	平成 25 年 8 月 3 日～、平成 26 年 1 月～
	詳細情報	-

取組事項		②雪かきなどの雪体験ツアーの開催
1	取組内容	地域の魅力を体験できるツアーの開催（夏と冬）
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	NPO 法人さくらおろち
	実施日	平成 25 年 8 月 3 日～、平成 26 年 1 月～
	詳細情報	-

取組事項		③温泉や宿泊施設などの連携
1	取組内容	地域の魅力を体験できるツアーの開催（夏と冬）
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	NPO 法人さくらおろち
	実施日	平成 25 年 8 月 3 日～、平成 26 年 1 月～
	詳細情報	-

先行プロジェクト33

(21)-1 漁業資源の創出（ワカサギの放流）

A 取組内容 (全体)	目的	・地域資源の創出				
	場所	・さくらおろち湖				
	内容	①新しい地域資源として、さくらおろち湖へのワカサギ放流を継続します。 ②放流したワカサギは、漁業資源としてだけではなく、冬季の観光資源としての活用を模索します。				
【既存の取組内容】						
B.1年目に取組 むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体	
	①ワカサギの放流			既存	・雲南市、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち ・斐伊川漁業協同組合 ・温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会	
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関 ^{*1、*2}				備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	
	企画立案	●	●	●	●	●
	ワカサギの放流	●	●	●	●	
	生息状況の調査	●	●	●	●	●
	観光資源としての活用	●	●	●	●	
	広報・PR	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(15)-3 釣り利用(PR・大会・施設整備) (22)-1 特產品の開発・販売促進					

*1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

*2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①ワカサギの放流
1	取組内容	ワカサギの卵の取付や生息調査
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	NPO 法人さくらおろち
	実施日	平成 25 年 4 月 13 日
	詳細情報	-



ワカサギの生息調査の様子

取組事項		②冬季の観光資源としての活用
1	取組内容	-
	取組状況	H25 年度に実施なし
	実施主体	-
	実施日	-
	詳細情報	-

先行プロジェクト34

(22)-1 特產品の開発・販売促進

A 取組内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の振興 ・地域の魅力の発掘・発信 					
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域 					
	内容	<p>①水源地域の豊富な湧水や豊かな森林から生産される木材資源、新鮮で高品質な農作物、さくらおろち湖を特色づける特產品、出雲神話に関連する商品など、水源地域ならではの素材を用いた個性ある商品開発を行います※。</p> <p>※具体的な商品：川魚、食用ほおずき「おろちの真珠」、ヤーコン、コリンキー、サラダ用カボチャ、イノシシ肉、湧水・名水など</p> <p>②開発した特產品を「水源地域ブランド」として認定し、全国へ発信・販売することにより水源地域の認知度を向上させます。</p> <p>③開発した特產品の販売促進を図るため、出雲神話に由来するネーミングを検討します。</p>					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①水源地域ならではの素材を用いた個性ある商品の開発			既存	・雲南市商工会、奥出雲町商工会		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	素材を用いた個性ある商品の開発	●	●	●	●		
	「水源地域ブランド」の認定		●	●	●		
	ネーミングの検討	●	●				
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(21)-1 漁業資源の創出（ワカサギの放流）						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①水源地域ならではの素材を用いた個性ある商品の開発
1 取組内容	下布勢農村体験施設での野菜栽培と道の駅「おろちの里」での販売
取組状況	H25 年度に実施
実施主体	NPO 法人ふる里雲南
実施日	平成 25 年度より検討開始
詳細情報	カボチャは4品種（コリンキー、栗まさる、ロロン、かち割りカボチャ）、食用ホオズキなどの開発を開始 栽培場所：下布施農村体験施設 販売場所：道の駅 おろちの里

先行プロジェクト35

(23)-1 さくらおろち湖祭りの開催

A.取組内容 (全体)	目的	・賑わいの創出　・上中下流の交流 ・観光客の獲得					
	場所	・ボート競技施設 ・さくらおろち湖 ・尾原ダム					
	内容	①「さくらおろち湖祭り」を継続・発展させることで、水源地域への観光客を呼び込み、水源地域の活性化につなげます。 ②「さくらおろち湖祭り」については、NPO法人などの関係諸団体と連携し、ダム湖面の活用を検討します。 【既存の取組内容】 ・尾原ダム・さくらおろち湖祭り 2012 実行委員会が、さくらおろち湖祭り 2012 の中で、ステージイベントや、テント村、尾原ダム堤体見学会、ホースセラピートーク、シーカヤック体験等を実施しています。					
B.1年目に取組むべき事項	取組事項			状況	C.実施主体		
	①「さくらおろち湖祭り」の開催			既存	・尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会		
	②実施プログラムの発展			既存	・尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会		
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2					備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県	国土交通省
	企画立案	●	●	●	●	●	
	「さくらおろち湖祭り」の開催	●	●	●	●	●	
	実施プログラムの発展	●	●	●	●	●	
	広報・PR	●	●	●	●	●	
E.関連プロジェクト	(4)-2 流域圏の連携 (23)-3 イベントの企画・立案						

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項	①「さくらおろち湖祭り」の開催
1 取組内容	第9回さくらおろち湖祭りの開催
取組状況	
実施主体	
実施日	
詳細情報	

取組事項	②実施プログラムの発展
1 取組内容	第9回さくらおろち湖祭りの開催
取組状況	
実施主体	
実施日	
詳細情報	



さくらおろち湖祭りの実施状況

尾原ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所
尾原ダム管理支所
TEL 0854-48-0780
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>
第20号（8月20日版）



「2013 尾原ダムさくらおろち湖祭り」10月13日(日)に開催!!

平成25年8月6日(火)に2013 尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会を開催し、『尾原ダムさくらおろち湖祭り』の日程や多くの方に楽しんで頂けるようなイベント内容を話し合いました。
 毎年好評の『尾原ダムさくらおろち湖祭り』を平成25年10月13日(日)10:00～15:00に開催します!!
 尾原ダムでは、ダムについてより理解いただく為に、当イベントにあわせて『普段は入れないダム堤体内および操作室の見学会』や『パネル展示』などを実施予定です。
 今年で9回目となる当イベントは、メイン会場でのステージイベントや地域特産物の販売、エッグフェスティバルの他に、さくらおろち湖でのシーカヤック乗船体験」「馬と触れ合えるホースセラピートーク」「サッカーレッスン」などを開催する予定です。
 『2013 尾原ダムさくらおろち湖祭り』イベント内容の詳細は『尾原ダム便り』次号でお知らせします!!



~担当者からひとこと~
 左記写真は、昨年の尾原ダムさくらおろち湖祭りでの様子です。皆さんに楽しんで頂ける企画を予定しています!!是非、ご参加お待ちしております♪
 昨年は、私もホースセラピートークを、馬と触れ合い癒されましたよ♪ (Y.H.)

尾原ダム便り（第20号、8月20日版）



ダム湖祭り案内チラシ（表面）

2013 尾原ダム・さくらおろち湖祭りご案内

日時：10/13 (日) 10時～15時
場所：さくらおろち湖ボート競技施設ほか

ステージ
以下出演者。ただし、順番は入れ替わることがあります。ご了承ください。

- 午前の部
 - 島根大学混声合唱団のコーラス
 - 中林知香 live
 - ゆうきどんのちょっこしエンターテイメント
- 午後の部
 - 温泉小学校も、うたで参加
 - 本次中学校吹奏楽部演奏
 - 仁多民謡教室の安来節
 - 豪華景品付きウルトラクイズ
 - など

シーカヤック体験
シーカヤックは初めてという方向けに講習会を行い、その後、湖面を自由に漕いで楽しんでいただくというもので、1日で4回実施の予定、各回75分程度です。▶詳細・お申込は下記の実行委員会事務局お問合せ先まで。

テント村
出店者……キャロットハウス、たいのす、いきいきアグリ馬木、らーめんの店かいとん、林檎の屋ひば打ち同好会、本次乳業、伊藤商店、棘上堂、細田清物、てづくりやさんねごこ、JA島根和牛肉、酒ゴリラ、おかいち、食彩の里玉峰、味工房みざわ、温泉スポット、布熱の細手つき会、植田工芸店、仁多産業、奥出雲多根自然博物館、ごはんのじかん、三島忠善刃物、ゆるり屋、温泉ふれあいグレープ、温泉地区ダム周辺活性化対策協議会、のほか松江市の特産品販売を予定しています。

ホースセラピー体験
(申込制・有料)と「松江シティFCサッカー交流会」については準備中につき、ホームページ「水の縁による新たな出雲の国づくり」で最新情報をご確認いただければと思います。

尾原ダム堤体見学会
10:00～15:00 (最終受付 14:30)
当日10時から尾原ダム堤体エレベーター入口で受け付けを行います。参加者には「ダムカード」を差し上げます。

Damサミットin尾原ダム
場所：尾原ダム管理支所
時間：13:00～15:00 (予定)
ダムマニア&ダムライター宮島咲 Miyajima Saki HP [ダムマニア] <http://dammania.net>
パネルディスカッション
定員100名、申込不要ですが、椅子席満席の場合、立ち見となる場合がありますことをご了承ください。
パネル展示—ダム事業、治水事業等
10:00～15:00
尾原ダムの魅力をパネルで紹介します。

お問い合わせ先：尾原ダム管理支所
TEL: (0854)48-0780 / **FAX:** (0854)48-0783

さくらおろち湖へのアクセス

最新情報はHP「水の縁による新たな出雲の国づくり」で <http://www.mizunoenishi.com> 水の縁 検索

お問い合わせ先
尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会事務局
〒699-1342 島根県雲南市木次町平田 779-1 NPO法人さくらおろち事務局内
tel&fax: 0854-48-0729 E-mail: sakura-o@bs.kkm.ne.jp

ダム湖祭り案内チラシ（裏面）

先行プロジェクト36

(23)-2 そば打ち交流会の開催						
A 取組内容 (全体)	目的	・上中下流の交流				
	場所	・水源地域				
	内容	①水源地域の特産品を通した上中下流の交流を実施するために、下流域の住民との「そば打ち交流会」を継続して開催します。				
	【既存の取組内容】	・NPO法人さくらおろちとNPO法人奥出雲布勢の郷が、地域住民が講師となり、そば打ちを通して松江市などからの参加者と交流を深める「斐伊川上下流域住民交流事業 そば打ち交流会」を開催しています。				
B. 1年目に取組むべき事項	取組事項	状況	C.実施主体			
	①「そば打ち交流会」の継続	既存	・雲南市、奥出雲町			
D.実施項目と役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考 (必要な支援内容、留意事項等)
		住民	団体	雲南市	奥出雲町	島根県
企画立案		●	●	●	●	●
「そば打ち交流会」の開催		●	●	●	●	●
広報・PR		●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト	(4)-2 流域圏の連携					

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO法人、産業等関連団体など

【平成25年度の実施内容】

取組事項		①「そば打ち交流会」の継続
1	取組内容	そば打ち交流会の開催
	取組状況	H25年度に実施
	実施主体	雲南市、奥出雲町
	実施日	平成25年11月10日、平成25年11月17日
	詳細情報	地元住民が講師となり、布勢地区、温泉地区交流センターでそば打ち体験を実施

【実技指導】



【そば打ち体験】



【会食】



そば打ち交流会の実施状況（平成24年度）

先行プロジェクト37

(23)-3 イベントの企画・立案

A 取組内容 (全体)	目的	・水源地域の魅力向上 ・新たな観光客の獲得					
	場所	・さくらおろち湖			・さくらおろち湖周辺		
	内容	①水源地域の魅力を向上させるために、尾原ダム（さくらおろち湖）を念頭においていたイベントの企画・立案を図ります。 ②周辺に人家が少ないダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントを検討します。 ③堤頂道路の直線を活かしたイベントを企画・実施します。 ④さくらおろち湖とサイクリングコースを活かしたトライアスロン大会の実施を検討します。 ⑤新たなイベントとして、様々な可能性を検討します（ボウリング大会や綱引き大会、障害物競走、ペッ トボトルロケット大会、遠投大会、雪合戦、バンジージャンプなど）。					
B. 1年目に取組 むべき事項	取組事項	状況		C.実施主体			
	①尾原ダムを念頭においていたイベントの企画・立案	既存		・雲南省、奥出雲町 ・NPO法人さくらおろち ・温泉地区ダム周辺地域活性化対策協議会			
	②ダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討	既存		・NPO法人さくらおろち ・雲南省商工会、奥出雲町商工会			
	④トライアスロン大会の企画	新規		・島根県トライアスロン協会 ・雲南省			
D.実施項目と 役割分担	実施項目	推進に関わる機関※1、※2				備考 (必要な支援内容、留意事項等)	
	企画立案	●	●	●	●	●	●
	イベントの企画・立案	●	●	●	●	●	●
	ダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討	●	●	●	●	●	●
	堤頂道路イベントの企画	●	●	●	●	●	●
	トライアスロン大会の企画	●	●	●	●	●	●
	新たなイベントの実施	●	●	●	●	●	●
	広報・PR	●	●	●	●	●	●
E.関連プロジェクト							

※1) 住民：水源地域内の住民又は地域自主組織、自治会など

※2) 団体：地域活動団体、NPO 法人、産業等関連団体など

【平成 25 年度の実施内容】

取組事項		①尾原ダムを念頭においていたイベントの企画・立案
1	取組内容	第 1 回ウォーキング大会の実施
	取組状況	H25 年度に実施
	実施主体	雲南省ウォーキング協会
	実施日	平成 25 年 3 月 31 日
	詳細情報	参加者数：180 人
2	取組内容	第 1 回さくらおろち湖マラソン大会の実施
	取組状況	H25 年度に実施《予定》
	実施主体	さくらおろち湖マラソン大会実行委員会
	実施日	平成 25 年 11 月 17 日
	詳細情報	-



さくらおろち湖ウォーク

イベントの募集チラシ

尾原ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所
尾原ダム管理支所
TEL 0854-48-0780
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>
第13号（4月1日版）



第1回 さくらおろち湖ウォーク開催

ダムを身近に感じてもらい、健康づくりにも生かしてもらおうと、平成25年3月31日(日)「第1回 さくらおろち湖ウォーク」[雲南市ウォーキング協会主催(後援 出雲河川事務所)]が尾原ダムで開催され、雲南市内外から145人が参加されました。

さくらおろち湖(ダム湖)に整備された自転車競技用のコースを活用した7kmと12kmの部でウォーキングを行い、参加者は周囲の景色を楽しんだり、おしゃべりしながら、ゴールを目指しました。なお、コース途中の尾原ダム管理支所に、立ち寄られた参加者の方々にダムの説明を行い、ダムカードを配布しました。



～担当者からひとこと～

平成25年4月27日(土)～5月12日(日)に、ダム爱好者が全国のダムを撮影した写真を展示する『日本一周ダムファン写真展』を中国地方では唯一尾原ダムで開催します。全国各地のダムの写真を楽しむ事が出来ますよ!!

また、平成25年5月12日(日)には斐伊川さくらボート協会主催『第二回 尾原ダムさくらおろち湖お花見レガッタ』が開催されます。

この機会に是非さくらおろち湖周辺の豊かな自然とダムの雄大な風景を満喫してみませんか？多くの方のご来場をお待ちしております。

尾原ダム便り（第13号、4月1日版）

取組事項	②ダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討
1 取組内容	-
取組状況	H25年度に実施なし
実施主体	-
実施日	-
詳細情報	-

取組事項	④トライアスロン大会の企画
1 取組内容	トライアスロン練習会の開催
取組状況	H25年度に実施
実施主体	島根県トライアスロン協会、雲南市、奥出雲町
実施日	平成25年7月28日、9月23日
詳細情報	参加者：28名

尾原ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所
尾原ダム管理支所
TEL 0854-48-0780
<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>
第18号（7月31日版）



「森と湖に親しむ旬間」に併せ各種行事を開催!!

『森と湖に親しむ旬間』に併せ、尾原ダム周辺の自然を満喫する『2013さくらおろち湖トライアスロン練習会パート1』『シーカヤック体験会』が平成25年7月28日(日)に『さくらおろち湖』で開催されました。

トライアスロン練習会には鳥取、島根両県から未経験者を含む28名、シーカヤック体験会には親子連れら約30名の参加がありました。

- 主催:島根県トライアスロン協会
- 共催:雲南市、奥出雲町
- 後援:国土交通省、島根県、島根県自転車競技連盟
- 協力:NPO法人さくらおろち

※尾原ダム管理支所では、イベントを通じて森林やダムの役割について理解を深めて頂く為に行事参加の希望者14名の方を対象にダム見学会を実施しました。



～担当者からひとこと～
少し天気は悪かったですが、参加者の皆さんは楽しんでおられました♪
ダム見学をされた方は「うわあ～大きい!」「ダムの中は涼しい♪」「貴重な見学体験をありがとうございました。」の感想がありました。(Y. H.)

『森と湖に親しむ旬間』とは...国土交通省及び林野庁が昭和62年度から、国民の皆さんに森林や湖に親しむことにより、心身をリフレッシュしながら、森林やダム等のもつている自然豊かな空間や社会生活にはたしている役割について理解を深めていただくことを目的として、毎年7月21日～7月31日までを『森と湖に親しむ旬間』として定めています。この旬間には、本邦に沿って全国の管理ダムを中心とした各種行事が行われています。

尾原ダム便り（第18号、7月31日版）



トライアスロン大会の練習風景